

汚染水対策スケジュール (1/2)

資料1-1

分野	括り	対象設備・作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後6ヶ月の予定	10月			11月			12月			1月			2月			3月			4月			5月以降	備考	
				17	24	31	7	14	21	28	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中			下
●原子炉建屋滞留水を2020年末の半分程度に低減(2022~2024年度)	建屋内滞留水	【1~4号機 滞留水移送装置】 (実績) ・1~4号機滞留水移送装置運転  (予定) ・1~4号機滞留水移送装置運転	1~4号機滞留水移送装置設置 運転																					(継続運転)	2号機 原子炉建屋滞留水水位低下(TP-2800目標) 実施中(2021/10/12~) 【11/25時点水位 約TP-2300】 ※監視パラメータ異常なし		
		【α核種除去設備検討】	設計・検討																						(2022年2月 設計完了予定)		
		【1~4号機 T/B床面スラッジ等の回収方法検討】	設計・検討																						(2023年度 設計完了予定)		
		【滞留水処理 代替タンク設計】	設計・検討																						(2022年3月 設計完了予定)		
		【プロセス主建屋・高温冷却建屋ゼオライト土壌の検討】	設計・検討																						(2023年度上期 設計完了予定)	プロセス主建屋の地下階線量調査実施(2021/10~)	
●汚染水発生量を100m3/日以下に抑制(2025年内)	浄化設備	【既設多核種除去設備】 【高性能多核種除去設備】 【増設多核種除去設備】 (実績) ・処理運転 (予定) ・処理運転	処理運転(処理水の状況に応じて適宜運転または処理停止)																					(継続運転)	処理水及びタンクのインサースビス状況に応じて適宜運転または処理停止 既設多核種除去設備 除去性能確認に係る実施計画変更(2021/11/5認可) 増設多核種除去設備 前処理設備改造に係る実施計画変更申請(2021/7/27)		
		【サブドレン浄化設備】 (実績) ・処理運転 (予定) ・処理運転	処理運転																						(継続運転)	サブドレン汲み上げ、運用開始(2015.9.3~) 排水開始(2015.9.14~)	
		【5/6号機サブドレンの復旧】 (実績) サブドレン設備復旧工事着手(2020/9/7~) ・設備設置・約1900m <sup>2</sup> 約1900m <sup>2</sup> ・中継タンク設置:2/2基 ・ポンプ・水位計設置:0/13箇所 ・試験(各設備設置後):一式(未実施)																							(2022年3月 運転開始予定)	2021年2月18日 5・6号機サブドレン集水設備復旧の実施計画変更認可(原規発第2102184号)	
		【地下水バイパス設備】 (実績) (予定) ・運転 ・運転	運転																							(継続運転)	
		【セシウム吸着装置】 【第二セシウム吸着装置】 【第三セシウム吸着装置】 (実績) ・処理運転 (予定) ・処理運転	処理運転																							(継続運転)	2021年1月29日 吸着塔の第二セシウム吸着装置及び第三セシウム吸着装置での再利用の実施計画変更認可(原規発第2101291号) 使用前検査予定月:2021年12月(第三セシウム吸着装置,2号) 2022年1月(第三セシウム吸着装置,3号) 2022年1月(第二セシウム吸着装置,2号) 2022年2月(第二セシウム吸着装置,3号)
		(実績・予定) ・未凍結箇所補助工事は2018年9月に完了 ・維持管理運転2019年2月21日全区域開始完了	維持管理運転(北側、南側の一部 2017/5/22~、海側の一部 2017/11/13~、海側全域・山側の一部 2018/3/14~、山側全域2019/2/21完了)																							(継続運転)	
フェーシング(陸側海水壁内エリア)	【凍土壁内フェーシング(全6万m <sup>2</sup> )】 (予定)4号機タービン建屋東側	現場作業	4号機タービン建屋東側																					(2022年2月 工事完了予定)	4号機タービン建屋東側:2021年4月7日開始		
	3号機R/B 燃料取出力カバー 雨水対策 (HPC)壁水位上昇対策	現場作業	雨水排水先変更(サブドレンNo.34付近の地表面排水)																					(2022年2月 工事完了予定)			

汚染水対策スケジュール (2/2)

区分	項目	対象設備・作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後6ヶ月の予定	10月			11月			12月			1月			2月			3月			4月			5月以降	備考			
				17	24	31	7	14	21	28	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中			下		
汚染水対策分野	●タンク関連	H4エリアNo. 5タンクからの漏えい対策	(実績・予定) ・汚染の拡散状況把握	現場作業	モニタリング																							(継続実施)	
		タンク解体	(実績・予定) ・Eエリアフランジタンク解体工事 ・49基解体予定	現場作業	Eエリアフランジタンク解体工事																							(2022年4月 工事完了予定)*	2018年9月10日 Eエリアにおける中低濃度タンクの撤去等について (実施計画変更認可)  ※：残水回収中の2基を除く
		タンク設置	(実績・予定) ・G4北エリア溶接タンク設置工事 ・6基設置予定 ・G5エリア溶接タンク設置工事 ・17基設置予定	現場作業	G4北エリア溶接タンク設置工事												G5エリア溶接タンク設置工事											(2022年8月* 工事完了予定)	実施計画変更申請中  2021年8月2日 福島第一原子力発電所 特定原子力施設に係る実施計画-変更認可申請書 (原研発第13第68号)-  2021年11月5日 中低濃度タンク (G4 北、G5 エリア) の設置等の実施計画変更認可 (原研発第2111054号)  ※工程前直しを検討中
	●溜まり水対策	溜まり水対策	【構内溜まり水の除去】	現場作業	(継続実施)																							(継続実施)	年1回、溜まり水の点検を実施
	●自然災害対策	津波対策	○日本海津波対策 ・日本海津波対策防壁設置 (実績・予定) 試験施工 本体構築工事	現場作業	現場調査・測量・試験施工・本体構築工事																							(2024年3月 工事完了予定)	1-4号機側：2024年3月完了予定 現場着手：2021/06/21開始 テールアルミ工事：2021年9月14日作業開始 アッシュクリート打設：2021年10月15日作業開始
			○O3.11津波対策 ・建屋開口部閉止 (実績) 閉止箇所数 123箇所 / 127箇所 (予定) 外部開口閉塞作業 継続実施	現場作業	【区分⑤】1~4Rw/B, 4R/B, 4T/B等																							(2022年3月 工事完了予定)	【区分①②】1~3T/B等2019年3月、全67箇所完了 【区分③】2, 3R/B外部のハッチ等 (2019年3月~2020年3月、全20箇所完了) 【区分④】1~3R/B等 (2019年9月~2020年11月、全16箇所完了) 【区分⑤】1~4Rw/B, 4R/B, 4T/B (2020年3月~2022年3月、20箇所/24箇所完了)
		○O3.11津波対策 ・メカフロート移設【11/10時点】 (実績) 番倉マウンド造成100%、ハラスト水処理100%、 内部除染作業100% メカフロート移設・仮蓋蓋：100% 内部充填作業：100% 護岸ブロック製造：100% 掘削：100% 築込工：100% ブロック基礎破産：100% 上部盛土工：100% 上部コンクリート工：93% 港湾ヤード整備：16%	現場作業	護岸工事																							(2022年2月 工事完了予定)	番倉マウンド造成：2019年5月20日開始、2020年2月7日完了 ハラスト水処理：2019年5月28日開始、2020年2月20日完了 内部除染：2019年7月16日開始、2020年2月26日完了 メカフロート移設・仮蓋蓋：2020年3月4日完了 内部充填：2020年4月3日開始、8月3日完了 護岸ブロック掘削：2020年10月2日開始、2021年2月4日完了 掘込工：2021年1月16日開始、2021年3月24日完了 ブロック基礎破産：2021年3月25日開始、2021年6月8日完了 上部盛土工：2021年4月19日開始、2021年8月3日完了 上部コンクリート工：2021年6月16日開始、2021年11月19日完了目標 港湾ヤード整備：2021年10月18日開始、2022年2月26日完了目標 ※2月13日の地震による影響を福島県と協議し、追加申請を実施予定。	
	豪雨対策	○豪雨対策 ・D排水路新設 (実績) (11月8日時点) 準備工事 完了 立坑構築工 (尾発達立坑部) 75% 立坑構築工 (上流側到達立坑部) 80% 立坑構築工 (下流側到達立坑部) 34% 立坑構築工 (小口徑推進部) 40% トンネル工 (下流側機械掘進工) 45% 推進管掘削 (下流側) 107/284本 (約260m/約690m)	現場作業	立坑構築工事 (尾発達立坑部、下流側到達立坑部、上流側到達立坑部、小口徑推進部)												トンネル工事 (下流側~2022.1)											(2022年8月 工事完了予定)	準備工事 (尾発達立坑ヤード整備)：2021年2月25日開始  尾発達立坑部：2021/03/06施工開始 下流側到達立坑部：2021/03/22準備開始、7月16日施工開始 上流側到達立坑部：2021/04/05施工開始 トンネル工事：2021/07/29開始、2021/09/06掘進作業開始、 2021/09/16初期掘進開始、2021/9/28本掘進開始	

# 水処理設備の運転状況, 運転計画

(2021年11月19日～2021年12月16日)

2021年12月3日  
東京電力ホールディングス株式会社

## 既設多核種除去設備

	19(金)	20(土)	21(日)	22(月)	23(火)	24(水)	25(木)	26(金)	27(土)	28(日)	29(月)	30(火)	1(水)	2(木)	3(金)	4(土)	5(日)	6(月)	7(火)	8(水)	9(木)	10(金)	11(土)	12(日)	13(月)	14(火)	15(水)	16(木)
A	点検停止														点検停止													
B	←						点検停止		←						点検停止													
C	←												点検停止		←												点検停止	

## 増設多核種除去設備

	19(金)	20(土)	21(日)	22(月)	23(火)	24(水)	25(木)	26(金)	27(土)	28(日)	29(月)	30(火)	1(水)	2(木)	3(金)	4(土)	5(日)	6(月)	7(火)	8(水)	9(木)	10(金)	11(土)	12(日)	13(月)	14(火)	15(水)	16(木)
A	点検停止																											
B	点検停止												点検停止		←													
C	点検停止												←															

## 高性能多核種除去設備

	19(金)	20(土)	21(日)	22(月)	23(火)	24(水)	25(木)	26(金)	27(土)	28(日)	29(月)	30(火)	1(水)	2(木)	3(金)	4(土)	5(日)	6(月)	7(火)	8(水)	9(木)	10(金)	11(土)	12(日)	13(月)	14(火)	15(水)	16(木)
A	計画停止												点検停止		計画停止													

## セシウム吸着装置(KURION), 第二セシウム吸着装置(SARRY), 第三セシウム吸着装置(SARRY2)

	19(金)	20(土)	21(日)	22(月)	23(火)	24(水)	25(木)	26(金)	27(土)	28(日)	29(月)	30(火)	1(水)	2(木)	3(金)	4(土)	5(日)	6(月)	7(火)	8(水)	9(木)	10(金)	11(土)	12(日)	13(月)	14(火)	15(水)	16(木)
SARRY	計画停止												←												計画停止			
SARRY2	←												計画		点検停止													
KURION	計画停止(滞留水の状況に応じて運転を計画, 実施)																											

※ 現場状況を踏まえて運転するため, 計画を変更する場合があります。

福島第一原子力発電所の滞留水の水位について  
(2021年11月19日～2021年12月2日)

2021年12月3日  
東京電力ホールディングス株式会社

	原子炉建屋水位				タービン建屋水位				廃棄物処理建屋水位				集中廃棄物処理施設水位			
	1号機	2号機	3号機		4号機	1号機	2号機	3号機	4号機	1号機	2号機	3号機	4号機	プロセス 主建屋	高温焼却炉 建屋	サイトバンカ 建屋
			HPCI室	トーラス室												
11月19日	-2035	-2387	-2022	-2048	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-678	184	2703
11月20日	-2056	-2389	-2024	-2047	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-694	185	2704
11月21日	-2047	-2385	-2026	-2045	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-728	181	2703
11月22日	-2032	-2387	-2026	-2019	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-764	182	2703
11月23日	-2030	-2378	-2024	-2047	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-783	194	2703
11月24日	-2036	-2413	-2024	-2043	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-807	193	2703
11月25日	-2046	-2424	-2026	-2031	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-830	193	2703
11月26日	-2053	-2424	-2026	-2048	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-857	192	2703
11月27日	-2037	-2413	-2026	-2048	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-884	194	2702
11月28日	-2039	-2380	-2028	-2048	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-919	194	2702
11月29日	-2039	-2399	-2028	-2048	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-956	193	2702
11月30日	-2046	-2422	-2028	-2047	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-989	194	2702
12月1日	-2046	-2474	-2026	-2001	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-1012	193	2702
12月2日	-2046	-2487	-1994	-2048	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-905	204	2703
最下階床面高さ	-2666	-4796	-4796	-4796	-4796	443	-1752	-1737	-1739	-36	-1736	-1736	-1736	-2736	-2236	-

## 備考欄

- ※ T.P.表記 (単位:mm)
- ※ 5時時点の水位
- ※ 1号機タービン建屋の滞留水処理完了(2017年3月)
- ※ 1号機廃棄物処理建屋の滞留水処理完了(2019年3月)
- ※ 3号機原子炉建屋水位は、南東三角コーナー水位が停滞している事から水位変動を監視するため一時的に記載(2019年7月5日～)
- ※ 4号機原子炉建屋の滞留水処理完了(2020年12月)
- ※ 2号機タービン建屋の滞留水処理完了(2020年12月)
- ※ 3号機タービン建屋の滞留水処理完了(2020年12月)
- ※ 4号機タービン建屋の滞留水処理完了(2020年12月)
- ※ 2号機廃棄物処理建屋の滞留水処理完了(2020年12月)
- ※ 3号機廃棄物処理建屋の滞留水処理完了(2020年12月)
- ※ 4号機廃棄物処理建屋の滞留水処理完了(2020年12月)
- ※ サイトバンカ建屋は過去に滞留水を誤って移送したことがあり、排水したものの現状も低レベルの汚染が残っていることから、水位を監視している。  
なお、当該建屋内の水は1～4号機建屋及び集中廃棄物処理施設(プロセス主建屋、高温焼却炉建屋)内の建屋滞留水と切り離されており、放射能濃度も低いことから、建屋滞留水ではない。



## 2. タンク群毎の放射能濃度実測値(再利用タンクを除く) (2021年9月30日現在)

## 2. タンク群毎の放射能濃度実測値（再利用タンクを除く）



### BIエリア

グループ	核種毎の放射能濃度												告示濃度比 総和 (主要7核種 <sup>※</sup> ) [-]	告示濃度比 総和 (主要7核種 <sup>※</sup> +C-14 +Tc-99) [-]
	セシウム (Cs)-137 告示濃度限度 9.00E+01 [Bq/L]	セシウム (Cs)-134 告示濃度限度 6.00E+01 [Bq/L]	コバルト (Co)-60 告示濃度限度 2.00E+02 [Bq/L]	アンチモン (Sb)-125 告示濃度限度 8.00E+02 [Bq/L]	ルテチウム (Ru)-106 告示濃度限度 1.00E+02 [Bq/L]	ストロンチウム (Sr)-90 告示濃度限度 3.00E+01 [Bq/L]	ヨウ素 (I)-129 告示濃度限度 9.00E+00 [Bq/L]	トリチウム (H)-3 告示濃度限度 6.00E+04 [Bq/L]	カーボン (C)-14 告示濃度限度 2.00E+03 [Bq/L]	テクネチウム (Tc)-99 告示濃度限度 1.00E+03 [Bq/L]	全ベータ(β) [Bq/L]	全アルファ(α) [Bq/L]		
A1	1.26E+00	<4.28E-01	6.86E-01	2.71E+00	<2.99E+00	9.23E+03	5.21E+01	1.25E+06	1.55E+01	5.77E+00	2.03E+04	<7.77E-02	313.51	313.52
A5	4.82E-01	<2.97E-01	6.56E-01	1.99E+00	<1.53E+00	2.49E+03	5.39E+01	1.27E+06	1.45E+01	5.92E+00	5.91E+03	<6.00E-02	89.16	89.17
B1	<1.25E-01	<1.37E-01	4.26E-01	<4.48E-01	<1.20E+00	1.15E+00	<2.32E-01	6.42E+05	2.36E+01	<1.68E+00	1.09E+01	<5.69E-02	0.08	0.10
B5	<1.16E-01	<1.56E-01	3.65E-01	<3.14E-01	<1.11E+00	4.06E+00	<2.32E-01	6.72E+05	3.18E+01	<1.68E+00	1.79E+01	<5.69E-02	0.18	0.20
C1	1.61E+00	<3.35E-01	5.17E-01	1.88E+00	<1.49E+00	1.74E+03	4.49E+01	1.02E+06	1.02E+01	4.57E+00	3.85E+03	<9.32E-02	63.10	63.11
D1	3.03E-01	<1.56E-01	<1.78E-01	<4.98E-01	<1.28E+00	1.19E+00	6.57E-01	4.89E+05	3.83E+00	<1.28E+00	8.01E+00	<9.32E-02	0.13	0.14
D2	1.08E+00	<4.66E-01	5.91E-01	2.36E+00	<3.06E+00	6.10E+03	4.23E+01	1.12E+06	9.48E+00	4.89E+00	1.42E+04	<8.35E-02	208.13	208.13
D3	9.19E-01	<3.78E-01	4.94E-01	2.48E+00	<2.70E+00	5.92E+03	4.80E+01	1.06E+06	1.13E+01	5.13E+00	1.37E+04	<8.35E-02	202.78	202.79
D4	1.50E+00	<1.55E+00	<1.18E+00	4.88E+00	<1.21E+01	9.26E+03	4.79E+01	1.13E+06	1.29E+01	4.97E+00	2.02E+04	<8.35E-02	314.06	314.07
D5	2.78E+00	<1.96E+00	<1.34E+00	<6.16E+00	<1.75E+01	1.12E+04	4.68E+01	1.21E+06	1.63E+01	5.22E+00	2.44E+04	<7.77E-02	378.79	378.80
D6	2.16E+00	<4.98E-01	4.27E-01	2.77E+00	<3.59E+00	1.71E+04	4.65E+01	1.32E+06	1.45E+01	5.47E+00	4.04E+04	<7.77E-02	573.57	573.59
D7	2.98E+00	<6.97E-01	4.26E-01	4.78E+00	<4.63E+00	2.26E+04	4.49E+01	1.47E+06	1.44E+01	5.92E+00	5.28E+04	<7.77E-02	757.76	757.77
D8	1.93E+00	<6.05E-01	3.79E-01	1.77E+00	<4.19E+00	1.42E+04	3.49E+01	1.17E+06	1.16E+01	4.28E+00	3.02E+04	<7.97E-02	478.63	478.64
D9	2.13E+00	<4.81E-01	6.52E-01	3.00E+00	<3.36E+00	1.42E+04	4.62E+01	1.27E+06	1.35E+01	5.12E+00	3.27E+04	<7.97E-02	479.54	479.55
E1	3.92E-01	<2.09E-01	4.81E-01	2.19E+00	<1.40E+00	4.57E+02	4.64E+01	1.02E+06	9.95E+00	4.46E+00	1.04E+03	<9.03E-02	20.41	20.42
E6	9.66E-01	<2.32E-01	4.57E-01	2.42E+00	<2.33E+00	7.36E+03	4.11E+01	1.18E+06	1.25E+01	4.78E+00	1.56E+04	<9.03E-02	250.01	250.02

### B南エリア

A1	<2.35E-01	<2.05E-01	<1.86E-01	<7.20E-01	1.82E+00	3.82E+00	9.11E-01	4.80E+05	5.40E+00	<1.28E+00	8.70E+00	<9.03E-02	0.25	0.26
A5	3.86E-01	<1.82E-01	7.75E-01	<4.00E-01	<1.27E+00	3.55E+00	2.63E+00	3.24E+05	1.28E+01	<1.28E+00	7.33E+00	<9.03E-02	0.43	0.44

※ 主要7核種（セシウム-137,セシウム-134,コバルト-60,アンチモン-125,ルテチウム-106,ストロンチウム-90,ヨウ素-129）

【参考】放射能濃度ほかの数値表記について  
 (例)  $4.16E+01 = 4.16 \times 10^1 = 41.6$   
 $4.16E-01 = 4.16 \times 10^{-1} = 0.416$

## 2. タンク群毎の放射能濃度実測値（再利用タンクを除く）



### G1エリア

グループ	核種毎の放射能濃度												告示濃度比 総和 (主要7核種 <sup>※1</sup> ) [-]	告示濃度比 総和 (主要7核種 <sup>※1</sup> + C-14 + Tc-99) [-]
	セシウム (Cs)-137 告示濃度限度 9.00E+01 [Bq/L]	セシウム (Cs)-134 告示濃度限度 6.00E+01 [Bq/L]	コバルト (Co)-60 告示濃度限度 2.00E+02 [Bq/L]	アンチモン (Sb)-125 告示濃度限度 8.00E+02 [Bq/L]	ルテチウム (Ru)-106 告示濃度限度 1.00E+02 [Bq/L]	ストロンチウム (Sr)-90 告示濃度限度 3.00E+01 [Bq/L]	ヨウ素 (I)-129 告示濃度限度 9.00E+00 [Bq/L]	トリチウム (H)-3 告示濃度限度 6.00E+04 [Bq/L]	カーボン (C)-14 告示濃度限度 2.00E+03 [Bq/L]	テクネチウム (Tc)-99 告示濃度限度 1.00E+03 [Bq/L]	全β <sup>-</sup> (β) [Bq/L]	全α (α) [Bq/L]		
B1	<1.16E-01	<1.49E-01	2.45E-01	<4.18E-01	<1.15E+00	<4.68E-01	2.01E-01	4.98E+05	1.28E+01	<7.97E-01	<5.59E+00	<5.65E-02	0.05	0.06
B14	<1.30E-01	<1.67E-01	3.86E-01	<4.34E-01	<1.10E+00	<4.00E-01	<4.35E-01	5.65E+05	2.13E+01	<7.17E-01	6.06E+00	<5.10E-02	0.08	0.09
C1	<2.43E-01	<2.28E-01	3.15E-01	<7.67E-01	<2.15E+00	<4.73E-01	<7.74E-02	3.92E+05	1.22E+01	<2.41E-01	<7.22E+00	<7.57E-02	0.05	0.06
C5	<2.54E-01	<2.03E-01	8.19E-01	<5.26E-01	<1.58E+00	<3.60E-01	1.36E-01	6.64E+05	1.93E+01	<2.41E-01	<6.77E+00	<7.57E-02	0.05	0.06
C9	<1.41E-01	<1.51E-01	4.43E-01	<4.40E-01	<9.79E-01	<4.67E-01	<4.35E-01	5.66E+05	1.86E+01	<7.17E-01	9.65E+00	<6.29E-02	0.08	0.09
D1	<1.26E-01	<1.66E-01	2.35E-01	<4.57E-01	<1.15E+00	<3.90E-01	2.02E-01	3.56E+05	5.55E+00	<5.29E-01	5.03E+00	<6.00E-02	0.05	0.06
D2	<1.28E-01	<2.18E-01	5.01E-01	<3.95E-01	<1.19E+00	<3.88E-01	1.49E-01	3.86E+05	9.03E+00	<5.29E-01	5.03E+00	<6.00E-02	0.05	0.05
D3	<1.46E-01	<1.52E-01	4.12E-01	<4.21E-01	<1.06E+00	<3.94E-01	7.83E-02	4.05E+05	8.76E+00	<4.76E-01	4.97E+00	<5.64E-02	0.04	0.04
D4	<1.30E-01	<1.51E-01	3.24E-01	<4.51E-01	<1.30E+00	<3.79E-01	<4.64E-02	4.17E+05	9.16E+00	<4.76E-01	6.65E+00	<5.64E-02	0.04	0.04
D5	<1.32E-01	<2.14E-01	3.70E-01	4.26E-01	<1.06E+00	<4.85E-01	2.66E-01	4.78E+05	1.09E+01	<4.54E-01	5.11E+00	<5.64E-02	0.06	0.07
D6	<1.50E-01	<1.62E-01	2.94E-01	<4.88E-01	<1.22E+00	<3.59E-01	2.78E-01	5.07E+05	1.01E+01	<4.54E-01	5.38E+00	<5.64E-02	0.06	0.07
D7	<1.36E-01	<1.36E-01	3.24E-01	<3.96E-01	<1.15E+00	<3.78E-01	3.50E-01	4.98E+05	1.04E+01	<4.54E-01	4.94E+00	<4.97E-02	0.07	0.07
D8	<1.31E-01	<1.57E-01	4.78E-01	<3.87E-01	<9.89E-01	<4.97E-01	3.67E-01	5.20E+05	1.10E+01	<4.54E-01	7.99E+00	<4.97E-02	0.07	0.08
D9	<1.30E-01	<1.43E-01	3.12E-01	<4.54E-01	<1.05E+00	8.10E-01	2.95E-01	5.29E+05	4.05E+00	<4.54E-01	8.43E+00	<4.97E-02	0.08	0.08
D10	<1.38E-01	<1.74E-01	3.88E-01	<3.59E-01	<1.12E+00	6.61E-01	3.29E-01	5.40E+05	8.57E+00	<4.54E-01	7.36E+00	<4.97E-02	0.08	0.08
D11	<1.38E-01	<1.53E-01	4.48E-01	<4.33E-01	<1.16E+00	<4.78E-01	3.20E-01	5.25E+05	1.18E+01	<4.54E-01	6.06E+00	<6.32E-02	0.07	0.08
D12	<1.25E-01	<1.27E-01	4.33E-01	<4.09E-01	<1.24E+00	<4.49E-01	3.95E-01	5.13E+05	1.21E+01	<4.54E-01	7.04E+00	<6.32E-02	0.08	0.08

※1 主要7核種（セシウム-137,セシウム-134,コバルト-60,アンチモン-125,ルテチウム-106,ストロンチウム-90,ヨウ素-129）

※2 全βの濃度に影響する核種の調査のためカーボン14,テクネチウム-99を追加測定した結果

【参考】放射能濃度ほかの数値表記について

(例)  $4.16E+01 = 4.16 \times 10^1 = 41.6$   
 $4.16E-01 = 4.16 \times 10^{-1} = 0.416$



## 2. タンク群毎の放射能濃度実測値（再利用タンクを除く）

### G1エリア

グループ	核種毎の放射能濃度												告示濃度比 総和 (主要7核種 <sup>※1</sup> ) [-]	告示濃度比 総和 (主要7核種 <sup>※1</sup> + C-14 + Tc-99) [-]
	セシウム (Cs)-137 告示濃度限度 9.00E+01 [Bq/L]	セシウム (Cs)-134 告示濃度限度 6.00E+01 [Bq/L]	コバルト (Co)-60 告示濃度限度 2.00E+02 [Bq/L]	アンチモン (Sb)-125 告示濃度限度 8.00E+02 [Bq/L]	ルテチウム (Ru)-106 告示濃度限度 1.00E+02 [Bq/L]	ストロンチウム (Sr)-90 告示濃度限度 3.00E+01 [Bq/L]	ヨウ素 (I)-129 告示濃度限度 9.00E+00 [Bq/L]	トリウム (H)-3 告示濃度限度 6.00E+04 [Bq/L]	カーボン (C)-14 告示濃度限度 2.00E+03 [Bq/L]	テクネチウム (Tc)-99 告示濃度限度 1.00E+03 [Bq/L]	全 $\alpha$ -タ(β) [Bq/L]	全 $\gamma$ タ(α) [Bq/L]		
E1	<1.40E-01	<2.08E-01	6.13E-01	<4.28E-01	<1.24E+00	1.91E+00	2.48E-01	2.69E+05	4.35E+00	<3.21E-01	8.66.E+00	<5.69E-02	0.11	0.11
E2	<1.40E-01	<1.78E-01	7.67E-01	<4.46E-01	<1.26E+00	1.04E+00	2.38E-01	2.98E+05	8.12E+00	<3.21E-01	6.86.E+00	<5.69E-02	0.08	0.09
E3	1.54E-01	<2.92E-01	6.92E-01	4.20E-01	<1.02E+00	1.00E+00	2.17E-01	3.90E+05	8.43E+00	<3.21E-01	6.14.E+00	<4.97E-02	0.08	0.08
E4	1.58E-01	<2.89E-01	6.04E-01	<3.81E-01	<1.16E+00	7.82E-01	1.64E-01	5.03E+05	1.64E+01	<3.21E-01	8.37.E+00	<4.97E-02	0.07	0.07
E5	<1.51E-01	<2.79E-01	7.25E-01	<4.05E-01	<1.42E+00	4.76E-01	1.17E-01	5.86E+05	1.95E+01	<3.21E-01	8.12.E+00	<6.00E-02	0.05	0.06
E6	3.43E-01	<1.73E-01	8.30E-01	<3.98E-01	<1.16E+00	<4.40E-01	1.23E-01	6.54E+05	8.38E+00	<3.21E-01	9.83.E+00	<6.00E-02	0.05	0.06
E7	1.47E-01	<1.31E-01	7.74E-01	<4.20E-01	<1.13E+00	<5.09E-01	1.00E-01	6.85E+05	9.74E+00	<3.93E-01	9.49.E+00	<6.00E-02	0.05	0.05
E8	<1.59E-01	<1.62E-01	7.56E-01	<4.38E-01	<1.13E+00	7.30E-01	1.35E-01	6.74E+05	2.68E+01	<3.93E-01	7.41.E+00	<6.00E-02	0.06	0.07
E9	1.84E-01	<2.29E-01	7.73E-01	<4.11E-01	<1.30E+00	5.29E-01	1.22E-01	6.13E+05	2.34E+01	<3.93E-01	8.45.E+00	<6.00E-02	0.05	0.07

※1 主要7核種（セシウム-137,セシウム-134,コバルト-60,アンチモン-125,ルテチウム-106,ストロンチウム-90,ヨウ素-129）

※2 全βの濃度に影響する核種の調査のためカーボン14,テクネチウム-99を追加測定した結果

【参考】放射能濃度ほかの数値表記について

(例)  $4.16E+01 = 4.16 \times 10^1 = 41.6$   
 $4.16E-01 = 4.16 \times 10^{-1} = 0.416$

## 2. タンク群毎の放射能濃度実測値（再利用タンクを除く）



### G1南エリア

グループ	核種毎の放射能濃度												告示濃度比 総和 (主要7核種 <sup>※1</sup> ) [-]	告示濃度比 総和 (主要7核種 <sup>※1</sup> + C-14 + Tc-99) [-]
	セシウム (Cs)-137 告示濃度限度 9.00E+01 [Bq/L]	セシウム (Cs)-134 告示濃度限度 6.00E+01 [Bq/L]	コバルト (Co)-60 告示濃度限度 2.00E+02 [Bq/L]	アンチモン (Sb)-125 告示濃度限度 8.00E+02 [Bq/L]	ルテチウム (Ru)-106 告示濃度限度 1.00E+02 [Bq/L]	ストロンチウム (Sr)-90 告示濃度限度 3.00E+01 [Bq/L]	ヨウ素 (I)-129 告示濃度限度 9.00E+00 [Bq/L]	トリチウム (H)-3 告示濃度限度 6.00E+04 [Bq/L]	カーボン (C)-14 告示濃度限度 2.00E+03 [Bq/L]	テクネチウム (Tc)-99 告示濃度限度 1.00E+03 [Bq/L]	全 $\alpha$ -タ(β) [Bq/L]	全 $\gamma$ ラ(α) [Bq/L]		
A1	<5.95E-02	<1.33E-01	6.57E-01	3.90E-01	2.62E+00	<2.45E-01	2.97E+00	4.26E+05	—	—	9.76E+00	—	0.37	—
A5	1.38E-01	<7.02E-02	1.62E+00	6.49E-01	<7.97E-01	2.54E-01	1.12E+01	6.25E+05	—	—	3.38E+01	—	1.28	—
A5 <sup>※2</sup>	3.42E-01	<1.89E-01	1.28E+00	<4.78E-01	<1.38E+00	<5.03E-01	7.64E+00	5.75E+05	8.05E+01	<1.20E+00	2.63E+01	—	0.89	0.94
B1	5.41E-01	1.69E-01	7.33E-01	6.70E-01	1.53E+00	9.54E+00	4.62E+00	7.93E+05	—	—	6.31E+01	—	0.86	—
B1 <sup>※2</sup>	4.40E-01	<1.74E-01	6.34E-01	5.06E-01	<1.29E+00	2.38E+00	3.04E+00	6.33E+05	9.60E+01	5.61E+00	3.51E+01	<6.28E-02	0.44	0.50
B7	2.13E-01	<1.33E-01	8.06E-01	5.99E-01	1.50E+00	6.18E-01	3.76E+00	7.62E+05	—	—	2.99E+01	—	0.46	—
C1	6.35E-02	<8.11E-02	6.85E-01	4.48E-01	<7.81E-01	2.22E+01	1.32E+01	1.60E+06	—	—	1.22E+02	—	2.22	—
C6	<6.48E-02	<1.03E-01	7.39E-01	4.13E-01	1.05E+00	9.01E-02	5.41E+00	3.21E+05	—	—	1.09E+01	—	0.62	—
B5	2.64E+00	<4.16E-01	6.18E-01	3.79E+00	<2.99E+00	1.85E+04	4.30E+01	2.20E+06	2.27E+01	6.63E+00	3.77E+04	<9.32E-02	621.19	621.20

※1 主要7核種（セシウム-137,セシウム-134,コバルト-60,アンチモン-125,ルテチウム-106,ストロンチウム-90,ヨウ素-129）

※2 全βの濃度に影響する核種の調査のためカーボン14,テクネチウム-99を追加測定した結果

【参考】放射能濃度ほかの数値表記について

(例)  $4.16E+01 = 4.16 \times 10^1 = 41.6$   
 $4.16E-01 = 4.16 \times 10^{-1} = 0.416$

## 2. タンク群毎の放射能濃度実測値（再利用タンクを除く）

### G3エリア

グループ	核種毎の放射能濃度												告示濃度比 総和 (主要7核種 <sup>※1</sup> ) [-]	告示濃度比 総和 (主要7核種 <sup>※1</sup> + C-14 + Tc-99) [-]
	セシウム (Cs)-137 告示濃度限度 9.00E+01 [Bq/L]	セシウム (Cs)-134 告示濃度限度 6.00E+01 [Bq/L]	コバルト (Co)-60 告示濃度限度 2.00E+02 [Bq/L]	アンチモン (Sb)-125 告示濃度限度 8.00E+02 [Bq/L]	ルテニウム (Ru)-106 告示濃度限度 1.00E+02 [Bq/L]	ストロンチウム (Sr)-90 告示濃度限度 3.00E+01 [Bq/L]	ヨウ素 (I)-129 告示濃度限度 9.00E+00 [Bq/L]	トリチウム (H)-3 告示濃度限度 6.00E+04 [Bq/L]	カーボン (C)-14 告示濃度限度 2.00E+03 [Bq/L]	テクネチウム (Tc)-99 告示濃度限度 1.00E+03 [Bq/L]	全ベータ(β) [Bq/L]	全アルファ(α) [Bq/L]		
A1	<7.23E-02	<1.05E-01	5.86E-01	2.50E+00	<1.01E+00	<2.85E-01	4.11E+01	8.45E+05	—	—	1.38E+01	—	4.59	—
B1	<5.85E-02	<6.46E-02	9.70E-02	1.07E+00	<7.66E-01	7.59E-02	2.36E+01	6.55E+05	—	—	1.50E+01	—	2.63	—
C1	4.21E-01	<7.13E-02	2.83E-01	1.72E+00	1.92E+00	1.10E+01	3.78E+01	1.41E+06	—	—	6.10E+01	—	4.59	—
D1	9.26E+00	<1.68E+00	1.24E+01	1.67E+01	<1.06E+01	2.28E+03	1.85E+00	2.80E+05	9.55E+00	<5.24E-01	5.62E+03	—	76.43	76.43

※1 主要7核種（セシウム-137,セシウム-134,コバルト-60,アンチモン-125,ルテニウム-106,ストロンチウム-90,ヨウ素-129）

【参考】放射能濃度ほかの数値表記について  
 (例)  $4.16E+01 = 4.16 \times 10^1 = 41.6$   
 $4.16E-01 = 4.16 \times 10^{-1} = 0.416$

## 2. タンク群毎の放射能濃度実測値（再利用タンクを除く）

### G4南エリア

グループ	核種毎の放射能濃度												告示濃度比 総和 (主要7核種 <sup>※1</sup> ) [-]	告示濃度比 総和 (主要7核種 <sup>※1</sup> + C-14 + Tc-99) [-]
	セシウム (Cs)-137 告示濃度限度 9.00E+01 [Bq/L]	セシウム (Cs)-134 告示濃度限度 6.00E+01 [Bq/L]	コバルト (Co)-60 告示濃度限度 2.00E+02 [Bq/L]	アンチモン (Sb)-125 告示濃度限度 8.00E+02 [Bq/L]	ルテチウム (Ru)-106 告示濃度限度 1.00E+02 [Bq/L]	ストロンチウム (Sr)-90 告示濃度限度 3.00E+01 [Bq/L]	ヨウ素 (I)-129 告示濃度限度 9.00E+00 [Bq/L]	トリウム (H)-3 告示濃度限度 6.00E+04 [Bq/L]	カーボン (C)-14 告示濃度限度 2.00E+03 [Bq/L]	テクネチウム (Tc)-99 告示濃度限度 1.00E+03 [Bq/L]	全 $\alpha$ - $\beta$ [Bq/L]	全 $\gamma$ [Bq/L]		
A1	<1.53E-01	<1.33E-01	6.26E-01	<4.87E-01	<1.33E+00	<3.59E-01	<5.64E-02	3.96E+05	9.48E+00	<4.07E-01	9.30E+00	<6.00E-02	0.04	0.04
A2	<1.30E-01	<1.74E-01	2.69E-01	<4.30E-01	<1.16E+00	5.79E-01	<5.64E-02	4.01E+05	1.19E+01	<4.07E-01	6.51E+00	<6.00E-02	0.04	0.05
A3	<1.24E-01	<1.89E-01	1.63E-01	<3.81E-01	<1.18E+00	5.12E-01	<5.64E-02	4.02E+05	9.57E+00	<4.07E-01	<6.61E+00	<6.00E-02	0.04	0.05
A4	<1.10E-01	<1.30E-01	<1.69E-01	<4.13E-01	<1.02E+00	1.19E+00	<5.64E-02	3.94E+05	9.61E+00	<4.07E-01	1.23E+01	<6.00E-02	0.06	0.07
A5	<1.45E-01	<1.45E-01	2.22E-01	<4.50E-01	<1.29E+00	1.42E+00	<5.64E-02	4.00E+05	9.76E+00	<4.07E-01	9.76E+00	<5.69E-02	0.07	0.08
A6	<1.34E-01	<1.33E-01	1.87E-01	<4.50E-01	<1.18E+00	1.52E+00	<5.64E-02	4.05E+05	1.04E+01	<4.07E-01	1.30E+01	<5.69E-02	0.07	0.08
A7	<1.14E-01	<1.87E-01	<1.67E-01	<4.09E-01	<1.15E+00	2.34E+00	1.69E-01	4.08E+05	1.21E+01	<4.07E-01	<6.37E+00	<6.28E-02	0.11	0.12
A8	<1.45E-01	<1.42E-01	2.03E-01	<4.53E-01	<1.45E+00	2.68E+00	1.13E-01	4.17E+05	8.96E+00	<4.07E-01	6.85E+00	<6.28E-02	0.12	0.13
B1	<1.28E-01	<2.20E-01	1.79E-01	<4.00E-01	<1.22E+00	<5.15E-01	<1.06E-01	3.71E+05	7.94E+00	<3.44E-01	<7.99E+00	<6.28E-02	0.05	0.05
B2	<1.48E-01	<3.97E-01	2.93E-01	<4.52E-01	<1.29E+00	<5.83E-01	<7.38E-02	3.70E+05	9.81E+00	<3.44E-01	<7.99E+00	<6.28E-02	0.05	0.06
B3	1.35E-01	<2.05E-01	4.05E-01	<3.99E-01	<1.21E+00	5.39E-01	<7.38E-02	3.88E+05	7.65E+00	<3.44E-01	1.00E+01	<6.00E-02	0.05	0.05
B4	1.92E-01	<1.65E-01	3.92E-01	<4.58E-01	<1.19E+00	<4.95E-01	<7.38E-02	4.21E+05	1.08E+01	<3.44E-01	6.74E+00	<6.00E-02	0.04	0.05
B5	4.11E-01	<1.39E-01	4.16E-01	<4.72E-01	<1.16E+00	6.15E-01	<7.38E-02	4.65E+05	1.09E+01	<3.47E-01	<6.38E+00	<5.64E-02	0.05	0.06
B6	4.82E-01	<1.28E-01	5.18E-01	<4.42E-01	<1.12E+00	7.14E-01	3.05E-01	5.10E+05	1.21E+01	<3.47E-01	6.51E+00	<5.64E-02	0.08	0.09
B7	7.30E-01	<1.77E-01	5.95E-01	<4.73E-01	<1.21E+00	<6.53E-01	1.74E-01	5.35E+05	1.18E+01	<3.47E-01	7.79E+00	<5.24E-02	0.07	0.07
B8	6.08E-01	<1.38E-01	4.98E-01	<4.62E-01	<1.19E+00	1.41E+00	1.87E-01	5.39E+05	1.94E+01	<3.47E-01	1.02E+01	<5.24E-02	0.09	0.10
B9	8.16E-01	<1.60E-01	3.85E-01	<4.75E-01	<1.30E+00	1.54E+00	2.17E-01	5.16E+05	2.10E+01	<3.47E-01	1.16E+01	<4.97E-02	0.10	0.11
B10	9.77E-01	<1.53E-01	5.20E-01	<4.38E-01	<1.25E+00	2.45E+00	2.23E-01	5.03E+05	1.80E+01	<3.47E-01	1.16E+01	<4.97E-02	0.14	0.14

※1 主要7核種（セシウム-137,セシウム-134,コバルト-60,アンチモン-125,ルテチウム-106,ストロンチウム-90,ヨウ素-129）

【参考】放射能濃度ほかの数値表記について  
 (例)  $4.16E+01 = 4.16 \times 10^1 = 41.6$   
 $4.16E-01 = 4.16 \times 10^{-1} = 0.416$

## 2. タンク群毎の放射能濃度実測値（再利用タンクを除く）

### G4南エリア

グループ	核種毎の放射能濃度												告示濃度比 総和 (主要7核種 <sup>※1</sup> ) [-]	告示濃度比 総和 (主要7核種 <sup>※1</sup> + C-14 + Tc-99) [-]
	セシウム (Cs)-137 告示濃度限度 9.00E+01 [Bq/L]	セシウム (Cs)-134 告示濃度限度 6.00E+01 [Bq/L]	コバルト (Co)-60 告示濃度限度 2.00E+02 [Bq/L]	アンチモン (Sb)-125 告示濃度限度 8.00E+02 [Bq/L]	ルテチウム (Ru)-106 告示濃度限度 1.00E+02 [Bq/L]	ストロンチウム (Sr)-90 告示濃度限度 3.00E+01 [Bq/L]	ヨウ素 (I)-129 告示濃度限度 9.00E+00 [Bq/L]	トリチウム (H)-3 告示濃度限度 6.00E+04 [Bq/L]	カーボン (C)-14 告示濃度限度 2.00E+03 [Bq/L]	テクネチウム (Tc)-99 告示濃度限度 1.00E+03 [Bq/L]	全 $\alpha$ - $\beta$ [Bq/L]	全 $\gamma$ [Bq/L]		
C1	<1.43E-01	<2.65E-01	3.96E-01	<4.68E-01	<1.19E+00	<3.57E-01	7.82E-01	2.93E+05	1.59E+01	<5.29E-01	7.00E+00	<5.36E-02	0.12	0.13
C2	<1.48E-01	<1.64E-01	3.03E-01	<4.50E-01	<1.37E+00	<4.33E-01	2.82E-01	3.02E+05	8.20E+00	<5.29E-01	5.74E+00	<5.36E-02	0.07	0.07
C3	<1.44E-01	<2.72E-01	2.26E-01	<3.84E-01	<1.17E+00	<4.07E-01	7.05E-01	3.19E+05	4.79E+00	<3.01E-01	5.34E+00	<5.36E-02	0.11	0.11
C4	<1.23E-01	<1.99E-01	2.97E-01	4.73E-01	<1.08E+00	<4.46E-01	1.51E-01	3.40E+05	7.79E+00	<3.01E-01	5.07E+00	<5.36E-02	0.05	0.05
C5	<1.19E-01	<2.05E-01	1.31E-01	<3.57E-01	<1.26E+00	<4.99E-01	<9.37E-02	3.64E+05	<3.13E+00	<3.01E-01	4.71E+00	<6.54E-02	0.05	0.05
C6	<1.32E-01	<2.15E-01	2.22E-01	<4.19E-01	<1.18E+00	6.92E-01	<9.37E-02	3.91E+05	6.04E+00	<4.76E-01	5.70E+00	<6.54E-02	0.05	0.06
C7	<1.49E-01	<2.75E-01	1.77E-01	<4.11E-01	<1.18E+00	5.98E-01	3.21E-01	4.11E+05	6.47E+00	<4.76E-01	6.24E+00	<6.54E-02	0.08	0.08
C8	<1.30E-01	<1.48E-01	2.29E-01	<4.49E-01	<1.10E+00	8.05E-01	1.58E-01	4.34E+05	7.83E+00	<4.76E-01	7.67E+00	<6.54E-02	0.06	0.07

※1 主要7核種（セシウム-137,セシウム-134,コバルト-60,アンチモン-125,ルテチウム-106,ストロンチウム-90,ヨウ素-129）

【参考】放射能濃度ほかの数値表記について  
 (例)  $4.16E+01 = 4.16 \times 10^1 = 41.6$   
 $4.16E-01 = 4.16 \times 10^{-1} = 0.416$

## 2. タンク群毎の放射能濃度実測値（再利用タンクを除く）

### G6エリア

グループ	核種毎の放射能濃度												告示濃度比 総和 (主要7核種 <sup>※1</sup> ) [-]	告示濃度比 総和 (主要7核種 <sup>※1</sup> + C-14 + Tc-99) [-]
	セシウム (Cs)-137 告示濃度限度 9.00E+01 [Bq/L]	セシウム (Cs)-134 告示濃度限度 6.00E+01 [Bq/L]	コバルト (Co)-60 告示濃度限度 2.00E+02 [Bq/L]	アンチモン (Sb)-125 告示濃度限度 8.00E+02 [Bq/L]	ルテチウム (Ru)-106 告示濃度限度 1.00E+02 [Bq/L]	ストロンチウム (Sr)-90 告示濃度限度 3.00E+01 [Bq/L]	ヨウ素 (I)-129 告示濃度限度 9.00E+00 [Bq/L]	トリチウム (H)-3 告示濃度限度 6.00E+04 [Bq/L]	カーボン (C)-14 告示濃度限度 2.00E+03 [Bq/L]	テクネチウム (Tc)-99 告示濃度限度 1.00E+03 [Bq/L]	全ベータ(β) [Bq/L]	全アルファ(α) [Bq/L]		
A1	4.42E-01	<3.17E-01	9.20E-01	<6.63E-01	<1.93E+00	1.47E+00	<3.51E-01	8.88E+05	3.77E+01	<1.38E+00	8.47E+00	<9.03E-02	0.12	0.14
A9 <sup>※2</sup>	7.35E-01	<3.45E-01	7.06E-01	1.06E+00	<2.11E+00	8.91E+00	3.15E-01	1.14E+06	1.27E+02	<4.64E-01	4.93E+01	<8.87E-02	0.37	0.44
B1	<2.29E-01	<1.58E-01	9.39E-01	<4.66E-01	<1.30E+00	<4.45E-01	1.77E+00	1.19E+06	5.12E+01	<1.28E+00	2.20E+01	<9.32E-02	0.24	0.26
B6	2.17E-01	<2.76E-01	1.67E+00	<4.37E-01	<1.23E+00	5.49E-01	1.89E+00	1.11E+06	1.19E+02	<1.28E+00	3.11E+01	<9.32E-02	0.26	0.32
C1	<2.26E-01	<2.01E-01	3.59E-01	<7.01E-01	<1.79E+00	1.06E+00	<3.51E-01	7.48E+05	2.62E+01	<1.38E+00	1.08E+01	<9.03E-02	0.10	0.12
C10	<2.56E-01	<1.84E-01	3.56E-01	<7.21E-01	<1.71E+00	1.90E+00	2.64E+00	7.28E+05	2.55E+01	<1.38E+00	1.26E+01	<9.03E-02	0.38	0.40
D1	<1.27E-01	<1.42E-01	4.74E-01	<4.32E-01	<1.35E+00	2.24E+00	<2.32E-01	6.37E+05	2.39E+01	<1.68E+00	9.65E+00	<6.00E-02	0.12	0.13
D6	<1.48E-01	<2.22E-01	4.31E-01	7.42E-01	<1.34E+00	1.21E+00	1.34E+00	9.35E+05	4.79E+01	<1.68E+00	2.19E+01	<6.00E-02	0.21	0.24

※1 主要7核種（セシウム-137,セシウム-134,コバルト-60,アンチモン-125,ルテチウム-106,ストロンチウム-90,ヨウ素-129）

※2 再分析の結果を反映

【参考】放射能濃度ほかの数値表記について

(例)  $4.16E+01 = 4.16 \times 10^1 = 41.6$   
 $4.16E-01 = 4.16 \times 10^{-1} = 0.416$

## 2. タンク群毎の放射能濃度実測値（再利用タンクを除く）

### G7エリア

グループ	核種毎の放射能濃度									告示濃度比 総和 (主要7核種 <sup>※1</sup> ) [-]
	セシウム(Cs)-137 告示濃度限度 9.00E+01 [Bq/L]	セシウム(Cs)-134 告示濃度限度 6.00E+01 [Bq/L]	コバルト(Co)-60 告示濃度限度 2.00E+02 [Bq/L]	アンチモン(Sb)-125 告示濃度限度 8.00E+02 [Bq/L]	ルテチウム(Ru)-106 告示濃度限度 1.00E+02 [Bq/L]	ストロンチウム(Sr)-90 告示濃度限度 3.00E+01 [Bq/L]	ヨウ素(I)-129 告示濃度限度 9.00E+00 [Bq/L]	トリチウム(H)-3 告示濃度限度 6.00E+04 [Bq/L]	全ベータ(β) [Bq/L]	
B1	4.87E-01	<2.86E-01	5.40E-01	1.04E+02	<8.86E-01	2.24E+00	2.17E+01	5.24E+05	1.37E+02	2.63

### H1エリア

A1	4.62E+00	5.03E-01	9.35E-01	1.78E+01	2.19E+00	1.68E+00	3.75E+01	9.06E+05	7.56E+01	4.33
C2	1.91E+00	1.85E-01	1.12E+00	5.29E+00	3.07E+00	1.86E+00	9.02E+00	2.50E+06	3.80E+01	1.13
E1 <sup>※2</sup>	<6.98E-02	<8.60E-02	2.25E+00	1.41E+00	2.13E+00	1.41E+01	1.99E+01	4.70E+05	5.05E+01	2.71
G5 <sup>※2</sup>	1.05E-01	<1.02E-01	1.21E+00	8.26E-01	8.49E-01	8.55E+00	6.89E+00	5.28E+05	3.14E+01	1.07

※1 主要7核種（セシウム-137,セシウム-134,コバルト-60,アンチモン-125,ルテチウム-106,ストロンチウム-90,ヨウ素-129）

※2 放射能濃度測定後に追加でALPS処理水を受入れ。掲載のデータは、追加受入れ前の測定値。

【参考】放射能濃度ほかの数値表記について

(例)  $4.16E+01 = 4.16 \times 10^1 = 41.6$   
 $4.16E-01 = 4.16 \times 10^{-1} = 0.416$

## 2. タンク群毎の放射能濃度実測値（再利用タンクを除く）

### H1東エリア

グループ	核種毎の放射能濃度												告示濃度比 総和 (主要7核種 <sup>※1</sup> ) [-]	告示濃度比 総和 (主要7核種 <sup>※1</sup> +C-14 +Tc-99) [-]
	セシウム (Cs)-137 告示濃度限度 9.00E+01 [Bq/L]	セシウム (Cs)-134 告示濃度限度 6.00E+01 [Bq/L]	コバルト (Co)-60 告示濃度限度 2.00E+02 [Bq/L]	アンチモン (Sb)-125 告示濃度限度 8.00E+02 [Bq/L]	ルテチウム (Ru)-106 告示濃度限度 1.00E+02 [Bq/L]	ストロンチウム (Sr)-90 告示濃度限度 3.00E+01 [Bq/L]	ヨウ素 (I)-129 告示濃度限度 9.00E+00 [Bq/L]	トリチウム (H)-3 告示濃度限度 6.00E+04 [Bq/L]	カーボン (C)-14 告示濃度限度 2.00E+03 [Bq/L]	テクネチウム (Tc)-99 告示濃度限度 1.00E+03 [Bq/L]	全ベータ(β) [Bq/L]	全アルファ(α) [Bq/L]		
A1	1.05E+00	<1.55E-01	5.52E-01	<4.39E-01	<1.28E+00	8.25E-01	6.13E+00	2.21E+05	—	—	1.14E+01	—	0.74	—
A1 <sup>※2</sup>	4.96E-01	<2.07E-01	9.12E-01	<4.47E-01	<1.15E+00	4.42E+00	3.84E+00	1.94E+05	1.42E+01	<1.02E+00	1.32E+01	<5.36E-02	0.60	0.61
A4	7.16E-01	<1.83E-01	7.10E-01	<4.80E-01	<1.23E+00	6.87E-01	5.65E+00	2.64E+05	—	—	1.89E+01	—	0.68	—
A7	7.32E-01	<2.66E-01	6.05E-01	<4.13E-01	1.96E+00	7.83E-01	5.19E+00	2.71E+05	—	—	1.91E+01	—	0.64	—
B1	5.35E-01	<2.68E-01	4.12E-01	<4.18E-01	<1.29E+00	4.12E-01	4.71E+00	2.33E+05	—	—	1.02E+01	—	0.56	—
B3	6.58E-01	<3.02E-01	7.89E-01	<4.36E-01	<1.46E+00	7.15E-01	5.34E+00	2.52E+05	—	—	1.56E+01	—	0.65	—
B5	8.22E-01	<1.46E-01	6.84E-01	<5.49E-01	<1.23E+00	9.06E-01	5.72E+00	2.64E+05	—	—	1.84E+01	—	0.69	—
B7	6.02E-01	<2.18E-01	7.54E-01	<4.40E-01	<1.19E+00	9.67E-01	5.59E+00	2.68E+05	—	—	1.45E+01	—	0.68	—
C1	6.82E-01	<1.61E-01	4.39E-01	<4.67E-01	<1.27E+00	3.05E-01	7.01E+00	1.90E+05	—	—	8.20E+00	—	0.82	—
C3	7.33E-01	<1.48E-01	8.03E-01	<4.72E-01	<1.34E+00	5.56E-01	5.24E+00	2.40E+05	—	—	1.86E+01	—	0.63	—
C6	6.87E-01	<2.18E-01	1.03E+00	5.34E-01	<1.24E+00	1.56E-01	3.99E+00	2.62E+05	—	—	1.73E+01	—	0.48	—
C8	5.83E-01	<1.19E-01	9.61E-01	<4.18E-01	<1.20E+00	1.44E-01	3.98E+00	2.56E+05	—	—	1.74E+01	—	0.47	—
C8 <sup>※2</sup>	4.67E-01	<2.15E-01	8.59E-01	<6.45E-01	<1.95E+00	<5.11E-01	2.80E+00	2.40E+05	1.51E+01	1.49E+01	2.15E+01	—	0.36	0.38

※1 主要7核種（セシウム-137,セシウム-134,コバルト-60,アンチモン-125,ルテチウム-106,ストロンチウム-90,ヨウ素-129）

※2 全βの濃度に影響する核種の調査のためカーボン14,テクネチウム-99を追加測定した結果

【参考】放射能濃度ほかの数値表記について

(例)  $4.16E+01 = 4.16 \times 10^1 = 41.6$   
 $4.16E-01 = 4.16 \times 10^{-1} = 0.416$



## 2. タンク群毎の放射能濃度実測値（再利用タンクを除く）

### H2 エリア

グループ	核種毎の放射能濃度												告示濃度比 総和 (主要7核種 <sup>※1</sup> ) [-]	告示濃度比 総和 (主要7核種 <sup>※1</sup> +C-14 +Tc-99) [-]
	セシウム (Cs)-137 告示濃度限度 9.00E+01 [Bq/L]	セシウム (Cs)-134 告示濃度限度 6.00E+01 [Bq/L]	コバルト (Co)-60 告示濃度限度 2.00E+02 [Bq/L]	アンチモン (Sb)-125 告示濃度限度 8.00E+02 [Bq/L]	ルテチウム (Ru)-106 告示濃度限度 1.00E+02 [Bq/L]	ストロンチウム (Sr)-90 告示濃度限度 3.00E+01 [Bq/L]	ヨウ素 (I)-129 告示濃度限度 9.00E+00 [Bq/L]	トリチウム (H)-3 告示濃度限度 6.00E+04 [Bq/L]	カーボン (C)-14 告示濃度限度 2.00E+03 [Bq/L]	テクネチウム (Tc)-99 告示濃度限度 1.00E+03 [Bq/L]	全 $\alpha$ -タ(β) [Bq/L]	全 $\alpha$ ラ(α) [Bq/L]		
A1	1.03E-01	<1.82E-01	3.78E-01	6.75E-01	<9.73E-01	4.64E-01	8.33E+00	1.07E+06	—	—	2.46E+01	—	0.96	—
A1 <sup>※2</sup>	<2.46E-01	<4.27E-01	2.30E-01	<6.57E-01	<1.69E+00	6.17E+00	5.23E+00	9.40E+05	1.08E+02	<9.58E-01	4.21E+01	—	0.82	0.87
A5	1.90E-01	<1.78E-01	5.72E-01	5.83E-01	<1.00E+00	<7.19E-02	3.72E+00	2.76E+05	—	—	6.59E+00	—	0.43	—
B1	3.11E-01	<2.22E-01	1.62E+00	1.05E+00	7.70E+00	3.25E-01	9.09E+00	3.42E+05	—	—	2.11E+01	—	1.11	—
B1 <sup>※2</sup>	2.91E-01	<2.95E-01	1.17E+00	<4.57E-01	1.85E+00	3.32E+00	5.85E+00	2.95E+05	2.22E+01	1.26E+01	2.62E+01	<5.36E-02	0.79	0.82
B4	3.74E-01	<1.20E-01	5.53E-01	6.32E-01	<9.44E-01	1.14E-01	1.39E+00	1.96E+05	—	—	6.12E+00	—	0.18	—
C1	1.06E+00	<1.58E-01	5.87E-01	7.23E-01	<9.29E-01	<5.93E-02	6.90E+00	6.41E+05	—	—	1.54E+01	—	0.80	—
C1 <sup>※2</sup>	8.72E-01	<2.17E-01	2.68E-01	<4.39E-01	<1.31E+00	2.47E+00	6.25E+00	5.57E+05	5.93E+01	<1.23E+00	1.96E+01	<5.36E-02	0.81	0.84
C2	1.04E+00	2.34E-01	5.46E-01	5.40E-01	<7.57E-01	<2.28E-01	5.22E+00	4.62E+05	—	—	1.56E+01	—	0.61	—
C4	4.94E-01	<2.05E-01	6.32E-01	7.17E-01	<9.37E-01	<5.60E-02	5.46E+00	3.65E+05	—	—	1.00E+01	—	0.63	—
D1	3.56E-01	<1.48E-01	6.40E-01	6.82E-01	7.72E+00	<8.42E-02	2.82E+00	5.04E+05	—	—	1.23E+01	—	0.40	—
D1 <sup>※2</sup>	4.46E-01	<2.64E-01	4.17E-01	<4.19E-01	<1.22E+00	2.84E+00	2.69E+00	4.41E+05	1.40E+01	<1.23E+00	1.04E+01	<6.54E-02	0.42	0.43
D3	3.14E-01	<1.26E-01	8.76E-01	6.02E-01	6.50E+00	2.25E-01	4.51E+00	4.54E+05	—	—	1.61E+01	—	0.58	—

※1 主要7核種（セシウム-137,セシウム-134,コバルト-60,アンチモン-125,ルテチウム-106,ストロンチウム-90,ヨウ素-129）

※2 全βの濃度に影響する核種の調査のためカーボン14,テクネチウム-99を追加測定した結果

【参考】放射能濃度ほかの数値表記について

(例)  $4.16E+01 = 4.16 \times 10^1 = 41.6$   
 $4.16E-01 = 4.16 \times 10^{-1} = 0.416$

## 2. タンク群毎の放射能濃度実測値（再利用タンクを除く）

### H2 エリア

グループ	核種毎の放射能濃度												告示濃度比 総和 (主要7核種 <sup>※1</sup> ) [-]	告示濃度比 総和 (主要7核種 <sup>※1</sup> +C-14 +Tc-99) [-]
	セシウム (Cs)-137 告示濃度限度 9.00E+01 [Bq/L]	セシウム (Cs)-134 告示濃度限度 6.00E+01 [Bq/L]	コバルト (Co)-60 告示濃度限度 2.00E+02 [Bq/L]	アンチモン (Sb)-125 告示濃度限度 8.00E+02 [Bq/L]	ルテチウム (Ru)-106 告示濃度限度 1.00E+02 [Bq/L]	ストロンチウム (Sr)-90 告示濃度限度 3.00E+01 [Bq/L]	ヨウ素 (I)-129 告示濃度限 度 9.00E+00 [Bq/L]	トリチウム (H)-3 告示濃度限度 6.00E+04 [Bq/L]	カーボン (C)-14 告示濃度限度 2.00E+03 [Bq/L]	テクネチウム (Tc)-99 告示濃度限度 1.00E+03 [Bq/L]	全 $\alpha$ -タ(β) [Bq/L]	全 $\alpha$ ラ(α) [Bq/L]		
E1	3.71E-01	<1.78E-01	5.41E-01	8.12E-01	1.84E+00	1.75E-01	4.67E+00	5.46E+05	—	—	1.62E+01	—	0.55	—
E1 <sup>※2</sup>	3.37E-01	<1.94E-01	2.15E-01	5.02E-01	<1.22E+00	1.96E+00	4.21E+00	4.62E+05	1.66E+01	1.81E+01	1.91E+01	<6.54E-02	0.55	0.58
E4	2.25E-01	<1.42E-01	1.23E+00	9.47E-01	2.06E+00	3.23E-01	6.19E+00	4.25E+05	—	—	1.14E+01	—	0.73	—
F1	5.02E-01	<1.27E-01	5.14E-01	7.10E-01	<1.04E+00	<6.39E-02	2.24E+01	7.58E+05	—	—	2.68E+01	—	2.52	—
G5	5.31E-01	1.50E-01	6.20E-01	5.77E-01	<9.29E-01	<5.45E-02	5.47E+00	3.59E+05	—	—	7.40E+00	—	0.63	—
J1	4.45E-01	<1.28E-01	9.50E-01	8.10E-01	3.63E+00	<6.36E-02	3.81E+00	4.97E+05	—	—	1.91E+01	—	0.47	—
J1 <sup>※2</sup>	5.07E-01	<1.78E-01	5.58E-01	5.21E-01	<1.34E+00	2.11E+00	2.51E+00	4.38E+05	3.88E+01	1.22E+01	2.46E+01	<6.54E-02	0.37	0.41
J3	3.96E-01	<1.27E-01	1.05E+00	6.84E-01	<9.45E-01	6.25E-02	2.16E+00	3.69E+05	—	—	1.04E+01	—	0.26	—
K4	2.70E-01	<1.90E-01	9.15E-01	9.24E-01	2.32E+00	9.67E-02	3.03E+00	5.12E+05	—	—	1.84E+01	—	0.38	—
L1	1.35E-01	<1.33E-01	7.92E-01	5.83E-01	<9.45E-01	1.66E-01	1.35E+01	1.26E+06	—	—	2.72E+01	—	1.52	—

※1 主要7核種（セシウム-137,セシウム-134,コバルト-60,アンチモン-125,ルテチウム-106,ストロンチウム-90,ヨウ素-129）

※2 全βの濃度に影響する核種の調査のためカーボン14,テクネチウム-99を追加測定した結果

【参考】放射能濃度ほかの数値表記について

(例)  $4.16E+01 = 4.16 \times 10^1 = 41.6$   
 $4.16E-01 = 4.16 \times 10^{-1} = 0.416$

## 2. タンク群毎の放射能濃度実測値（再利用タンクを除く）

### H3エリア

グループ	核種毎の放射能濃度												告示濃度比 総和 (主要7核種 <sup>※1</sup> ) [-]	告示濃度比 総和 (主要7核種 <sup>※1</sup> +C-14 +Tc-99) [-]
	セシウム (Cs)-137 告示濃度限度 9.00E+01 [Bq/L]	セシウム (Cs)-134 告示濃度限度 6.00E+01 [Bq/L]	コバルト (Co)-60 告示濃度限度 2.00E+02 [Bq/L]	アンチモン (Sb)-125 告示濃度限度 8.00E+02 [Bq/L]	ルテチウム (Ru)-106 告示濃度限度 1.00E+02 [Bq/L]	ストロンチウム (Sr)-90 告示濃度限度 3.00E+01 [Bq/L]	ヨウ素 (I)-129 告示濃度限度 9.00E+00 [Bq/L]	トリチウム (H)-3 告示濃度限度 6.00E+04 [Bq/L]	カーボン (C)-14 告示濃度限度 2.00E+03 [Bq/L]	テクネチウム (Tc)-99 告示濃度限度 1.00E+03 [Bq/L]	全ベータ(B) [Bq/L]	全アルファ(a) [Bq/L]		
A1	<2.46E-01	<1.85E-01	6.08E-01	<4.63E-01	<1.24E+00	5.34E+00	<1.92E-01	1.25E+06	1.04E+02	<5.24E-01	3.21E+01	<8.72E-02	0.22	0.27
B5	4.40E-01	<2.67E-01	1.71E+00	<3.93E-01	<1.18E+00	2.28E+00	1.37E+00	6.50E+05	6.12E+01	<5.24E-01	2.98E+01	<8.72E-02	0.26	0.29

### H4北エリア

A1	4.55E-01	<1.52E-01	9.90E-01	7.08E-01	8.76E+00	7.31E-02	1.78E+01	5.58E+05	—	—	3.97E+01	—	2.08	—
A6	3.37E-01	<1.68E-01	4.62E-01	6.53E-01	5.77E+00	1.91E-01	1.77E+00	7.14E+05	—	—	4.07E+01	—	0.27	—
A7	5.92E-01	<1.25E-01	4.36E-01	6.50E-01	<9.37E-01	<6.04E-02	6.06E+00	5.52E+05	—	—	1.60E+01	—	0.70	—
B1	2.40E-01	<1.90E-01	1.11E+00	5.74E-01	<1.03E+00	<5.88E-02	1.47E+01	1.20E+06	—	—	2.49E+01	—	1.66	—
C1	<8.87E-02	<1.22E-01	3.64E-01	7.09E-01	1.26E+00	<5.27E-02	6.37E+00	1.25E+06	—	—	1.87E+01	—	0.73	—
C1 <sup>※2</sup>	<2.42E-01	<1.46E-01	1.62E+00	<4.60E-01	<1.37E+00	<4.21E-01	1.01E+00	9.86E+05	6.72E+01	<1.20E+00	2.59E+01	—	0.15	0.19
C5	1.41E+00	1.44E-01	3.17E-01	6.56E-01	<9.38E-01	<6.68E-02	6.74E+00	6.03E+05	—	—	2.13E+01	—	0.78	—
D1	1.68E-01	<1.25E-01	5.52E-01	4.68E-01	<1.04E+00	6.22E+00	1.01E+01	1.25E+06	—	—	4.33E+01	—	1.35	—
D4	3.38E-01	<1.88E-01	4.97E-01	5.26E-01	<9.28E-01	4.39E+00	1.61E+01	6.55E+05	—	—	2.76E+01	—	1.95	—

※1 主要7核種（セシウム-137,セシウム-134,コバルト-60,アンチモン-125,ルテチウム-106,ストロンチウム-90,ヨウ素-129）

※2 全βの濃度に影響する核種の調査のためカーボン14,テクネチウム-99を追加測定した結果

【参考】放射能濃度ほかの数値表記について

(例)  $4.16E+01 = 4.16 \times 10^1 = 41.6$   
 $4.16E-01 = 4.16 \times 10^{-1} = 0.416$

## 2. タンク群毎の放射能濃度実測値（再利用タンクを除く）

### H4南エリア

グループ	核種毎の放射能濃度												告示濃度比 総和 (主要7核種 <sup>※1</sup> ) [-]	告示濃度比 総和 (主要7核種 <sup>※1</sup> +C-14 +Tc-99) [-]
	セシウム (Cs)-137 告示濃度限度 9.00E+01 [Bq/L]	セシウム (Cs)-134 告示濃度限度 6.00E+01 [Bq/L]	コバルト (Co)-60 告示濃度限度 2.00E+02 [Bq/L]	アンチモン (Sb)-125 告示濃度限度 8.00E+02 [Bq/L]	ルテチウム (Ru)-106 告示濃度限度 1.00E+02 [Bq/L]	ストロンチウム (Sr)-90 告示濃度限度 3.00E+01 [Bq/L]	ヨウ素 (I)-129 告示濃度限度 9.00E+00 [Bq/L]	トリチウム (H)-3 告示濃度限度 6.00E+04 [Bq/L]	カーボン (C)-14 告示濃度限度 2.00E+03 [Bq/L]	テクネチウム (Tc)-99 告示濃度限度 1.00E+03 [Bq/L]	全β(β) [Bq/L]	全α(α) [Bq/L]		
A1	<9.03E-02	<1.35E-01	1.96E+00	7.96E-01	1.98E+00	1.50E-01	1.49E+01	9.72E+05	—	—	1.82E+01	—	1.70	—
A11	<9.01E-02	<1.54E-01	1.11E+00	6.85E-01	<1.11E+00	2.65E-01	7.29E+00	1.18E+06	—	—	2.44E+01	—	0.84	—
B1	3.97E-01	<2.05E-01	2.12E+00	<4.74E-01	<1.46E+00	8.12E-01	8.00E-01	1.11E+06	1.02E+02	<1.20E+00	2.63E+01	<7.35E-02	0.15	0.20
B6	4.44E-01	<1.55E-01	7.04E-01	<4.29E-01	<1.21E+00	<3.97E-01	1.30E+00	1.05E+06	7.63E+01	<1.20E+00	2.24E+01	<9.11E-02	0.18	0.22
B7	<2.40E-01	<1.68E-01	7.03E-01	5.58E-01	<1.20E+00	<3.90E-01	1.70E+01	1.73E+06	2.15E+02	<1.20E+00	6.18E+01	<9.11E-02	1.92	2.03
C1	9.81E-02	<9.79E-02	3.46E-01	2.51E-01	1.05E+00	<6.58E-02	3.24E+00	2.28E+05	—	—	<4.32E+00	—	0.38	—
D1	1.68E-01	<1.07E-01	6.39E-01	4.02E-01	3.42E+00	2.35E-01	3.06E+00	7.89E+05	—	—	2.94E+01	—	0.39	—
D7	3.14E-01	<1.58E-01	4.68E-01	3.64E-01	1.27E+00	1.45E-01	3.20E+00	5.51E+05	—	—	1.89E+01	—	0.38	—
D7 <sup>※2</sup>	3.13E-01	<1.81E-01	4.88E-01	<4.78E-01	<1.38E+00	6.90E-01	2.22E+00	4.28E+05	3.97E+01	<9.58E-01	1.05E+01	—	0.29	0.31
D8	8.18E-02	<1.01E-01	1.57E+00	8.16E-01	2.34E+00	2.08E-01	1.38E+01	1.30E+06	—	—	4.86E+01	—	1.57	—
D8 <sup>※2</sup>	<2.03E-01	<2.14E-01	1.31E+00	<8.07E-01	<1.35E+00	<4.03E-01	1.25E+01	1.18E+06	1.39E+02	<9.58E-01	3.48E+01	—	1.43	1.50
E1	6.71E+00	<1.14E+00	<9.45E-01	<2.32E+00	<7.52E+00	3.12E+00	2.21E+00	7.67E+05	3.44E+01	<1.20E+00	3.50E+01	<7.35E-02	0.53	0.54

※1 主要7核種（セシウム-137,セシウム-134,コバルト-60,アンチモン-125,ルテチウム-106,ストロンチウム-90,ヨウ素-129）

※2 全βの濃度に影響する核種の調査のためカーボン14,テクネチウム-99を追加測定した結果

【参考】放射能濃度ほかの数値表記について  
 (例)  $4.16E+01 = 4.16 \times 10^1 = 41.6$   
 $4.16E-01 = 4.16 \times 10^{-1} = 0.416$

## 2. タンク群毎の放射能濃度実測値（再利用タンクを除く）

### H5エリア

グループ	核種毎の放射能濃度												告示濃度比 総和 (主要7核種*) [-]	告示濃度比 総和 (主要7核種* +C-14 +Tc-99) [-]
	セシウム (Cs)-137 告示濃度限度 9.00E+01 [Bq/L]	セシウム (Cs)-134 告示濃度限度 6.00E+01 [Bq/L]	コバルト (Co)-60 告示濃度限度 2.00E+02 [Bq/L]	アンチモン (Sb)-125 告示濃度限度 8.00E+02 [Bq/L]	ルテチウム (Ru)-106 告示濃度限度 1.00E+02 [Bq/L]	ストロンチウム (Sr)-90 告示濃度限度 3.00E+01 [Bq/L]	ヨウ素 (I)-129 告示濃度限度 9.00E+00 [Bq/L]	トリチウム (H)-3 告示濃度限度 6.00E+04 [Bq/L]	カーボン (C)-14 告示濃度限度 2.00E+03 [Bq/L]	テクネチウム (Tc)-99 告示濃度限度 1.00E+03 [Bq/L]	全ヘータ(β) [Bq/L]	全アルファ(α) [Bq/L]		
A1	<2.37E-01	<4.07E-01	1.24E+00	1.43E+00	1.84E+00	<3.40E-01	2.04E+00	1.17E+06	8.29E+01	<1.28E+00	1.79E+01	<9.32E-02	0.27	0.32
A12	<2.26E-01	<1.43E-01	6.65E-01	<4.59E-01	<1.28E+00	<4.06E-01	2.82E+00	5.48E+05	5.30E+01	<5.24E-01	1.51E+01	<7.68E-02	0.35	0.37
B1	<2.27E-01	<2.43E-01	1.32E+00	3.35E+00	<1.40E+00	<3.94E-01	2.23E+00	7.80E+05	2.98E+01	<1.28E+00	2.15E+01	<9.32E-02	0.29	0.31
B11	<2.02E-01	<1.17E-01	6.77E-01	<3.95E-01	<1.23E+00	4.14E-01	2.32E+00	6.68E+05	5.87E+01	<5.24E-01	1.92E+01	<7.68E-02	0.29	0.32
C1	<2.03E-01	<2.88E-01	1.51E+00	6.98E-01	1.15E+00	<4.07E-01	2.24E+00	7.10E+05	4.73E+01	<5.24E-01	1.35E+01	<9.32E-02	0.29	0.31
C7	<2.33E-01	<1.79E-01	1.56E+00	<7.17E-01	<1.91E+00	<4.41E-01	5.07E+00	7.70E+05	7.81E+01	<5.24E-01	2.36E+01	<9.32E-02	0.61	0.65

### H6(I)エリア

A1	2.43E+00	<1.64E+00	<3.01E+00	<4.46E+00	<1.44E+01	8.42E-01	1.10E+00	1.52E+06	1.19E+02	<1.28E+00	3.89E+01	<9.32E-02	0.37	0.43
A5	4.26E+01	2.63E+00	<1.05E+00	<3.90E+00	<9.49E+00	2.12E+01	1.00E+00	1.19E+06	9.47E+01	<1.28E+00	9.82E+01	<9.32E-02	1.44	1.49
B1	7.04E-01	<1.33E-01	2.91E+00	<4.15E-01	<1.28E+00	1.06E+00	2.33E+00	1.34E+06	1.22E+02	5.66E+00	3.85E+01	<9.32E-02	0.33	0.40
B5	2.77E+01	<1.27E+00	<9.45E-01	<3.54E+00	<8.60E+00	8.90E+00	2.00E+00	1.06E+06	1.16E+02	3.17E+01	1.03E+02	<9.32E-02	0.94	1.03

※ 主要7核種（セシウム-137,セシウム-134,コバルト-60,アンチモン-125,ルテチウム-106,ストロンチウム-90,ヨウ素-129）

【参考】放射能濃度ほかの数値表記について  
 (例)  $4.16E+01 = 4.16 \times 10^1 = 41.6$   
 $4.16E-01 = 4.16 \times 10^{-1} = 0.416$

## 2. タンク群毎の放射能濃度実測値（再利用タンクを除く）

### H6(Ⅱ)エリア

グループ	核種毎の放射能濃度												告示濃度比 総和 (主要7核種 <sup>※1</sup> ) [-]	告示濃度比 総和 (主要7核種 <sup>※1</sup> +C-14 +Tc-99) [-]
	セシウム (Cs)-137 告示濃度限度 9.00E+01 [Bq/L]	セシウム (Cs)-134 告示濃度限度 6.00E+01 [Bq/L]	コバルト (Co)-60 告示濃度限度 2.00E+02 [Bq/L]	アンチモン (Sb)-125 告示濃度限度 8.00E+02 [Bq/L]	ルテチウム (Ru)-106 告示濃度限度 1.00E+02 [Bq/L]	ストロンチウム (Sr)-90 告示濃度限度 3.00E+01 [Bq/L]	ヨウ素 (I)-129 告示濃度限度 9.00E+00 [Bq/L]	トリチウム (H)-3 告示濃度限度 6.00E+04 [Bq/L]	カーボン (C)-14 告示濃度限度 2.00E+03 [Bq/L]	テクネチウム (Tc)-99 告示濃度限度 1.00E+03 [Bq/L]	全α-タ(β) [Bq/L]	全γ(α) [Bq/L]		
A1	<2.28E-01	<2.42E-01	1.27E+00	<4.60E-01	<1.32E+00	1.20E+00	3.72E+00	1.32E+06	1.07E+02	<5.24E-01	3.05E+01	<9.87E-02	0.48	0.53
A5	<2.44E-01	<1.71E-01	1.17E+00	<4.67E-01	<1.49E+00	9.30E+00	1.19E+00	8.95E+05	6.68E+01	<5.24E-01	4.03E+01	<8.05E-02	0.47	0.50
B1	<2.11E-01	<1.79E-01	6.49E-01	5.10E-01	<1.21E+00	<3.81E-01	2.31E+00	4.49E+05	1.07E+01	<5.24E-01	<5.43E+00	<9.87E-02	0.29	0.30
B5	<2.43E-01	<2.24E-01	1.64E+00	1.80E+00	1.83E+00	<4.00E-01	5.04E+00	9.33E+05	3.24E+01	<5.24E-01	1.65E+01	<8.05E-02	0.61	0.62
C1 <sup>※2</sup>	3.32E-01	<1.67E-01	1.08E+00	<5.25E-01	<1.37E+00	4.22E-01	2.60E-01	8.39E+05	3.39E+01	<4.64E-01	6.51E+00	<8.87E-02	0.07	0.09
C3	4.19E-01	<2.20E-01	1.06E+00	<6.89E-01	<1.90E+00	5.14E+00	<3.51E-01	1.07E+06	5.74E+01	<1.38E+00	2.29E+01	<9.03E-02	0.24	0.27

※1 主要7核種（セシウム-137,セシウム-134,コバルト-60,アンチモン-125,ルテチウム-106,ストロンチウム-90,ヨウ素-129）

※2 再分析の結果を反映

【参考】放射能濃度ほかの数値表記について  
 (例)  $4.16E+01 = 4.16 \times 10^1 = 41.6$   
 $4.16E-01 = 4.16 \times 10^{-1} = 0.416$

## 2. タンク群毎の放射能濃度実測値（再利用タンクを除く）

### J1エリア

グループ	核種毎の放射能濃度												告示濃度比 総和 (主要7核種 <sup>※1</sup> ) [-]	告示濃度比 総和 (主要7核種 <sup>※1</sup> + C-14 + Tc-99) [-]
	セシウム (Cs)-137 告示濃度限度 9.00E+01 [Bq/L]	セシウム (Cs)-134 告示濃度限度 6.00E+01 [Bq/L]	コバルト (Co)-60 告示濃度限度 2.00E+02 [Bq/L]	アンチモン (Sb)-125 告示濃度限度 8.00E+02 [Bq/L]	ルテチウム (Ru)-106 告示濃度限度 1.00E+02 [Bq/L]	ストロンチウム (Sr)-90 告示濃度限度 3.00E+01 [Bq/L]	ヨウ素 (I)-129 告示濃度限度 9.00E+00 [Bq/L]	トリチウム (H)-3 告示濃度限度 6.00E+04 [Bq/L]	カーボン (C)-14 告示濃度限度 2.00E+03 [Bq/L]	テクネチウム (Tc)-99 告示濃度限度 1.00E+03 [Bq/L]	全ベータ(β) [Bq/L]	全アルファ(α) [Bq/L]		
A1	8.13E+01	6.67E+00	4.83E+01	2.98E+01	1.02E+01	3.05E+04	6.66E+00	3.48E+05	—	—	6.72E+04	—	1017.80	—
C1	8.29E+02	6.80E+01	4.97E+01	1.65E+02	4.81E+01	1.13E+05	2.89E+01	1.13E+06	—	—	2.21E+05	—	3791.16	—
D1	<7.39E-01	<9.23E-01	6.44E-01	2.71E+01	1.58E+02	4.33E+05	3.47E+01	7.10E+05	—	—	9.54E+05	—	14442.15	—
E1	2.08E-01	<2.62E-01	6.30E-01	8.74E+01	<1.08E+00	3.17E+01	1.78E+01	4.25E+05	—	—	1.93E+02	—	3.17	—
F1	1.05E-01	<2.63E-01	5.03E-01	8.01E+01	<8.93E-01	3.43E+02	2.57E+01	4.75E+05	—	—	9.95E+02	—	14.41	—
G1	6.09E+01	5.25E+00	4.13E+01	4.89E+01	1.85E+00	4.55E+03	1.20E+00	2.57E+05	—	—	1.35E+04	—	152.98	—
H1	6.46E-01	<1.10E-01	9.06E-02	8.68E+00	<8.87E-01	4.11E-01	2.80E+01	7.47E+05	—	—	2.77E+01	—	3.15	—
K4	9.64E-01	<5.16E-01	5.09E-01	4.08E+01	4.13E+01	8.94E+04	1.95E+00	1.62E+06	—	—	1.71E+05	—	2981.37	—
L1	3.30E-01	<1.69E-01	7.63E-01	2.39E+01	<9.22E-01	2.53E+00	1.21E+01	3.94E+05	—	—	6.20E+01	—	1.48	—
M1	2.72E-01	<2.93E-01	8.49E-01	1.05E+02	<9.46E-01	1.76E+01	1.38E+01	3.92E+05	—	—	1.82E+02	—	2.27	—
N1	1.15E+00	1.07E-01	6.71E-01	2.20E-01	<8.05E-01	2.50E-01	1.96E+00	2.86E+05	—	—	7.65E+00	—	0.25	—
N1 <sup>※2</sup>	1.32E+00	<1.29E-01	4.29E-01	<4.48E-01	<1.30E+00	2.04E+00	2.16E+00	2.59E+05	1.45E+01	<1.23E+00	1.25E+01	<6.28E-02	0.34	0.35

※1 主要7核種（セシウム-137,セシウム-134,コバルト-60,アンチモン-125,ルテチウム-106,ストロンチウム-90,ヨウ素-129）

※2 全βの濃度に影響する核種の調査のためカーボン14,テクネチウム-99を追加測定した結果

【参考】放射能濃度ほかの数値表記について  
 (例) 4.16E+01 = 4.16×10<sup>1</sup> = 41.6  
 4.16E-01 = 4.16×10<sup>-1</sup> = 0.416

## 2. タンク群毎の放射能濃度実測値（再利用タンクを除く）

### J2エリア

グループ	核種毎の放射能濃度									告示濃度比 総和 (主要7核種 <sup>※1</sup> ) [-]
	セシウム(Cs)-137 告示濃度限度 9.00E+01 [Bq/L]	セシウム(Cs)-134 告示濃度限度 6.00E+01 [Bq/L]	コバルト(Co)-60 告示濃度限度 2.00E+02 [Bq/L]	アンチモン(Sb)-125 告示濃度限度 8.00E+02 [Bq/L]	ルテチウム(Ru)-106 告示濃度限度 1.00E+02 [Bq/L]	ストロンチウム(Sr)-90 告示濃度限度 3.00E+01 [Bq/L]	ヨウ素(I)-129 告示濃度限度 9.00E+00 [Bq/L]	トリチウム(H)-3 告示濃度限度 6.00E+04 [Bq/L]	全 $\alpha$ - $\beta$ [Bq/L]	
A1 <sup>※2</sup>	1.17E+01	1.15E+00	1.02E+00	1.45E+00	1.47E+00	2.93E-01	5.91E+00	3.14E+05	2.42E+01	0.84
C1 <sup>※2</sup>	1.36E+00	<1.41E-01	3.03E-01	1.09E+01	8.45E-01	3.48E+00	1.15E+01	1.03E+06	3.81E+01	1.43
E1 <sup>※2</sup>	1.10E+00	<1.97E-01	3.28E-01	4.74E+01	1.28E+00	9.01E+00	4.62E+01	9.07E+05	9.53E+01	5.52
G1 <sup>※2</sup>	5.72E-01	<1.51E-01	4.48E-01	2.25E+01	1.58E+00	3.70E+01	3.84E+01	1.03E+06	1.86E+02	5.56
K1 <sup>※2</sup>	2.16E+00	3.57E-01	2.04E-01	6.56E+00	1.34E+00	4.52E+01	1.48E+01	7.93E+05	1.59E+02	3.20
M1 <sup>※2</sup>	2.20E+01	1.84E+00	1.08E+00	1.27E+00	2.03E+00	3.33E-01	8.96E+00	4.68E+05	4.07E+01	1.31

### J3エリア

A1 <sup>※2</sup>	2.43E-01	<1.46E-01	1.86E-01	3.61E+00	<7.87E-01	4.19E+00	6.27E+00	6.26E+05	2.46E+01	0.86
B1 <sup>※2</sup>	1.49E+00	<1.58E-01	8.61E-01	3.65E+00	9.15E-01	5.98E-01	1.62E+01	4.30E+05	1.56E+01	1.85
C1 <sup>※2</sup>	2.01E+00	<2.57E-01	4.75E-01	3.33E+01	1.46E+00	1.77E+00	4.49E+01	1.08E+06	6.96E+01	5.14
E1 <sup>※2</sup>	1.04E+00	2.56E-01	4.46E-01	3.86E-01	<9.55E-01	3.16E-01	7.53E+00	3.05E+05	1.00E+01	0.88

※1 主要7核種（セシウム-137,セシウム-134,コバルト-60,アンチモン-125,ルテチウム-106,ストロンチウム-90,ヨウ素-129）

※2 放射能濃度測定後に追加でALPS処理水を受入れ。掲載のデータは、追加受入れ前の測定値。

【参考】放射能濃度ほかの数値表記について

(例)  $4.16E+01 = 4.16 \times 10^1 = 41.6$   
 $4.16E-01 = 4.16 \times 10^{-1} = 0.416$



## 2. タンク群毎の放射能濃度実測値（再利用タンクを除く）

### J4エリア

グループ	核種毎の放射能濃度												告示濃度比 総和 (主要7核種 <sup>※1</sup> ) [-]	告示濃度比 総和 (主要7核種 <sup>※1</sup> +C-14 +Tc-99) [-]
	セシウム (Cs)-137 告示濃度限度 9.00E+01 [Bq/L]	セシウム (Cs)-134 告示濃度限度 6.00E+01 [Bq/L]	コバルト (Co)-60 告示濃度限度 2.00E+02 [Bq/L]	アンチモン (Sb)-125 告示濃度限度 8.00E+02 [Bq/L]	ルテチウム (Ru)-106 告示濃度限度 1.00E+02 [Bq/L]	ストロンチウム (Sr)-90 告示濃度限度 3.00E+01 [Bq/L]	ヨウ素 (I)-129 告示濃度限度 9.00E+00 [Bq/L]	トリチウム (H)-3 告示濃度限度 6.00E+04 [Bq/L]	カーボン (C)-14 告示濃度限度 2.00E+03 [Bq/L]	テクネチウム (Tc)-99 告示濃度限度 1.00E+03 [Bq/L]	全ベータ(β) [Bq/L]	全アルファ(α) [Bq/L]		
A1	6.02E+00	6.44E-01	3.89E-01	1.08E+01	<9.08E-01	2.19E+01	7.72E+00	6.84E+05	—	—	9.51E+01	—	1.69	—
B1	2.23E+00	2.40E-01	4.13E-01	3.85E+00	2.02E+00	1.43E+00	7.44E+00	1.62E+06	—	—	1.85E+01	—	0.93	—
C1	1.23E+00	1.85E-01	1.38E-01	2.73E+00	<7.88E-01	4.15E+00	2.50E+00	6.24E+05	—	—	2.00E+01	—	0.44	—
C1 <sup>※2</sup>	1.20E+00	<2.00E-01	<1.54E-01	1.15E+00	<1.21E+00	1.24E+01	2.23E+00	6.04E+05	5.81E+00	<1.02E+00	2.47E+01	<6.00E-02	0.69	0.69
D1	2.92E+00	3.16E-01	4.47E-01	9.34E+00	2.42E+00	1.41E+03	3.36E+01	1.24E+06	—	—	3.65E+03	—	50.68	—
E1	2.37E+00	<1.68E-01	1.06E+01	1.21E+01	<1.04E+00	5.97E+02	8.48E+00	1.15E+06	—	—	1.39E+03	—	20.94	—
F1	2.58E+00	1.84E-01	5.68E+00	1.52E+01	1.35E+00	1.40E+03	8.68E+00	4.36E+05	—	—	2.31E+03	—	47.79	—
G1	3.50E-01	<1.62E-01	1.62E+00	2.03E+00	1.35E+00	6.70E+01	8.49E+00	4.02E+05	—	—	1.93E+02	—	3.21	—
H1	3.24E+00	2.45E-01	3.97E+00	1.70E+01	<9.31E-01	1.81E+03	5.87E+00	3.81E+05	—	—	2.60E+03	—	60.98	—
K1	3.38E+00	<1.66E-01	7.08E+00	2.03E+01	1.43E+00	1.82E+03	5.72E+00	4.07E+05	—	—	2.99E+03	—	61.38	—
L1	7.19E-01	<1.82E-01	6.95E-01	5.31E-01	<1.19E+00	5.10E-01	1.15E+00	2.59E+05	—	—	5.78E+00	—	0.17	—
L1 <sup>※2</sup>	6.85E-01	<1.60E-01	4.37E-01	<6.03E-01	<1.25E+00	1.09E+01	7.03E-01	2.40E+05	2.09E+01	<1.02E+00	2.19E+01	<6.00E-02	0.47	0.48
L3	5.83E-01	<1.79E-01	6.14E-01	<4.38E-01	<1.12E+00	6.26E-01	5.42E-01	2.60E+05	—	—	7.91E+00	—	0.11	—
L5	6.76E-01	<3.35E-01	5.89E-01	<4.41E-01	<1.16E+00	8.02E-01	5.32E-01	2.58E+05	—	—	8.69E+00	—	0.11	—

※1 主要7核種（セシウム-137,セシウム-134,コバルト-60,アンチモン-125,ルテチウム-106,ストロンチウム-90,ヨウ素-129）

※2 全βの濃度に影響する核種の調査のためカーボン14,テクネチウム-99を追加測定した結果

【参考】放射能濃度ほかの数値表記について

(例) 4.16E+01 = 4.16×10<sup>1</sup> = 41.6  
4.16E-01 = 4.16×10<sup>-1</sup> = 0.416

## 2. タンク群毎の放射能濃度実測値（再利用タンクを除く）

### J5エリア

グループ	核種毎の放射能濃度									告示濃度比 総和 (主要7核種 <sup>※1</sup> ) [-]
	セシウム(Cs)-137 告示濃度限度 9.00E+01 [Bq/L]	セシウム(Cs)-134 告示濃度限度 6.00E+01 [Bq/L]	コバルト(Co)-60 告示濃度限度 2.00E+02 [Bq/L]	アンチモン(Sb)-125 告示濃度限度 8.00E+02 [Bq/L]	ルテチウム(Ru)-106 告示濃度限度 1.00E+02 [Bq/L]	ストロンチウム(Sr)-90 告示濃度限度 3.00E+01 [Bq/L]	ヨウ素(I)-129 告示濃度限度 9.00E+00 [Bq/L]	トリチウム(H)-3 告示濃度限度 6.00E+04 [Bq/L]	全ヘリウム(β) [Bq/L]	
A1	3.96E-01	<1.15E-01	1.70E-01	8.98E+00	8.54E-01	9.63E+01	3.02E+01	9.05E+05	2.91E+02	6.59
B1	3.63E-01	<1.39E-01	2.15E-01	1.43E+01	<9.59E-01	7.15E+01	3.41E+01	8.67E+05	2.45E+02	6.20
C1	4.80E-01	<1.42E-01	4.05E-01	1.53E+01	9.56E-01	4.17E+01	5.62E+01	8.24E+05	1.72E+02	7.68
D1	5.31E-01	<1.39E-01	5.30E-01	1.87E+01	<7.69E-01	2.86E+01	5.25E+01	8.23E+05	1.24E+02	6.83
E1	1.10E+00	<1.89E-01	6.45E-01	3.50E+01	9.57E-01	1.52E+00	1.68E+01	2.75E+05	5.97E+01	1.99

### J6エリア

A1 <sup>※2</sup>	6.96E-01	<1.19E-01	2.13E-01	8.96E+00	<7.52E-01	1.12E+02	1.62E+01	9.13E+05	3.46E+02	5.57
B1 <sup>※2</sup>	4.24E+00	3.48E-01	5.35E-01	3.45E+00	1.29E+00	7.08E-01	5.92E+00	1.21E+06	1.88E+01	0.75
C1 <sup>※2</sup>	1.04E+00	2.26E-01	4.61E-01	8.17E-01	<8.85E-01	2.41E+00	6.74E+00	3.63E+05	2.20E+01	0.86
D1 <sup>※2</sup>	3.13E+00	2.33E-01	6.63E-01	5.75E+00	2.00E+00	1.12E+00	8.05E+00	1.40E+06	3.48E+01	1.00
E1 <sup>※2</sup>	2.39E+00	<2.50E-01	6.34E-01	2.38E+01	1.82E+00	1.50E+00	1.48E+01	1.41E+06	4.46E+01	1.78

※1 主要7核種（セシウム-137,セシウム-134,コバルト-60,アンチモン-125,ルテチウム-106,ストロンチウム-90,ヨウ素-129）

※2 放射能濃度測定後に追加でALPS処理水を受入れ。掲載のデータは、追加受入れ前の測定値。

【参考】放射能濃度ほかの数値表記について

(例)  $4.16E+01 = 4.16 \times 10^1 = 41.6$   
 $4.16E-01 = 4.16 \times 10^{-1} = 0.416$

## 2. タンク群毎の放射能濃度実測値（再利用タンクを除く）

### J7エリア

グループ	核種毎の放射能濃度												告示濃度比 総和 (主要7核種 <sup>※1</sup> ) [-]	告示濃度比 総和 (主要7核種 <sup>※1</sup> + C-14 + Tc-99) [-]
	セシウム (Cs)-137 告示濃度限度 9.00E+01 [Bq/L]	セシウム (Cs)-134 告示濃度限度 6.00E+01 [Bq/L]	コバルト (Co)-60 告示濃度限度 2.00E+02 [Bq/L]	アンチモン (Sb)-125 告示濃度限度 8.00E+02 [Bq/L]	ルテチウム (Ru)-106 告示濃度限度 1.00E+02 [Bq/L]	ストロンチウム (Sr)-90 告示濃度限度 3.00E+01 [Bq/L]	ヨウ素 (I)-129 告示濃度限 度 9.00E+00 [Bq/L]	トリチウム (H)-3 告示濃度限度 6.00E+04 [Bq/L]	カーボン (C)-14 告示濃度限度 2.00E+03 [Bq/L]	テクネチウム (Tc)-99 告示濃度限度 1.00E+03 [Bq/L]	全 $\alpha$ - $\beta$ [Bq/L]	全 $\beta$ [Bq/L]		
A1 平均 <sup>※2</sup>	5.72E-01	1.13E-01	9.33E-01	7.57E-01	8.26E-01	5.44E-01	3.60E+00	4.42E+05	—	—	1.16E+01	—	0.44	—
A1上 <sup>※3</sup>	6.31E-01	<9.84E-02	9.67E-01	7.23E-01	<7.97E-01	4.56E-01	3.63E+00	4.58E+05	—	—	1.11E+01	—	0.44	—
A1中 <sup>※3</sup>	5.87E-01	<1.39E-01	1.01E+00	8.45E-01	9.25E-01	5.83E-01	3.81E+00	4.62E+05	—	—	1.25E+01	—	0.47	—
A1下 <sup>※3</sup>	4.96E-01	1.01E-01	8.23E-01	7.04E-01	<7.58E-01	5.94E-01	3.36E+00	4.07E+05	—	—	1.13E+01	—	0.41	—
A1 <sup>※4</sup>	8.06E-01	<1.33E-01	3.32E-01	<4.09E-01	<1.18E+00	4.85E+00	3.21E+00	3.61E+05	1.39E+01	<1.02E+00	1.37E+01	<5.36E-02	0.54	0.55
A6 平均 <sup>※2</sup>	1.49E+00	2.21E-01	8.86E-01	8.69E-01	8.22E-01	2.16E+00	6.02E+00	3.21E+05	—	—	1.88E+01	—	0.78	—
A6上 <sup>※3</sup>	1.36E+00	2.50E-01	1.10E+00	9.47E-01	<7.66E-01	1.53E+00	6.09E+00	3.17E+05	—	—	1.79E+01	—	0.76	—
A6中 <sup>※3</sup>	1.47E+00	2.39E-01	1.12E+00	1.07E+00	8.40E-01	1.72E+00	5.90E+00	3.17E+05	—	—	1.89E+01	—	0.75	—
A6下 <sup>※3</sup>	1.65E+00	1.74E-01	4.40E-01	5.93E-01	8.61E-01	3.23E+00	6.08E+00	3.30E+05	—	—	1.96E+01	—	0.82	—

※1 主要7核種（セシウム-137,セシウム-134,コバルト-60,アンチモン-125,ルテチウム-106,ストロンチウム-90,ヨウ素-129）

※2 上段・中段・下段の平均値

※3 放射能濃度測定後に追加でALPS処理水を受入れ。掲載のデータは、追加受入れ前の測定値。

※4 全 $\beta$ の濃度に影響する核種の調査のためカーボン14,テクネチウム-99を追加測定した結果

【参考】放射能濃度ほかの数値表記について  
 (例)  $4.16E+01 = 4.16 \times 10^1 = 41.6$   
 $4.16E-01 = 4.16 \times 10^{-1} = 0.416$

## 2. タンク群毎の放射能濃度実測値（再利用タンクを除く）

### J7エリア

グループ	核種毎の放射能濃度												告示濃度比 総和 (主要7核種 <sup>※1</sup> ) [-]	告示濃度比 総和 (主要7核種 <sup>※1</sup> +C-14 +Tc-99) [-]
	セシウム (Cs)-137 告示濃度限度 9.00E+01 [Bq/L]	セシウム (Cs)-134 告示濃度限度 6.00E+01 [Bq/L]	コバルト (Co)-60 告示濃度限度 2.00E+02 [Bq/L]	アンチモン (Sb)-125 告示濃度限度 8.00E+02 [Bq/L]	ルテチウム (Ru)-106 告示濃度限度 1.00E+02 [Bq/L]	ストロンチウム (Sr)-90 告示濃度限度 3.00E+01 [Bq/L]	ヨウ素 (I)-129 告示濃度限度 9.00E+00 [Bq/L]	トリチウム (H)-3 告示濃度限度 6.00E+04 [Bq/L]	カーボン (C)-14 告示濃度限度 2.00E+03 [Bq/L]	テクネチウム (Tc)-99 告示濃度限度 1.00E+03 [Bq/L]	全ヘータ(β) [Bq/L]	全アルファ(α) [Bq/L]		
A7 平均 <sup>※2</sup>	2.05E-01	1.45E-01	2.85E+00	8.80E-01	1.69E+00	3.82E-01	5.96E+00	3.02E+05	—	—	1.38E+01	—	0.71	—
A7上 <sup>※3</sup>	2.00E-01	<1.57E-01	3.79E+00	1.20E+00	2.25E+00	4.00E-01	7.11E+00	2.72E+05	—	—	1.39E+01	—	0.85	—
A7中 <sup>※3</sup>	1.51E-01	<1.10E-01	3.38E+00	8.07E-01	1.87E+00	<3.24E-01	6.71E+00	2.83E+05	—	—	1.53E+01	—	0.80	—
A7下 <sup>※3</sup>	2.65E-01	<1.69E-01	1.39E+00	6.33E-01	9.66E-01	4.23E-01	4.07E+00	3.51E+05	—	—	1.20E+01	—	0.49	—
B1 平均 <sup>※2</sup>	2.17E-01	1.17E-01	2.96E+00	1.03E+00	1.49E+00	5.69E-01	7.98E+00	3.05E+05	—	—	1.41E+01	—	0.94	—
B1上 <sup>※3</sup>	1.03E-01	<1.10E-01	3.95E+00	1.21E+00	1.87E+00	6.81E-01	1.09E+01	2.95E+05	—	—	1.62E+01	—	1.27	—
B1中 <sup>※3</sup>	1.52E-01	<1.34E-01	3.72E+00	1.09E+00	1.85E+00	7.02E-01	9.89E+00	2.95E+05	—	—	1.33E+01	—	1.16	—
B1下 <sup>※3</sup>	3.95E-01	<1.05E-01	1.21E+00	8.03E-01	<7.32E-01	<3.23E-01	3.16E+00	3.26E+05	—	—	1.29E+01	—	0.38	—
B6上	3.38E-01	<1.07E-01	3.10E+00	7.72E-01	1.80E+00	3.53E-01	6.98E+00	2.91E+05	—	—	1.28E+01	—	0.83	—
B6中	3.81E-01	<1.16E-01	3.07E+00	9.32E-01	1.59E+00	3.48E-01	6.83E+00	2.93E+05	—	—	1.35E+01	—	0.81	—
B6下	3.44E-01	1.67E-01	1.68E+00	6.25E-01	1.20E+00	3.78E-01	4.83E+00	3.20E+05	—	—	1.45E+01	—	0.58	—

※1 主要7核種（セシウム-137,セシウム-134,コバルト-60,アンチモン-125,ルテチウム-106,ストロンチウム-90,ヨウ素-129）

※2 上段・中段・下段の平均値

※3 放射能濃度測定後に追加でALPS処理水を受入れ。掲載のデータは、追加受入れ前の測定値。

【参考】放射能濃度ほかの数値表記について  
 (例)  $4.16E+01 = 4.16 \times 10^1 = 41.6$   
 $4.16E-01 = 4.16 \times 10^{-1} = 0.416$

## 2. タンク群毎の放射能濃度実測値（再利用タンクを除く）

### J7エリア

グループ	核種毎の放射能濃度												告示濃度比 総和 (主要7核種 <sup>※1</sup> ) [-]	告示濃度比 総和 (主要7核種 <sup>※1</sup> +C-14 +Tc-99) [-]
	セシウム (Cs)-137 告示濃度限度 9.00E+01 [Bq/L]	セシウム (Cs)-134 告示濃度限度 6.00E+01 [Bq/L]	コバルト (Co)-60 告示濃度限度 2.00E+02 [Bq/L]	アンチモン (Sb)-125 告示濃度限度 8.00E+02 [Bq/L]	ルテチウム (Ru)-106 告示濃度限度 1.00E+02 [Bq/L]	ストロンチウム (Sr)-90 告示濃度限度 3.00E+01 [Bq/L]	ヨウ素 (I)-129 告示濃度限度 9.00E+00 [Bq/L]	トリウム (H)-3 告示濃度限度 6.00E+04 [Bq/L]	カーボン (C)-14 告示濃度限度 2.00E+03 [Bq/L]	テクネチウム (Tc)-99 告示濃度限度 1.00E+03 [Bq/L]	全ヘータ(β) [Bq/L]	全アルファ(α) [Bq/L]		
D1上	4.49E-01	<1.48E-01	8.25E-01	4.67E-01	<8.22E-01	<7.32E-02	3.03E+00	2.86E+05	—	—	1.62E+01	—	0.36	—
D1中	4.61E-01	<9.69E-02	8.44E-01	3.20E-01	<7.68E-01	<7.18E-02	2.91E+00	2.88E+05	—	—	1.59E+01	—	0.35	—
D1下	3.91E-01	<1.07E-01	1.05E+00	4.59E-01	<7.30E-01	7.85E-02	3.58E+00	2.89E+05	—	—	1.50E+01	—	0.42	—
D1 <sup>※2</sup>	<2.47E-01	<2.45E-01	9.49E-01	<4.54E-01	<1.40E+00	7.46E-01	2.79E+00	2.72E+05	1.72E+01	4.36E+00	1.05E+01	—	0.36	0.37
D5上	2.54E-01	<1.41E-01	2.33E+00	9.23E-01	1.27E+00	3.55E-01	4.24E+00	3.28E+05	—	—	1.57E+01	—	0.51	—
D5中	2.35E-01	1.77E-01	2.37E+00	8.40E-01	<7.94E-01	3.23E-01	4.13E+00	3.24E+05	—	—	1.75E+01	—	0.50	—
D5下	3.86E-01	<1.26E-01	2.30E+00	9.56E-01	9.74E-01	3.69E-01	3.95E+00	3.18E+05	—	—	1.57E+01	—	0.48	—
E1上	5.97E-01	1.40E-01	6.59E-01	6.05E-01	<7.37E-01	5.54E-01	2.73E+00	2.69E+05	—	—	1.19E+01	—	0.34	—
E1中	6.61E-01	<9.84E-02	6.18E-01	3.79E-01	<8.12E-01	5.09E-01	2.70E+00	2.66E+05	—	—	1.33E+01	—	0.34	—
E1下	5.81E-01	<9.30E-02	5.90E-01	5.12E-01	<8.73E-01	5.05E-01	2.55E+00	2.73E+05	—	—	1.17E+01	—	0.32	—
E6上	1.90E+00	3.21E-01	4.73E-01	3.45E+00	<8.37E-01	5.28E+00	6.11E+00	3.76E+05	—	—	3.34E+01	—	0.90	—
E6中	1.95E+00	2.78E-01	5.21E-01	3.38E+00	<8.05E-01	5.63E+00	6.43E+00	3.76E+05	—	—	3.34E+01	—	0.94	—
E6下	1.91E+00	<1.31E-01	5.47E-01	3.44E+00	<9.53E-01	5.33E+00	6.18E+00	3.75E+05	—	—	3.20E+01	—	0.90	—

※1 主要7核種（セシウム-137,セシウム-134,コバルト-60,アンチモン-125,ルテチウム-106,ストロンチウム-90,ヨウ素-129）

※2 全βの濃度に影響する核種の調査のためカーボン14,テクネチウム-99を追加測定した結果

【参考】放射能濃度ほかの数値表記について

(例)  $4.16E+01 = 4.16 \times 10^1 = 41.6$   
 $4.16E-01 = 4.16 \times 10^{-1} = 0.416$

## 2. タンク群毎の放射能濃度実測値（再利用タンクを除く）

### J8エリア

グループ	核種毎の放射能濃度									告示濃度比 総和 (主要7核種 <sup>※1</sup> ) [-]
	セシウム(Cs)-137 告示濃度限度 9.00E+01 [Bq/L]	セシウム(Cs)-134 告示濃度限度 6.00E+01 [Bq/L]	コバルト(Co)-60 告示濃度限度 2.00E+02 [Bq/L]	アンチモン(Sb)-125 告示濃度限度 8.00E+02 [Bq/L]	ルテチウム(Ru)-106 告示濃度限度 1.00E+02 [Bq/L]	ストロンチウム(Sr)-90 告示濃度限度 3.00E+01 [Bq/L]	ヨウ素(I)-129 告示濃度限度 9.00E+00 [Bq/L]	トリチウム(H)-3 告示濃度限度 6.00E+04 [Bq/L]	全α-β [Bq/L]	
A1	1.38E+00	<1.74E-01	4.57E-01	<5.78E-01	<1.31E+00	1.82E+00	4.59E+00	2.64E+05	1.34E+01	0.60
A4	7.44E-01	<1.91E-01	5.52E-01	<4.95E-01	<1.26E+00	8.27E+00	6.47E+00	2.59E+05	2.25E+01	1.02
A5	8.09E-01	<2.22E-01	5.49E-01	6.95E-01	1.74E+00	5.43E+00	6.31E+00	2.72E+05	2.35E+01	0.92
B1	1.22E+00	<2.18E-01	7.18E-01	<6.26E-01	<1.38E+00	3.45E+00	5.41E+00	2.71E+05	1.92E+01	0.75
B3	6.91E-01	<1.77E-01	5.18E-01	4.61E-01	1.34E+00	6.89E+00	6.30E+00	2.67E+05	2.80E+01	0.96

※1 主要7核種（セシウム-137,セシウム-134,コバルト-60,アンチモン-125,ルテチウム-106,ストロンチウム-90,ヨウ素-129）

【参考】放射能濃度ほかの数値表記について  
 (例)  $4.16E+01 = 4.16 \times 10^1 = 41.6$   
 $4.16E-01 = 4.16 \times 10^{-1} = 0.416$

## 2. タンク群毎の放射能濃度実測値（再利用タンクを除く）

### J9エリア

グループ	核種毎の放射能濃度												告示濃度比 総和 (主要7核種 <sup>※1</sup> ) [-]	告示濃度比 総和 (主要7核種 <sup>※1</sup> +C-14 +Tc-99) [-]
	セシウム (Cs)-137 告示濃度限度 9.00E+01 [Bq/L]	セシウム (Cs)-134 告示濃度限度 6.00E+01 [Bq/L]	コバルト (Co)-60 告示濃度限度 2.00E+02 [Bq/L]	アンチモン (Sb)-125 告示濃度限度 8.00E+02 [Bq/L]	ルテチウム (Ru)-106 告示濃度限度 1.00E+02 [Bq/L]	ストロンチウム (Sr)-90 告示濃度限度 3.00E+01 [Bq/L]	ヨウ素 (I)-129 告示濃度限度 9.00E+00 [Bq/L]	トリチウム (H)-3 告示濃度限度 6.00E+04 [Bq/L]	カーボン (C)-14 告示濃度限度 2.00E+03 [Bq/L]	テクネチウム (Tc)-99 告示濃度限度 1.00E+03 [Bq/L]	全 $\alpha$ ( $\alpha$ ) [Bq/L]	全 $\beta$ ( $\beta$ ) [Bq/L]		
A1	2.71E-01	<2.73E-01	5.74E-01	<4.19E-01	2.16E+00	1.07E-01	1.25E+00	1.86E+05	—	—	6.79E+00	—	0.17	—
A1 <sup>※2</sup>	2.89E-01	<2.01E-01	4.84E-01	<4.48E-01	<1.21E+00	2.21E+00	7.08E-01	1.72E+05	1.67E+01	<1.23E+00	1.04E+01	<6.54E-02	0.17	0.18
A3	2.76E-01	<1.62E-01	6.39E-01	<5.92E-01	<1.31E+00	9.36E-02	1.63E+00	2.63E+05	—	—	6.67E+00	—	0.21	—
A6	3.34E-01	<1.34E-01	5.04E-01	<4.21E-01	<1.21E+00	1.10E-01	1.95E+00	3.04E+05	—	—	6.22E+00	—	0.24	—
B1	2.65E-01	<1.99E-01	6.67E-01	7.04E-01	3.13E+00	2.28E-01	3.63E-01	1.71E+05	—	—	1.09E+01	—	0.09	—
B4	2.42E-01	<1.69E-01	4.88E-01	<6.05E-01	<1.31E+00	1.31E-01	1.56E+00	2.58E+05	—	—	5.75E+00	—	0.20	—
B6	3.06E-01	<3.06E-01	5.05E-01	6.11E-01	<1.18E+00	<8.48E-02	1.93E+00	2.69E+05	—	—	6.22E+00	—	0.24	—

※1 主要7核種（セシウム-137,セシウム-134,コバルト-60,アンチモン-125,ルテチウム-106,ストロンチウム-90,ヨウ素-129）

※2 全 $\beta$ の濃度に影響する核種の調査のためカーボン14,テクネチウム-99を追加測定した結果

【参考】放射能濃度ほかの数値表記について  
 (例)  $4.16E+01 = 4.16 \times 10^1 = 41.6$   
 $4.16E-01 = 4.16 \times 10^{-1} = 0.416$

## 2. タンク群毎の放射能濃度実測値（再利用タンクを除く）

### K1エリア

グループ	核種毎の放射能濃度												告示濃度比 総和 (主要7核種 <sup>※1</sup> ) [-]	告示濃度比 総和 (主要7核種 <sup>※1</sup> + C-14 + Tc-99) [-]
	セシウム (Cs)-137 告示濃度限度 9.00E+01 [Bq/L]	セシウム (Cs)-134 告示濃度限度 6.00E+01 [Bq/L]	コバルト (Co)-60 告示濃度限度 2.00E+02 [Bq/L]	アンチモン (Sb)-125 告示濃度限度 8.00E+02 [Bq/L]	ルテチウム (Ru)-106 告示濃度限度 1.00E+02 [Bq/L]	ストロンチウム (Sr)-90 告示濃度限度 3.00E+01 [Bq/L]	ヨウ素 (I)-129 告示濃度限度 9.00E+00 [Bq/L]	トリチウム (H)-3 告示濃度限度 6.00E+04 [Bq/L]	カーボン (C)-14 告示濃度限度 2.00E+03 [Bq/L]	テクネチウム (Tc)-99 告示濃度限度 1.00E+03 [Bq/L]	全 $\alpha$ -90( $\beta$ ) [Bq/L]	全 $\beta$ -90( $\alpha$ ) [Bq/L]		
B1	2.56E-01	<2.42E-01	8.32E-01	3.42E+00	<1.31E+00	2.97E+02	4.95E+00	4.34E+05	2.53E+00	<1.23E+00	6.78E+02	<6.28E-02	10.46	10.47

### K3エリア

A1	6.35E-01	1.52E-01	4.06E-01	3.08E-01	<6.99E-01	<2.39E-01	3.79E+00	2.46E+05	—	—	5.00E+00	—	0.45	—
A3	6.03E-01	<9.38E-02	6.39E-01	2.27E-01	<8.18E-01	<2.13E-01	4.01E+00	2.72E+05	—	—	1.62E+01	—	0.47	—
A3 <sup>※2</sup>	1.31E+00	<3.87E-01	5.10E-01	<1.09E+00	<2.78E+00	<4.65E-01	3.82E+00	2.37E+05	1.74E+01	9.12E+00	1.88E+01	—	0.49	0.51
A6	2.59E-01	<1.40E-01	1.21E+00	3.05E-01	<7.84E-01	4.85E-01	2.22E+00	3.29E+05	—	—	1.42E+01	—	0.28	—
B1	5.29E-01	1.38E-01	6.32E-01	3.11E-01	<7.85E-01	<2.69E-01	3.52E+00	2.80E+05	—	—	1.26E+01	—	0.42	—
B4	2.61E-01	<1.05E-01	1.26E+00	<3.02E-01	<9.52E-01	<2.84E-01	2.09E+00	3.29E+05	—	—	1.31E+01	—	0.26	—
B6	3.03E-01	<9.52E-02	1.01E+00	2.61E-01	<8.39E-01	<2.40E-01	1.53E+00	3.07E+05	—	—	1.12E+01	—	0.20	—

※1 主要7核種（セシウム-137,セシウム-134,コバルト-60,アンチモン-125,ルテチウム-106,ストロンチウム-90,ヨウ素-129）

※2 全 $\beta$ の濃度に影響する核種の調査のためカーボン14,テクネチウム-99を追加測定した結果

【参考】放射能濃度ほかの数値表記について

(例)  $4.16E+01 = 4.16 \times 10^1 = 41.6$   
 $4.16E-01 = 4.16 \times 10^{-1} = 0.416$



## 2. タンク群毎の放射能濃度実測値（再利用タンクを除く）

### K4エリア

グループ	核種毎の放射能濃度												告示濃度比 総和 (主要7核種 <sup>※1</sup> ) [-]	告示濃度比 総和 (主要7核種 <sup>※1</sup> + C-14 + Tc-99) [-]
	セシウム (Cs)-137 告示濃度限度 9.00E+01 [Bq/L]	セシウム (Cs)-134 告示濃度限度 6.00E+01 [Bq/L]	コバルト (Co)-60 告示濃度限度 2.00E+02 [Bq/L]	アンチモン (Sb)-125 告示濃度限度 8.00E+02 [Bq/L]	ルテチウム (Ru)-106 告示濃度限度 1.00E+02 [Bq/L]	ストロンチウム (Sr)-90 告示濃度限度 3.00E+01 [Bq/L]	ヨウ素 (I)-129 告示濃度限度 9.00E+00 [Bq/L]	トリウム (H)-3 告示濃度限度 6.00E+04 [Bq/L]	カーボン (C)-14 告示濃度限度 2.00E+03 [Bq/L]	テクネチウム (Tc)-99 告示濃度限度 1.00E+03 [Bq/L]	全 $\alpha$ - $\beta$ [Bq/L]	全 $\gamma$ [Bq/L]		
A1 平均 <sup>※2</sup>	1.16E-01	9.25E-02	4.76E-01	3.28E-01	8.11E-01	6.87E-02	4.50E-01	1.54E+05	—	—	7.44E+00	—	0.07	—
A1上段	7.37E-02	<9.32E-02	4.68E-01	3.49E-01	<7.95E-01	<6.41E-02	4.42E-01	1.54E+05	—	—	7.82E+00	—	0.06	—
A1中段	8.37E-02	<8.53E-02	5.31E-01	2.24E-01	<8.11E-01	<7.38E-02	4.56E-01	1.54E+05	—	—	6.69E+00	—	0.07	—
A1下段	1.92E-01	<9.90E-02	4.30E-01	4.12E-01	<8.28E-01	<6.83E-02	4.52E-01	1.55E+05	—	—	7.82E+00	—	0.07	—
A1 <sup>※3</sup>	1.61E-01	<1.32E-01	2.85E-01	<3.70E-01	<1.16E+00	6.30E+00	4.89E-01	1.31E+05	1.44E+01	<1.02E+00	7.44E+00	<5.36E-02	0.28	0.29
A2	<1.41E-01	<2.81E-01	4.11E-01	<4.23E-01	<1.31E+00	<4.09E-01	1.20E+00	1.35E+05	1.14E+01	<2.50E-01	7.85E+00	<5.36E-02	0.17	0.18
A3	2.52E-01	<1.52E-01	5.05E-01	<4.69E-01	<1.16E+00	<4.42E-01	1.40E+00	1.45E+05	1.19E+01	<2.50E-01	6.51E+00	<5.36E-02	0.19	0.20
A4	5.80E-01	<1.29E-01	4.39E-01	<4.92E-01	<1.37E+00	<4.19E-01	2.56E+00	1.47E+05	8.97E+00	<2.50E-01	6.36E+00	<6.89E-02	0.32	0.33
A5	5.42E-01	<1.54E-01	3.22E-01	<4.11E-01	<1.29E+00	<4.07E-01	2.17E+00	1.48E+05	9.20E+00	<2.50E-01	<6.36E+00	<6.89E-02	0.28	0.28
A6 平均 <sup>※2</sup>	6.60E-01	1.18E-01	6.54E-01	3.71E-01	8.31E-01	7.75E-02	2.59E+00	1.90E+05	—	—	8.57E+00	—	0.31	—
A6上段	6.35E-01	1.03E-01	6.70E-01	3.02E-01	<8.55E-01	<7.45E-02	2.60E+00	1.90E+05	—	—	8.00E+00	—	0.31	—
A6中段	6.52E-01	1.11E-01	6.33E-01	4.39E-01	<8.47E-01	<7.92E-02	2.64E+00	1.92E+05	—	—	9.13E+00	—	0.32	—
A6下段	6.94E-01	1.40E-01	6.60E-01	3.73E-01	<7.91E-01	<7.88E-02	2.54E+00	1.89E+05	—	—	8.57E+00	—	0.31	—
A6 <sup>※3</sup>	7.98E-01	<1.32E-01	3.87E-01	<4.13E-01	<1.06E+00	<4.54E-01	2.32E+00	1.53E+05	1.56E+01	<2.50E-01	8.97E+00	<6.79E-02	0.30	0.30

※1 主要7核種（セシウム-137,セシウム-134,コバルト-60,アンチモン-125,ルテチウム-106,ストロンチウム-90,ヨウ素-129）

※2 上段・中段・下段の平均値

※3 全 $\beta$ の濃度に影響する核種の調査のためカーボン14,テクネチウム-99を追加測定した結果

【参考】放射能濃度ほかの数値表記について

(例)  $4.16E+01 = 4.16 \times 10^1 = 41.6$

$4.16E-01 = 4.16 \times 10^{-1} = 0.416$

## 2. タンク群毎の放射能濃度実測値（再利用タンクを除く）

### K4エリア

グループ	核種毎の放射能濃度												告示濃度比 総和 (主要7核種 <sup>※1</sup> ) [-]	告示濃度比 総和 (主要7核種 <sup>※1</sup> + C-14 + Tc-99) [-]
	セシウム (Cs)-137 告示濃度限度 9.00E+01 [Bq/L]	セシウム (Cs)-134 告示濃度限度 6.00E+01 [Bq/L]	コバルト (Co)-60 告示濃度限度 2.00E+02 [Bq/L]	アンチモン (Sb)-125 告示濃度限度 8.00E+02 [Bq/L]	ルテチウム (Ru)-106 告示濃度限度 1.00E+02 [Bq/L]	ストロンチウム (Sr)-90 告示濃度限度 3.00E+01 [Bq/L]	ヨウ素 (I)-129 告示濃度限度 9.00E+00 [Bq/L]	トリチウム (H)-3 告示濃度限度 6.00E+04 [Bq/L]	カーボン (C)-14 告示濃度限度 2.00E+03 [Bq/L]	テクネチウム (Tc)-99 告示濃度限度 1.00E+03 [Bq/L]	全 $\alpha$ - $\beta$ [Bq/L]	全 $\gamma$ [Bq/L]		
A7	8.87E-01	<1.47E-01	4.32E-01	<4.67E-01	<1.33E+00	<3.91E-01	3.05E+00	1.61E+05	1.49E+01	<2.50E-01	<6.55E+00	<6.79E-02	0.38	0.39
A8	5.82E-01	<1.46E-01	3.04E-01	<3.93E-01	<1.15E+00	<3.94E-01	2.94E+00	1.57E+05	1.15E+01	<2.50E-01	6.51E+00	<5.36E-02	0.36	0.37
A9	3.81E-01	<1.29E-01	5.72E-01	<4.10E-01	<1.20E+00	<4.73E-01	1.96E+00	1.48E+05	1.07E+01	<2.50E-01	<5.71E+00	<5.36E-02	0.25	0.26
A10	1.81E-01	<1.65E-01	2.37E-01	<4.20E-01	<9.59E-01	<4.11E-01	1.07E+00	1.37E+05	1.11E+01	<2.50E-01	<5.89E+00	<7.85E-02	0.15	0.15
B1 平均 <sup>※2</sup>	3.54E-01	1.14E-01	5.90E-01	3.61E-01	8.40E-01	2.05E-01	1.83E+00	2.17E+05	—	—	1.07E+01	—	0.23	—
B1上段	2.87E-01	<9.62E-02	6.11E-01	3.91E-01	<8.03E-01	—	—	2.17E+05	—	—	1.18E+01	—	—	—
B1中段	3.67E-01	<1.41E-01	5.88E-01	3.30E-01	<8.72E-01	2.05E-01	1.83E+00	2.19E+05	—	—	7.65E+00	—	0.23	—
B1下段	4.08E-01	<1.04E-01	5.71E-01	3.61E-01	<8.44E-01	—	—	2.17E+05	—	—	1.28E+01	—	—	—
B1 <sup>※3</sup>	4.70E-01	<1.93E-01	5.56E-01	<4.15E-01	<1.18E+00	8.63E+00	1.32E+00	1.94E+05	1.83E+01	<1.02E+00	1.30E+01	<5.36E-02	0.46	0.47
B2	4.47E-01	<1.35E-01	4.92E-01	<4.29E-01	<1.21E+00	<3.63E-01	1.09E+00	1.63E+05	1.32E+01	9.47E-01	8.52E+00	<7.85E-02	0.16	0.16
B3	5.66E-01	<1.64E-01	5.16E-01	<4.47E-01	<1.26E+00	<4.60E-01	1.45E+00	1.49E+05	7.80E+00	1.03E+00	9.21E+00	<5.36E-02	0.20	0.21
B4	4.43E-01	<1.44E-01	4.60E-01	<4.40E-01	<1.01E+00	<4.04E-01	1.98E+00	1.54E+05	7.84E+00	1.00E+00	7.79E+00	<5.36E-02	0.25	0.26
B5	6.33E-01	<1.90E-01	5.15E-01	<4.09E-01	<1.25E+00	5.03E-01	2.07E+00	1.67E+05	1.37E+01	9.14E-01	9.44E+00	<5.69E-02	0.27	0.28

※1 主要7核種（セシウム-137,セシウム-134,コバルト-60,アンチモン-125,ルテチウム-106,ストロンチウム-90,ヨウ素-129）

※2 上段・中段・下段の平均値

※3 全 $\beta$ の濃度に影響する核種の調査のためカーボン14,テクネチウム99を追加測定した結果

【参考】放射能濃度ほかの数値表記について

(例)  $4.16E+01 = 4.16 \times 10^1 = 41.6$   
 $4.16E-01 = 4.16 \times 10^{-1} = 0.416$

## 2. タンク群毎の放射能濃度実測値（再利用タンクを除く）

### K4エリア

グループ	核種毎の放射能濃度													告示濃度比 総和 (主要7核種 <sup>※1</sup> ) [-]	告示濃度比 総和 (主要7核種 <sup>※1</sup> + C-14 + Tc-99) [-]
	セシウム (Cs)-137 告示濃度限度 9.00E+01 [Bq/L]	セシウム (Cs)-134 告示濃度限度 6.00E+01 [Bq/L]	コバルト (Co)-60 告示濃度限度 2.00E+02 [Bq/L]	アンチモン (Sb)-125 告示濃度限度 8.00E+02 [Bq/L]	ルテチウム (Ru)-106 告示濃度限度 1.00E+02 [Bq/L]	ストロンチウム (Sr)-90 告示濃度限度 3.00E+01 [Bq/L]	ヨウ素 (I)-129 告示濃度限度 9.00E+00 [Bq/L]	トリチウム (H)-3 告示濃度限度 6.00E+04 [Bq/L]	カーボン (C)-14 告示濃度限度 2.00E+03 [Bq/L]	テクネチウム (Tc)-99 告示濃度限度 1.00E+03 [Bq/L]	全ベータ(β) [Bq/L]	全アルファ(α) [Bq/L]			
B6 平均 <sup>※2</sup>	7.02E-01	1.74E-01	5.83E-01	3.38E-01	1.67E+00	4.90E-01	2.44E+00	1.97E+05	—	—	1.16E+01	—	0.32	—	
B6上段	7.16E-01	1.74E-01	5.22E-01	3.23E-01	1.47E+00	—	—	1.97E+05	—	—	1.11E+01	—	—	—	
B6中段	6.72E-01	1.39E-01	6.77E-01	4.45E-01	2.03E+00	4.90E-01	2.44E+00	1.98E+05	—	—	1.24E+01	—	0.32	—	
B6下段	7.20E-01	2.09E-01	5.49E-01	2.48E-01	1.51E+00	—	—	1.98E+05	—	—	1.12E+01	—	—	—	
B6 <sup>※3</sup>	6.90E-01	<1.26E-01	4.41E-01	<4.20E-01	<1.26E+00	6.43E-01	1.75E+00	1.69E+05	1.51E+01	1.02E+00	8.97E+00	<5.69E-02	0.24	0.25	
B7	5.91E-01	<1.24E-01	4.25E-01	<4.31E-01	<1.18E+00	5.31E-01	1.97E+00	1.58E+05	1.42E+01	1.13E+00	7.79E+00	<6.00E-02	0.26	0.27	
B8	4.85E-01	<1.56E-01	6.58E-01	<4.24E-01	<1.07E+00	<4.07E-01	2.10E+00	1.50E+05	1.43E+01	1.41E+00	1.30E+01	<6.00E-02	0.27	0.28	
B9	5.39E-01	<2.88E-01	4.57E-01	5.96E-01	<1.26E+00	<4.74E-01	1.96E+00	1.44E+05	5.25E+00	1.37E+00	7.63E+00	<6.32E-02	0.26	0.26	
B10	4.35E-01	<2.51E-01	5.33E-01	4.05E-01	<1.18E+00	<3.91E-01	1.83E+00	1.61E+05	7.05E+00	1.08E+00	6.73E+00	<6.32E-02	0.24	0.25	
C1	3.59E-01	<1.45E-01	3.13E-01	<4.34E-01	<1.23E+00	<3.98E-01	2.11E+00	1.40E+05	9.35E+00	<4.07E-01	<6.10E+00	<5.36E-02	0.27	0.27	
C2	5.11E-01	<1.36E-01	2.93E-01	<4.37E-01	<1.28E+00	<3.78E-01	1.87E+00	1.50E+05	9.64E+00	<4.07E-01	<6.10E+00	<5.36E-02	0.24	0.25	
C3	4.43E-01	<1.46E-01	2.94E-01	<4.53E-01	<1.21E+00	<4.19E-01	1.44E+00	1.58E+05	6.69E+00	<4.07E-01	<6.77E+00	<5.36E-02	0.20	0.20	
C4	4.44E-01	<1.46E-01	1.84E-01	<4.44E-01	<1.35E+00	<3.91E-01	1.23E+00	1.68E+05	9.40E+00	<4.07E-01	<6.77E+00	<5.36E-02	0.17	0.18	

※1 主要7核種（セシウム-137,セシウム-134,コバルト-60,アンチモン-125,ルテチウム-106,ストロンチウム-90,ヨウ素-129）

※2 上段・中段・下段の平均値

※3 全βの濃度に影響する核種の調査のためカーボン14,テクネチウム99を追加測定した結果

【参考】放射能濃度ほかの数値表記について  
 (例)  $4.16E+01 = 4.16 \times 10^1 = 41.6$   
 $4.16E-01 = 4.16 \times 10^{-1} = 0.416$

## 2. タンク群毎の放射能濃度実測値（再利用タンクを除く）

### K4エリア

グループ	核種毎の放射能濃度													告示濃度比 総和 (主要7核種 <sup>※1</sup> ) [-]	告示濃度比 総和 (主要7核種 <sup>※1</sup> + C-14 + Tc-99) [-]
	セシウム (Cs)-137 告示濃度限度 9.00E+01 [Bq/L]	セシウム (Cs)-134 告示濃度限度 6.00E+01 [Bq/L]	コバルト (Co)-60 告示濃度限度 2.00E+02 [Bq/L]	アンチモン (Sb)-125 告示濃度限度 8.00E+02 [Bq/L]	ルテチウム (Ru)-106 告示濃度限度 1.00E+02 [Bq/L]	ストロンチウム (Sr)-90 告示濃度限度 3.00E+01 [Bq/L]	ヨウ素 (I)-129 告示濃度限度 9.00E+00 [Bq/L]	トリチウム (H)-3 告示濃度限度 6.00E+04 [Bq/L]	カーボン (C)-14 告示濃度限度 2.00E+03 [Bq/L]	テクネチウム (Tc)-99 告示濃度限度 1.00E+03 [Bq/L]	全ベータ(β) [Bq/L]	全アルファ(α) [Bq/L]			
C5 平均 <sup>※2</sup>	6.59E-01	1.31E-01	4.44E-01	2.58E-01	1.05E+00	7.84E-02	1.82E+00	2.10E+05	—	—	6.30E+00	—	0.23	—	
C5上段	6.29E-01	1.92E-01	3.86E-01	<1.99E-01	<8.37E-01	—	—	2.06E+05	—	—	6.61E+00	—	—	—	
C5中段	6.57E-01	<1.23E-01	4.43E-01	<2.80E-01	<1.06E+00	<7.84E-02	1.82E+00	2.11E+05	—	—	6.61E+00	—	0.23	—	
C5下段	6.90E-01	<7.84E-02	5.04E-01	<2.95E-01	1.26E+00	—	—	2.11E+05	—	—	5.67E+00	—	—	—	
C5 <sup>※3</sup>	6.35E-01	<1.18E-01	2.84E-01	<3.96E-01	<1.26E+00	8.05E+00	1.25E+00	1.82E+05	1.69E+01	<1.02E+00	1.87E+01	<5.69E-02	0.43	0.44	
D1 平均 <sup>※2</sup>	1.56E-01	1.23E-01	8.45E-01	4.42E-01	9.60E-01	7.43E-02	3.45E+00	1.86E+05	—	—	7.30E+00	—	0.40	—	
D1上段	1.82E-01	<1.60E-01	8.68E-01	3.88E-01	<9.95E-01	—	—	1.85E+05	—	—	7.55E+00	—	—	—	
D1中段	1.38E-01	<9.26E-02	7.33E-01	3.81E-01	<8.30E-01	<7.43E-02	3.45E+00	1.86E+05	—	—	6.99E+00	—	0.40	—	
D1下段	1.48E-01	<1.15E-01	9.33E-01	5.59E-01	<1.05E+00	—	—	1.87E+05	—	—	7.37E+00	—	—	—	
D1 <sup>※3</sup>	1.42E-01	<2.07E-01	5.00E-01	4.41E-01	<1.29E+00	2.55E+00	2.24E+00	1.58E+05	1.26E+01	<1.68E+00	1.23E+01	<6.28E-02	0.36	0.36	
D2	2.43E-01	<1.37E-01	3.08E-01	<4.12E-01	<1.29E+00	<4.32E-01	1.53E+00	1.43E+05	6.19E+00	<4.07E-01	9.44E+00	<6.00E-02	0.20	0.21	
D3	5.83E-01	<1.35E-01	2.63E-01	<4.54E-01	<1.19E+00	<3.72E-01	1.51E+00	1.56E+05	7.98E+00	<4.07E-01	1.04E+01	<6.00E-02	0.20	0.21	
D4	6.64E-01	<1.50E-01	2.52E-01	<4.37E-01	<9.08E-01	<4.30E-01	1.15E+00	1.66E+05	5.89E+00	<4.07E-01	1.00E+01	<6.28E-02	0.16	0.17	
D5	7.61E-01	<1.23E-01	3.68E-01	<4.27E-01	<1.28E+00	<4.19E-01	1.08E+00	1.70E+05	6.78E+00	<4.07E-01	<6.28E+00	<6.28E-02	0.16	0.16	

※1 主要7核種（セシウム-137,セシウム-134,コバルト-60,アンチモン-125,ルテチウム-106,ストロンチウム-90,ヨウ素-129）

※2 上段・中段・下段の平均値

※3 全βの濃度に影響する核種の調査のためカーボン14,テクネチウム-99を追加測定した結果

【参考】放射能濃度ほかの数値表記について  
 (例)  $4.16E+01 = 4.16 \times 10^1 = 41.6$   
 $4.16E-01 = 4.16 \times 10^{-1} = 0.416$

## 2. タンク群毎の放射能濃度実測値（再利用タンクを除く）

### K4エリア

グループ	核種毎の放射能濃度												告示濃度比 総和 (主要7核種 <sup>※1</sup> ) [-]	告示濃度比 総和 (主要7核種 <sup>※1</sup> + C-14 + Tc-99) [-]
	セシウム (Cs)-137 告示濃度限度 9.00E+01 [Bq/L]	セシウム (Cs)-134 告示濃度限度 6.00E+01 [Bq/L]	コバルト (Co)-60 告示濃度限度 2.00E+02 [Bq/L]	アンチモン (Sb)-125 告示濃度限度 8.00E+02 [Bq/L]	ルテチウム (Ru)-106 告示濃度限度 1.00E+02 [Bq/L]	ストロンチウム (Sr)-90 告示濃度限度 3.00E+01 [Bq/L]	ヨウ素 (I)-129 告示濃度限度 9.00E+00 [Bq/L]	トリチウム (H)-3 告示濃度限度 6.00E+04 [Bq/L]	カーボン (C)-14 告示濃度限度 2.00E+03 [Bq/L]	テクネチウム (Tc)-99 告示濃度限度 1.00E+03 [Bq/L]	全ベータ(β) [Bq/L]	全アルファ(α) [Bq/L]		
E1 平均 <sup>※2</sup>	4.86E-01	1.61E-01	7.11E-01	5.07E-01	1.73E+00	1.56E-01	2.41E+00	2.83E+05	—	—	1.38E+01	—	0.30	—
E1上段	4.29E-01	1.98E-01	7.04E-01	5.11E-01	1.53E+00	—	—	2.83E+05	—	—	1.22E+01	—	—	—
E1中段	5.46E-01	1.74E-01	7.79E-01	4.74E-01	1.85E+00	1.56E-01	2.41E+00	2.84E+05	—	—	1.43E+01	—	0.30	—
E1下段	4.83E-01	<1.13E-01	6.51E-01	5.35E-01	1.80E+00	—	—	2.81E+05	—	—	1.49E+01	—	—	—
E1 <sup>※3</sup>	5.92E-01	<1.53E-01	4.31E-01	<4.51E-01	<1.14E+00	7.29E+00	1.86E+00	2.42E+05	1.45E+01	6.18E+00	3.09E+01	<5.69E-02	0.47	0.49
E2	5.62E-01	<1.20E-01	3.65E-01	<4.17E-01	<1.16E+00	<4.06E-01	1.55E+00	1.93E+05	1.33E+01	4.11E+00	1.30E+01	<5.36E-02	0.21	0.22
E3	6.36E-01	<1.15E-01	3.59E-01	<4.03E-01	<1.03E+00	4.65E-01	1.13E+00	1.77E+05	1.75E+01	2.15E+00	8.71E+00	<5.36E-02	0.16	0.17
E4	6.72E-01	<1.82E-01	3.60E-01	<4.70E-01	<1.28E+00	6.33E-01	1.18E+00	1.72E+05	1.76E+01	8.53E-01	<7.16E+00	<7.02E-02	0.18	0.19
E5 平均 <sup>※2</sup>	7.36E-01	1.80E-01	4.76E-01	2.83E-01	1.81E+00	5.92E-01	1.67E+00	2.16E+05	—	—	1.21E+01	—	0.24	—
E5上段	7.42E-01	<1.05E-01	4.90E-01	2.64E-01	2.00E+00	—	—	2.17E+05	—	—	9.04E+00	—	—	—
E5中段	7.08E-01	1.81E-01	4.33E-01	3.19E-01	1.62E+00	5.92E-01	1.67E+00	2.17E+05	—	—	1.28E+01	—	0.24	—
E5下段	7.57E-01	2.54E-01	5.06E-01	2.66E-01	1.80E+00	—	—	2.15E+05	—	—	1.43E+01	—	—	—
E5 <sup>※3</sup>	6.85E-01	<1.51E-01	4.13E-01	<4.37E-01	<1.22E+00	8.86E-01	1.25E+00	1.75E+05	1.45E+01	<5.23E-01	<7.16E+00	<7.02E-02	0.19	0.20

※1 主要7核種（セシウム-137,セシウム-134,コバルト-60,アンチモン-125,ルテチウム-106,ストロンチウム-90,ヨウ素-129）

※2 上段・中段・下段の平均値

※3 全βの濃度に影響する核種の調査のためカーボン14,テクネチウム-99を追加測定した結果

【参考】放射能濃度ほかの数値表記について  
 (例) 4.16E+01 = 4.16×10<sup>1</sup> = 41.6  
 4.16E-01 = 4.16×10<sup>-1</sup> = 0.416

### 3. タンク群毎の放射能濃度実測値(再利用タンク) (2021年9月30日現在)

### 3. タンク群毎の放射能濃度実測値（再利用タンク）



#### G3エリア

グループ	核種毎の放射能濃度												告示濃度比 総和 (主要7核種 <sup>※1</sup> ) [-]	告示濃度比 総和 (主要7核種 <sup>※1</sup> +C-14 +Tc-99) [-]
	セシウム (Cs)-137 告示濃度限度 9.00E+01 [Bq/L]	セシウム (Cs)-134 告示濃度限度 6.00E+01 [Bq/L]	コバルト (Co)-60 告示濃度限度 2.00E+02 [Bq/L]	アンチモン (Sb)-125 告示濃度限度 8.00E+02 [Bq/L]	ルテチウム (Ru)-106 告示濃度限度 1.00E+02 [Bq/L]	ストロンチウム (Sr)-90 告示濃度限度 3.00E+01 [Bq/L]	ヨウ素 (I)-129 告示濃度限度 9.00E+00 [Bq/L]	トリチウム (H)-3 告示濃度限度 6.00E+04 [Bq/L]	カーボン (C)-14 告示濃度限度 2.00E+03 [Bq/L]	テクネチウム (Tc)-99 告示濃度限度 1.00E+03 [Bq/L]	全β [Bq/L]	全α [Bq/L]		
H1	2.05E+00	<1.95E-01	6.96E-01	6.27E-01	<1.22E+00	2.64E+02	<2.39E-01	7.00E+05	1.41E+01	<1.08E+00	5.40E+02	<6.00E-02	8.88	8.88
H4	4.01E+01	2.18E+00	4.62E+00	1.69E+00	<2.54E+00	3.38E+03	3.26E-01	4.97E+05	1.43E+01	<1.08E+00	7.25E+03	<6.00E-02	113.17	113.18

#### K2エリア

B1	7.72E-01	<2.51E-01	1.20E+00	7.32E-01	<1.81E+00	5.77E+01	3.16E+00	2.98E+05	2.86E+01	<8.31E-01	2.16E+02	<7.97E-02	2.31	2.33
B6	4.68E-01	<4.55E-01	5.53E-01	2.28E+00	<2.57E+00	2.95E+01	3.77E-01	6.90E+05	1.88E+01	<8.31E-01	1.88E+02	<7.97E-02	1.07	1.08
B7	2.89E-01	<4.64E-01	1.96E+00	1.24E+01	<2.17E+00	5.30E+02	1.25E+00	5.69E+05	1.23E+01	<7.97E-01	1.21E+03	<7.13E-02	17.85	17.86
C1 <sup>※2</sup>	<2.15E-01	<2.26E-01	1.47E-01	8.17E-01	<1.16E+00	<4.21E-01	<7.74E-02	4.64E+05	1.05E+01	<2.41E-01	<6.45E+00	<6.89E-02	0.04	0.05
C7	<2.55E-01	<3.18E-01	1.05E+00	1.09E+01	<1.48E+00	5.19E+02	6.58E-01	4.21E+05	1.02E+01	<2.41E-01	1.11E+03	<6.89E-02	17.41	17.42
D1 <sup>※2</sup>	2.41E-01	<1.45E-01	8.64E-01	<4.86E-01	<1.22E+00	<3.98E-01	5.21E-01	4.41E+05	9.74E+00	<7.97E-01	5.81E+00	<7.13E-02	0.09	0.10

※1 主要7核種（セシウム-137,セシウム-134,コバルト-60,アンチモン-125,ルテチウム-106,ストロンチウム-90,ヨウ素-129）

※2 再利用タンクに連結して受け入れを行った処理水タンク

【参考】放射能濃度ほかの数値表記について  
 (例)  $4.16E+01 = 4.16 \times 10^1 = 41.6$   
 $4.16E-01 = 4.16 \times 10^{-1} = 0.416$

汚染水等構内溜まり水の状況（2021.11.11時点）

資料3

リスク観点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m <sup>3</sup> )	放射性物質濃度[Bq/L]	備考
1	2号機大物搬入口屋上	・2号機大物搬入口屋上	建屋エリアに存在する建屋	降雨量により変動	<b>【2階】</b> Cs-134: <1.0E1 Cs-137: 2.1E1 全β: 2.6E1 H-3: 1.0E2 (2015.11.2)  <b>【1階】</b> Cs-134: 1.1E1 Cs-137: 4.0E1 全β: 4.1E1 H-3: 1.1E2 (2015.11.2)	
1-2	2号機R/B	2号機R/B	建屋エリアに存在する建屋	降雨量により変動	<b>【上屋】</b> Cs-134: 200~340 Cs-137: 650~1100 全β: 920~1900 Sr-90: 10~20 ND(<100) H-3: ND (2015.1.16)	
2	5.6号機貯留タンク(フランジタンク)	・5.6号機貯留タンク(フランジタンク)	6号機北側	約8,900 (2021.9時点)	Cs-134: 2.0E0 Cs-137: 6.2E1 (2021.9.15) <b>2.1E0</b> <b>6.3E1</b> <b>(2021.10.13)</b>	5-6号建屋滞留水・RO処理水を貯留
3	5.6号機貯留タンク(溶接タンク)	・5.6号機貯留タンク(溶接タンク)	6号機北側	約6,300 (2021.9時点)	Cs-134: 7.7 Cs-137: 4.3E1 (2016.10.3)	5-6号建屋滞留水を貯留
4-2	吸着塔一時保管施設	水処理二次廃棄物(SARRY、KURION、ALPS処理カラム、モバイル式処理装置)	吸着塔一時保管施設(第一施設、第四施設)	1程度(1基あたり)	Cs-137: 2.0E3~1.6E7 Sr-90: 5.3E3~4.3E7 (2017.2~2017.3)	
7	濃縮水タンク(蒸発濃縮装置濃廃水)	蒸発濃縮装置濃縮水用ノッチタンク(スラリー/濃縮水)	タンクエリア(Cエリア)	約65※1 (2019.2.1時点)	<b>【蒸発濃縮装置濃廃水】</b> Cs-134: 1.7E4 Cs-137: 2.5E4 全β: 4.7E8 (2011.12.20)	蒸発濃縮装置濃縮水を貯留 ※1: 全5タンクの水量を 実測して算出
9	5、6号機逆洗弁ピット及び吐出弁ピット	・5号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット	5号機スクリーン近傍	約550	Cs-134: ND Cs-137: 3.4E0 (2016.10.5)	
		・6号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット	6号機スクリーン近傍	約850	Cs-134: ND Cs-137: 3.7E0 (2016.10.5)	
		・5号機逆洗弁ピット	5号タービン建屋海側	約1,500	Cs-134: 3.0E0 Cs-137: 1.9E1 (2016.10.3)	
		・6号機逆洗弁ピット	6号タービン建屋海側	約1,500	Cs-134: 1.5E0 Cs-137: 1.1E1 (2016.10.3)	
10	1~4号機T/B屋根	・1号機T/B	建屋エリアに存在する建屋	降雨量により変動	<b>【1号機T/B上屋】</b> Cs-134: 2.1E1 Cs-137: 6.2E2 (2021.9.21) 全β: 4.4E1 (2020.7.29)	
		・2号機T/B	建屋エリアに存在する建屋	降雨量により変動	<b>【2号機T/B上屋】</b> Cs-134: ND Cs-137: 4.7E1 (2021.9.21) 全β: 8.9E0 (2020.7.29)	
11	1号CSTタンク(溶接タンク)	・1号CSTタンク(溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約740 (2016.10.26)	Cs-134: 2.9E+4 Cs-137: 1.9E+5 全β: 2.2E+5 (2016.11.7)	RO処理水を貯留



汚染水等構内溜まり水の状況（2021.11.11時点）

資料3

リスク観点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m <sup>3</sup> )	放射性物質濃度[Bq/L]	備考
12	2号CSTタンク (溶接タンク)	・2号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約1,900 (2021.9.15)	【CST入口水(淡水化装置出口水)】 H-3: 1.5E5 Sr-90: ND (2021.9.7) 【2号CSTタンク貯留水】 Cs-134: 1.6E+02 Cs-137: 1.7E+03 (2018.12.14) 全β: 1.5E+03 (2018.12.19)	2020.3.18より1～3号機炉注水源としての運用開始
13	3号CSTタンク (溶接タンク)	・3号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約1,970 (2021.9.15)	【3号CSTタンク貯留水】 Cs-134: 1.9E+2 Cs-137: 3.5E+3 全β: 6.3E+3 H-3: 7.5E+5 (2020.7.16)	RO処理水を貯留 1～3号機炉注水源
15	地下貯水槽	地下貯水槽No. 1	タンクエリア	—	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β: 1.3E6 (2018.9.12) (参考:漏えい検知孔水) 全β: 8.3E3 (2021.10.5) H-3: ND (2019.9.4)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
16	地下貯水槽	地下貯水槽No. 2	タンクエリア	—	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β: 3.1E6 (2018.9.12) (参考:漏えい検知孔水) 全β: 7.3E3 (2021.10.6) H-3: ND (2019.9.4)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
17	地下貯水槽	地下貯水槽No. 3	タンクエリア	—	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β: 3.2E6 (2018.9.11) (参考:漏えい検知孔水) 全β: 9.7E3 (2021.10.8) H-3: ND (2019.9.5)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
18	地下貯水槽	地下貯水槽No. 4	タンクエリア	—	【タンク堰内雨水貯水実績あり】 全β: 2.8E4 (2018.9.12)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
20	地下貯水槽	地下貯水槽No. 6	タンクエリア	—	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β: 7.8E6 (2018.9.11) (参考:漏えい検知孔水) 全β: 4.5E1 (2019.9.5) H-3: ND (2019.9.5)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
21	地下貯水槽	地下貯水槽No. 7	タンクエリア	—	【タンク堰内雨水貯水実績あり】 全β: 1.5E2 (2018.9.12)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
22	1-4号建屋接続トレンチ	・1号機コントロールケーブルダクト ・集中環境施設廃棄物系共通配管ダクト(2号機廃棄物系共通配管ダクト) ・1号機薬品タンク連絡ダクト 等	1～4号機周辺	約4～170 (2020.12)	Cs-134: ND～3.2E2 Cs-137: 9.6E1～7.6E3 全β: 9.6E1～8.0E3 H-3: 1.0E2～6.5E3 (2020.12)	量及び放射性物質濃度の内訳は添付資料(1)「2020年度トレンチ等内溜まり水調査結果一覧」を参照
23	2～4号機DG連絡ダクト	・2～4号機DG連絡ダクト	2～4号機山側	約1,600 (2020.12)	Cs-134: ND Cs-137: 8.7E1 全β: 1.0E2 H-3: ND (2020.12.18)	
24-1	1号機海水配管トレンチ	・1号機海水配管トレンチ	1号機タービン建屋海側	約400 (2020.12)	Cs-134: ND Cs-137: 4.8E1 全β: 7.3E1 (2020.12.21)	
26	3号機起動用変圧器ケーブルダクト	・3号機起動用変圧器ケーブルダクト	3号機山側	約830 (2020.12)	Cs-134: 4.8E1 Cs-137: 4.0E2 全β: 4.4E2 H-3: ND (2017.10)	

汚染水等構内溜まり水の状況 (2021.11.11時点)

資料3

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m³)	放射性物質濃度[Bq/L]	備考
28	1-4号建屋未接続トレンチ	・2号機変圧器防災用トレンチ ・消火配管トレンチ(3号機東側) ・1号機主変圧器ケーブルダクト ・1号機廃液サージタンク連絡ダクト ・1号機オフガス配管ダクト 等	1-4号機周辺	約1~830 (2018.12)	Cs-134:ND~2.3E1 Cs-137:7.0E0~2.7E2 全β:5.4E1~7.2E2 H-3:ND~1.7E3 (2018.11~2019.1)	量及び放射性物質濃度の内訳は添付資料(2)「2018年度トレンチ等内溜まり水調査結果一覧」を参照
29	1~4号機サブドレン No.15,16(未復旧ビット)	・サブドレンビットNo.15,16	1~4号機周辺 「未復旧」	約20	【No.16】 Cs-134: 3.1E4 Cs-137: 8.8E5 全β: 1.1E6 H-3: 8.3E3 (2021.9.10)	
30	その他1~4号機サブドレン(ディーブウェル含む)(未復旧ビット)	・1号機~4号機サブドレン	1~4号機周辺 「未復旧」	約15/ビット	【No.47.48】 Cs-134:ND~3.9E1 Cs-137:4.8E1~9.6E1 全β:7.9E1~2.8E2 H-3:ND (2014.11.10)	
32	1号機放水路 (出口を閉塞済)	・1号機放水路 (出口を閉塞済)	1~4号タービン建屋海側	約4,200 (2018.12.17)	【放水路上流側立坑】 Cs-134: 1.3E2 <b>1.3E2</b> Cs-137: 2.9E3 <b>3.1E3</b> 全β: 3.4E3 <b>3.8E3</b> H-3: ND <b>ND</b> (2021.10.18) <b>(2021.11.8)</b>	
33	2号機放水路 (出口を閉塞済)	・2号機放水路 (出口を閉塞済)	2-4号機タービン建屋海側	約3,600 (2018.12.14)	【放水路上流側立坑】 Cs-134: 3.9E1 <b>3.5E1</b> Cs-137: 9.4E2 <b>9.9E2</b> 全β: 1.2E3 <b>1.2E3</b> H-3: ND <b>ND</b> (2021.10.18) <b>(2021.11.8)</b>	
34	3号機放水路 (出口を閉塞済)	・3号機放水路 (出口を閉塞済)	3-4号機タービン建屋海側	約1,600 (2018.12.17)	Cs-134: 2.8E1 <b>1.1E1</b> Cs-137: 5.4E2 <b>4.2E2</b> 全β: 5.8E2 <b>5.3E2</b> H-3: ND <b>ND</b> (2021.9.8) <b>(2021.10.6)</b>	
35	キャスク保管建屋	・キャスク保管建屋	物揚場 西側	約4,500	Cs-134: 7.2E0 Cs-137: 2.3E1 I-131: ND Co-60: ND 全γ放射能: 3.1E1 全β放射能: (2014.5.23)	
36	5号CSTタンク (溶接タンク)	・5号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約1040 (2021.9.27)	Cs-134: ND <b>ND</b> Cs-137: ND <b>ND</b> Co-60: 1.5E2 <b>1.4E2</b> (2021.9.13) <b>(2021.10.13)</b>	プラント保有水を貯留
37	6号CSTタンク (溶接タンク)	・6号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約1620 (2021.9.27)	Cs-134: ND <b>ND</b> Cs-137: ND <b>ND</b> Co-60: ND <b>1.2E1</b> (2021.9.14) <b>(2021.10.15)</b>	プラント保有水を貯留
38	5/6号他 トレンチ	・5号機海水配管トレンチ ・5・6号機スチームドレン配管トレンチ ・5号機重油配管トレンチ(東側) ・5号機放射性流体用配管ダクト ・5号機主変圧器ケーブルダクト 等	5~6号機周辺	約1~1,900 (2015.10~2016.1)	Cs-134:ND~2.2E2 Cs-137:ND~9.9E2 (2015.10~2016.1)	
39	5, 6号機サブドレン	・5,6号機サブドレンビット	5~6号機周辺 ※「復旧対象」	約15/ビット	Cs-134: ND Cs-137: ND~3.5 全β: ND~4.8 H-3: ND~140 (採水期間:2017.10~2018.3)  <各ビット混合水> Cs-134: ND Cs-137: 4.3E-1 全β: ND H-3: 4.0E0 (2020.1.28)	
40	キャスク保管建屋サブドレン	・キャスク保管建屋サブドレン	物揚場 西側	約15/ビット	Cs-134: 1.0E+1 Cs-137: 1.4E+1 Co-60: <6.0E-01 全γ放射能: 2.4E+1 (2012.1.18)	

汚染水等構内溜まり水の状況（2021.11.11時点）

資料3

リスク観点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m <sup>3</sup> )	放射性物質濃度[Bq/L]	備考	
41	SPTタンク(1~4号)(A) (溶接タンク)	・SPTタンク(1~4号)(A) (溶接タンク)	SPT建屋	約2,800 (2015.3.25時点)	Cs-134: 8.0E+4 Cs-137: 1.6E+5 Co-60: 6.5E+2 (2013.8.27)	プラント保有水等を貯留	
42	集中ラド周リサブドレン	・集中ラド周リサブドレン	主プロセス建屋等 各建屋周辺	約15/ピット	Cs-134: ND Cs-137: ND~5.5E1 (2021.10.20)	ND ND~7.9E1 (2021.11.10)	
44	純水タンクNo.1	・純水タンク	屋外(建屋エリア)	約850	Cs-134: 2.1 Cs-137: 7.2 全β: 12.2 H-3: ND (2015.5.29)	震災後、坂下ダム補給水を貯留	
45	5/6号機建屋滞留水	・5/6号機建屋滞留水	5~6号機	約8,900 (2021.9時点)	【5号機】 Cs-134: ND Cs-137: 1.0E0 全β: ND H-3: ND (2021.9.16)	ND ND ND ND (2021.10.14)	
					【6号機】 Cs-134: ND Cs-137: 2.0E0 全β: ND H-3: ND (2021.9.17)	ND 2.5E0 ND ND (2021.10.15)	
46	排気筒ドレンサンピット	・1/2号排気筒ドレンサンピット	1~4号機周辺	約0.3 <sup>※</sup> <small>※適宜溜まり水の移送を実施</small>	Cs-134: 1.3E5 Cs-137: 3.8E6 全β: 3.6E6 (2021.8.31)	1.2E5 3.8E6 3.9E6 (2021.9.28)	2019.10.12以降、水位低下傾向が確認された。 (2019.11.27)
		・3/4号排気筒ドレンサンピット	1~4号機周辺	約2	Cs-134: 9.5E1 Cs-137: 1.8E3 全β: 2.3E3 (2020.12.23)		
		・5/6号排気筒ドレンサンピット	5/6号機周辺	約7.6 (2020.3.12)	Cs-134: ND Cs-137: 1.3E1 全β: 1.2E1 (2021.2.18)		
		・集中RW排気筒ドレンサンピット	1~4号機周辺	約10	Cs-134: ND Cs-137: 2.2E2 全β: 2.7E2 (2020.5.20)		
47	固体廃棄物貯蔵庫(6~8号棟)	固体廃棄物貯蔵庫(6~8号棟)	固体廃棄物貯蔵庫 (6~8号棟)	約200	Cs-134: ND Cs-137: 5.3E+1 全β: 4.8E+1 (2017.11.10)		
49	5号R/B西側ヤードドラム缶	ステンレス製ドラム缶(内袋付)	5号R/B西側 ヤード (水素ガストレー ラーエリア)	約10 (2021.10)	Cs-134: ND Cs-137: 1.4E+1 Sr-90: ND H-3: ND 全β: 1.1E+01 Co-60: ND (2019.5.29)		

建屋内における残水等の状況について

Table with columns: No., 号機, 建屋, 対象エリア, 区分, 区分の判断日※1, 運用目標値/基準値(mm), 測定頻度, 今回 (確認日, 水位, 1回前との水位差(mm)), 1回前 (確認日, 水位, 2回前との水位差(mm)), 2回前 (確認日, 水位, 3回前との水位差(mm)), 最終排水実績, 排水計画, 床面(mm), 水位計の有無, 水位調整不可期待時期, 備考. The table lists water management data for various areas across four buildings (1, 2, 3, 4) and their sub-units.

※1: 現状の滞留水位より床面が低く、将来的な水位低下によって孤立すると想定されるエリアについては、運転上の制限(建屋滞留水<サブドレン水位)を満足する時期で調査を行い、区分分けするように計画する。  
※2: 2018/3/8, 2018/4/24 面談資料参照  
※3: 1号機タービン建屋は、現在、床ドレンサンブ内で水位管理を行っているため、T.P.443として管理(2018/4/6面談資料参照)  
※4: 連遭のある復水器エリアの水位を記載  
※5: 床面露出。中間地下階のため、再冠水の可能性は低い。

2021/11/11 0:00 時点の各建屋水位

Summary table showing water levels at 0:00 on 11/11/2021 for buildings 1, 2, 3, and 4. Columns include building type (R/B, R/W/B, T/B) and water level status (e.g., 除去完了).

※6: 1号機T/Bの最下階の床レベルはT.P.443

各建屋地下エリアの滞留水貯留状況

最終更新：2020/2/8  
東京電力ホールディングス株式会社

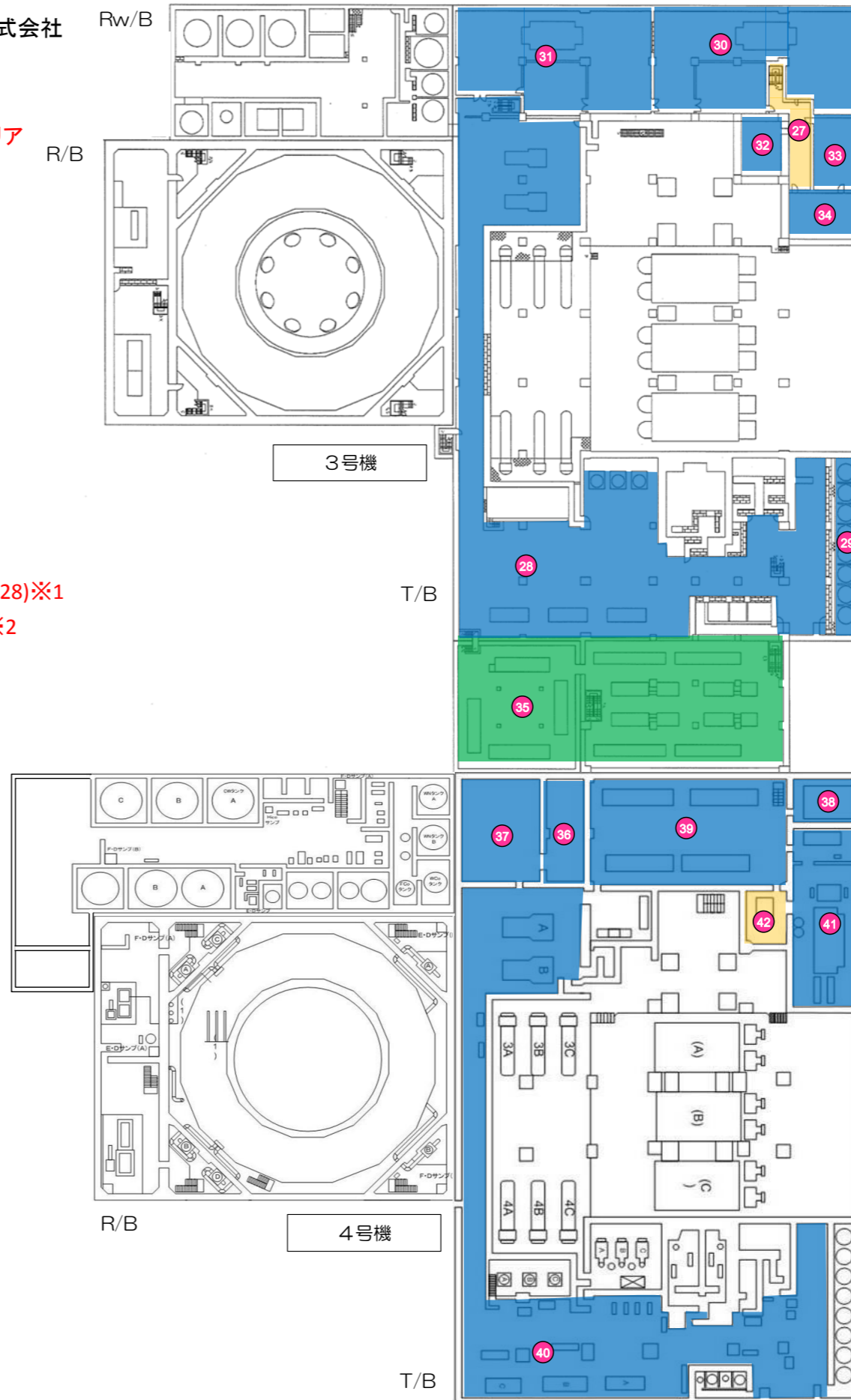
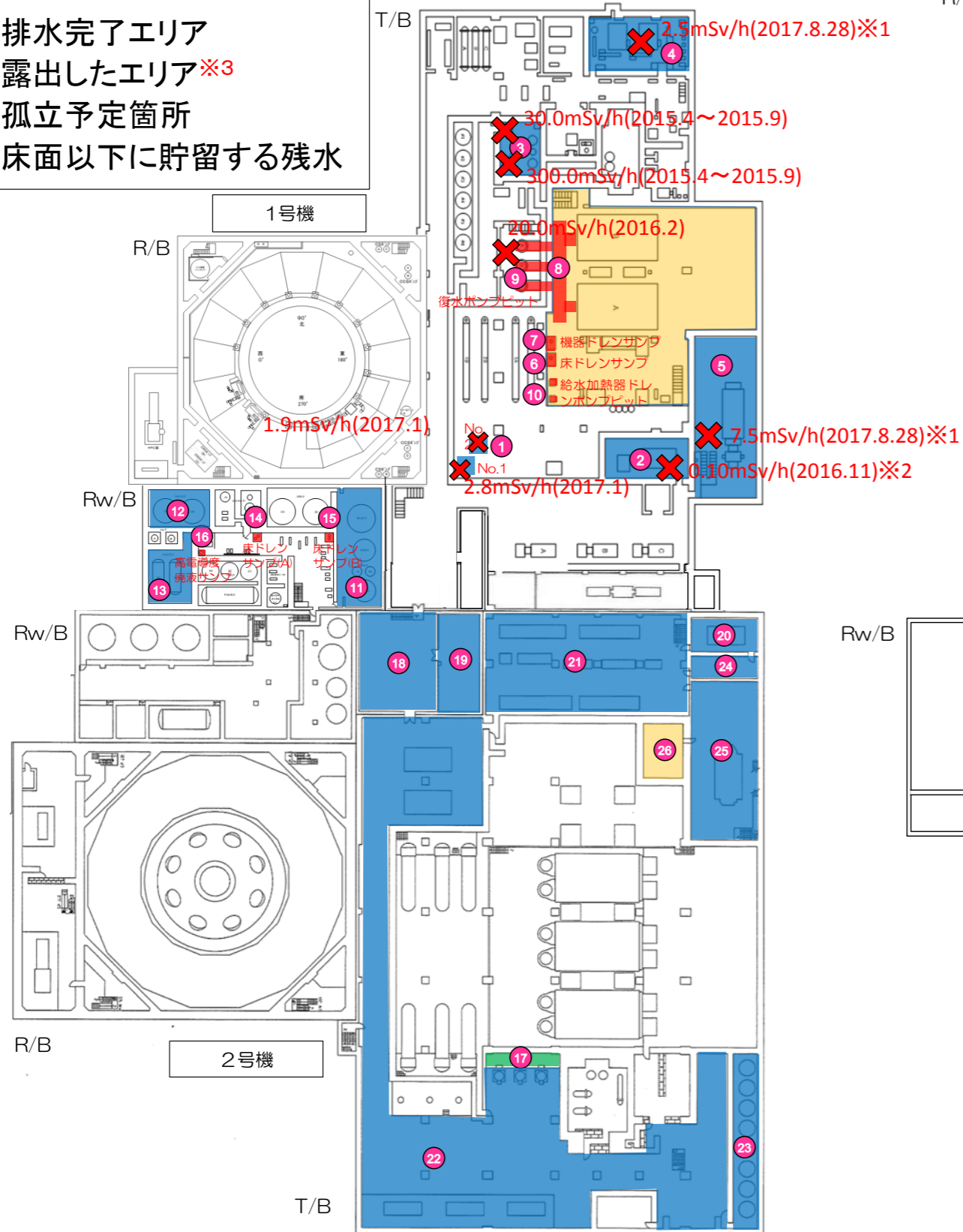
水位安定エリア等については線量測定が実施出来た場合、測定結果を記載している。

※1: 1階床面より3m程度挿入した箇所にて測定

※2: 作業エリアである1階床面で測定

※3: 孤立すると予想したエリアだが連通が確認されたため、建屋に滞留する滞留水のまま判断したエリア

- : 排水完了エリア
- : 露出したエリア※3
- : 孤立予定箇所
- : 床面以下に滞留する残水



## 福島第一原子力発電所における固体廃棄物について

実施計画 記載箇所	大分類	小分類	保管場所	保管形態	保管量 <sup>※1, 11, 12</sup>	保管容量 <sup>※1, 12</sup>	管理方法		主要 核種
							実施内容 <sup>※9</sup>	頻度	
Ⅲ <sup>※13</sup> 第1編 39条 第2編 87条の2	瓦礫類	<ul style="list-style-type: none"> <li>地震、津波、水素爆発により飛散した瓦礫</li> <li>フォールアウトにより汚染した設備・資機材で廃棄する物（建屋、制御盤、廃車両等）</li> <li>設備の点検・工事により発生する交換品等（ポンプ、バルブ、配管、フランジタンク等）</li> <li>設備運転に伴い発生する消耗品等（空調フィルタ等）</li> <li>工事等のため構内に持ち込んだ消耗品（梱包材、型枠、セメント用空袋等）</li> <li>回収した土壌</li> </ul>	屋外	・屋外集積（～0.1mSv/h）	226,100 m <sup>3</sup> [ -600 m <sup>3</sup> ]	278,000 m <sup>3</sup> ( 299,000 m <sup>3</sup> )	・人が容易に立ち入れないよう区画	—	Cs-137 Cs-134 等 <sup>※7</sup>
				・シート養生（～1mSv/h）	41,900 m <sup>3</sup> [ +1,000 m <sup>3</sup> ]	77,400 m <sup>3</sup> ( 77,400 m <sup>3</sup> )	・巡視を行い、容器の転倒、落下や養生シートに破れがないこと、その他異常が無いことを確認	週1回	
				・覆土式一時保管施設、容器収納（1mSv/h～30mSv/h）	17,400 m <sup>3</sup> [ -500 m <sup>3</sup> ]	18,500 m <sup>3</sup> ( 18,500 m <sup>3</sup> )	・空間線量率を測定し表示	週1回	
			固体廃棄物貯蔵庫	・容器収納	26,100 m <sup>3</sup> [ +300 m <sup>3</sup> ]	39,600 m <sup>3</sup> ( 64,700 m <sup>3</sup> )	・空気中の放射性物質濃度を測定	6ヶ月に1回 <sup>※2</sup>	
				瓦礫類の合計	311,400 m <sup>3</sup> [ +300 m <sup>3</sup> ]	413,400 m <sup>3</sup> ( 459,500 m <sup>3</sup> )	・槽内の溜まり水の有無を確認（覆土式一時保管施設）	週1回	
	使用済保護衣等	<ul style="list-style-type: none"> <li>タイベック</li> <li>下着類</li> <li>ゴム手袋</li> <li>その他保護衣、保護具</li> </ul>	屋外	・容器収納	30,300 m <sup>3</sup> [ -1,200 m <sup>3</sup> ]	52,500 m <sup>3</sup> ( 58,700 m <sup>3</sup> )	・煙、水蒸気、濁り水（黒・茶色）、空気の揺らぎが発生していないこと（屋外集積の伐採木）	週1回 <sup>※3</sup>	
			建屋	・袋詰め					
	伐採木	<ul style="list-style-type: none"> <li>枝葉根</li> <li>幹根</li> </ul>	屋外	・伐採木一時保管槽	37,300 m <sup>3</sup> [ 0 m <sup>3</sup> ]	41,600 m <sup>3</sup>	・伐採木一時保管槽における温度監視	週1回 <sup>※3</sup>	
				・屋外集積	800 m <sup>3</sup> [ 微増 m <sup>3</sup> ]	6,000 m <sup>3</sup>	・保管量を確認し、保管容量が確保されていることを確認	月1回	
			伐採木の合計		140,800 m <sup>3</sup> [ 微増 m <sup>3</sup> ]	175,600 m <sup>3</sup> ( 175,600 m <sup>3</sup> )	—		
—									
Ⅲ 第1編 40条 第2編 87条の3	水処理二次廃棄物（水処理により放射性物質を濃縮した廃棄物）	凝集沈殿物	廃スラッジ <sup>△</sup> 貯蔵施設	・造粒固化体貯槽【除染装置】	441 m <sup>3</sup> [ -1 m <sup>3</sup> ]	700 m <sup>3</sup>	・免震重要棟にて液位を監視し、漏えいの有無を監視	常時	Cs-137 Cs-134 Sr-90等
			使用済セシウム吸着塔一時保管施設	・HIC【多核種除去設備、増設多核種除去設備】（最大約13mSv/h）	3,885 本	4,192 本	・人が容易に立ち入れないよう区画	—	
		・HIC【多核種除去設備、増設多核種除去設備】（最大約23mSv/h）		[ +21 本 ]		・空間線量率を測定し表示	—		
		・吸着塔【第二セシウム吸着装置、第三セシウム吸着装置、高性能多核種除去設備、RO濃縮水処理設備】（最大約1.2mSv/h）		380 本	584 本	・巡視を行い、コンクリート製ボックスカルバート等に異常が無いことを確認	—		
		・処理カラム【多核種除去設備】（最大約0.2mSv/h）		[ +2 本 ]					
		・吸着塔【セシウム吸着装置、モバイル式処理装置、モバイル型Sr除去装置、第二モバイル型Sr除去装置、サブドレン他浄化装置、高性能多核種除去設備検証試験装置】（最大約250mSv/h）		974 本	1,596 本	・貯蔵量を確認し、貯蔵可能容量が確保されていることを確認	週1回		
		・容器収納【モバイル型Sr除去装置】（最大約0.5mSv/h）		[ 0 本 ]					
		フィルタ	屋外	・容器収納【高性能多核種除去設備、RO濃縮水処理設備】（最大約0.5mSv/h）	瓦礫類に含む		瓦礫類と同様	—	
			固体廃棄物貯蔵庫	・容器収納【サブドレン他浄化装置】 ・容器収納【雨水処理設備等】（1mSv/h未満）					
		RO装置のフィルタ類	屋外	・容器収納【SFP塩分除去装置】（最大十数mSv/h）	瓦礫類に含む		瓦礫類と同様	—	
樹脂	固体廃棄物貯蔵庫	・容器収納【SFP塩分除去装置】（最大十数mSv/h）	瓦礫類に含む		瓦礫類と同様	—			
		・容器収納【雨水処理設備等】（最大2mSv/h）							

福島第一原子力発電所における固体廃棄物について

東京電力ホールディングス株式会社  
2021年12月3日

実施計画 記載箇所	大分類	小分類	保管場所	保管形態	保管量 <sup>※1, 11, 12</sup>	保管容量 <sup>※1, 11, 12</sup>	管理方法		主要 核種	
							実施内容 <sup>※9</sup>	頻度		
Ⅲ 第1編 38条 第2編 87条	放射性固 体廃棄物 等	・震災前に発生した放射性固体廃棄物	固体廃棄 物貯蔵庫	・ドラム缶収納	ドラム缶 175,661 本	ドラム缶 (約318,500 本相当)	・巡視による保管状況の確認及び保管量 の確認	月1回	Co-60 等	
				・その他	ドラム缶 10,155 本					
		・震災後に発生した放射性固体廃棄物 (焼却灰等)	・ドラム缶収納	2,555 本 [ +48 本 ]						
		・使用済制御棒等	サイトバ ンカ	・水中保管	12,125 本 193 m <sup>3</sup> <sup>※4</sup>	—		・事故前の保管量の推定値により確認		3ヶ月に1 回
								・プール水位の確認		月1回
		・イオン交換樹脂、造粒固化体	タンク等	・タンク等に貯蔵	3,543 m <sup>3</sup> <sup>※5</sup>	—		・貯蔵量の確認 <sup>※8</sup>		3ヶ月に1 回
・貯蔵状況の確認 <sup>※8</sup>	タンクに より異な る									
・使用済制御棒等	使用済燃 料プール	・水中貯蔵	11,422 本 <sup>※6</sup>	—	・使用済燃料共用プールの巡視	月1回				
					・使用済燃料共用プールの貯蔵量の確認	3ヶ月に1 回				
— <sup>※10</sup>	瓦礫等 <sup>※13</sup>	・回収した土壌	—	18,600 m <sup>3</sup> [ -2,000 m <sup>3</sup> ]	・人が容易に立ち入れないよう区画 ・空間線量率を測定し表示	—	Cs-134 Cs-137 等			
		・回収した土壌以外の瓦礫等	屋外	—				55,400 m <sup>3</sup> [ -8,600 m <sup>3</sup> ]		
			建屋	—				1,000 m <sup>3</sup> [ 微減 m <sup>3</sup> ]		
	水処理二 次廃棄物	・樹脂、ゼオライト、RO膜等	—	200 m <sup>3</sup> [ 0 m <sup>3</sup> ]				Cs-137 Cs-134 Sr-90等		
仮設集積の合計			—	75,200 m <sup>3</sup> [ -10,600 m <sup>3</sup> ]						

- ※1 瓦礫類、使用済保護衣等、伐採木、仮設集積物、震災後に発生した放射性固体廃棄物（焼却灰等）は2021年10月31日現在、水処理二次廃棄物は2021年11月4日現在の保管量及び保管容量である。尚、瓦礫類、使用済保護衣等及び伐採木の下段に（ ）で記載している保管容量は、実施計画（2021年9月22日認可）に記載している保管容量である。
- ※2 屋外集積及びシート養生の瓦礫類、使用済保護衣等、並びに屋外集積の伐採木は、3ヶ月に1回。
- ※3 6月～9月は、1週間に3回。
- ※4 2021年3月末時点の保管量。内訳は、制御棒：1,167本、チャンネルボックス：9,818本、ヒューエルサポート：3本、中性子検出器：1,137本、その他（シュラウド切断片等）：193m<sup>3</sup>。
- ※5 2021年3月末時点の保管量。内訳は、イオン交換樹脂：2,395m<sup>3</sup>、造粒固化体：1,148m<sup>3</sup>。
- ※6 2021年3月末時点の保管量。内訳は、制御棒：281本、チャンネルボックス：10,539本、ポイズンカーテン：173本、ヒューエルサポート：54本、中性子検出器：375本。
- ※7 廃棄物の処理・処分に必要となる、廃棄物の性状把握のため、汚染水、瓦礫類、伐採木及び立木について、放射能濃度分析を実施しており、今後も継続する。分析した試料の中には、C-14（半減期：約5.7×10<sup>3</sup>年）、Ni-63（半減期：約1.0×10<sup>2</sup>年）、Se-79（半減期：約1.1×10<sup>6</sup>年）、Tc-99（半減期：約2.1×10<sup>5</sup>年）、I-129（半減期：約1.6×10<sup>7</sup>年）等が検出されているものがある。
- ※8 1～4号機廃棄物処理建屋等の水没や高線量の理由によりアクセスできないタンクについてはこの限りではない。
- ※9 アンダーラインの実施内容は、実施計画（2021年9月22日認可）に未記載。
- ※10 仮設集積しているのは、伐採木、土壌、水処理二次廃棄物等であり、QJ-54・1F-R5-002 瓦礫等管理要領に基づき、ロープや柵等の区画を行い、立ち入りを制限する標識を掲示する措置を講じている。
- ※11 [ ]は、当該の報告とその前月との差を示している。
- ※12 一部の値について端数処理で100m<sup>3</sup>未満を四捨五入しているため、合計値が合わないことがある。また、50m<sup>3</sup>未満の増減を微増・微減と示している。
- ※13 瓦礫等の記載については、廃棄物管理の適正化の検討を踏まえて、今後見直す。

ガレキの保管量の現状<sup>※1, 2, 3</sup>

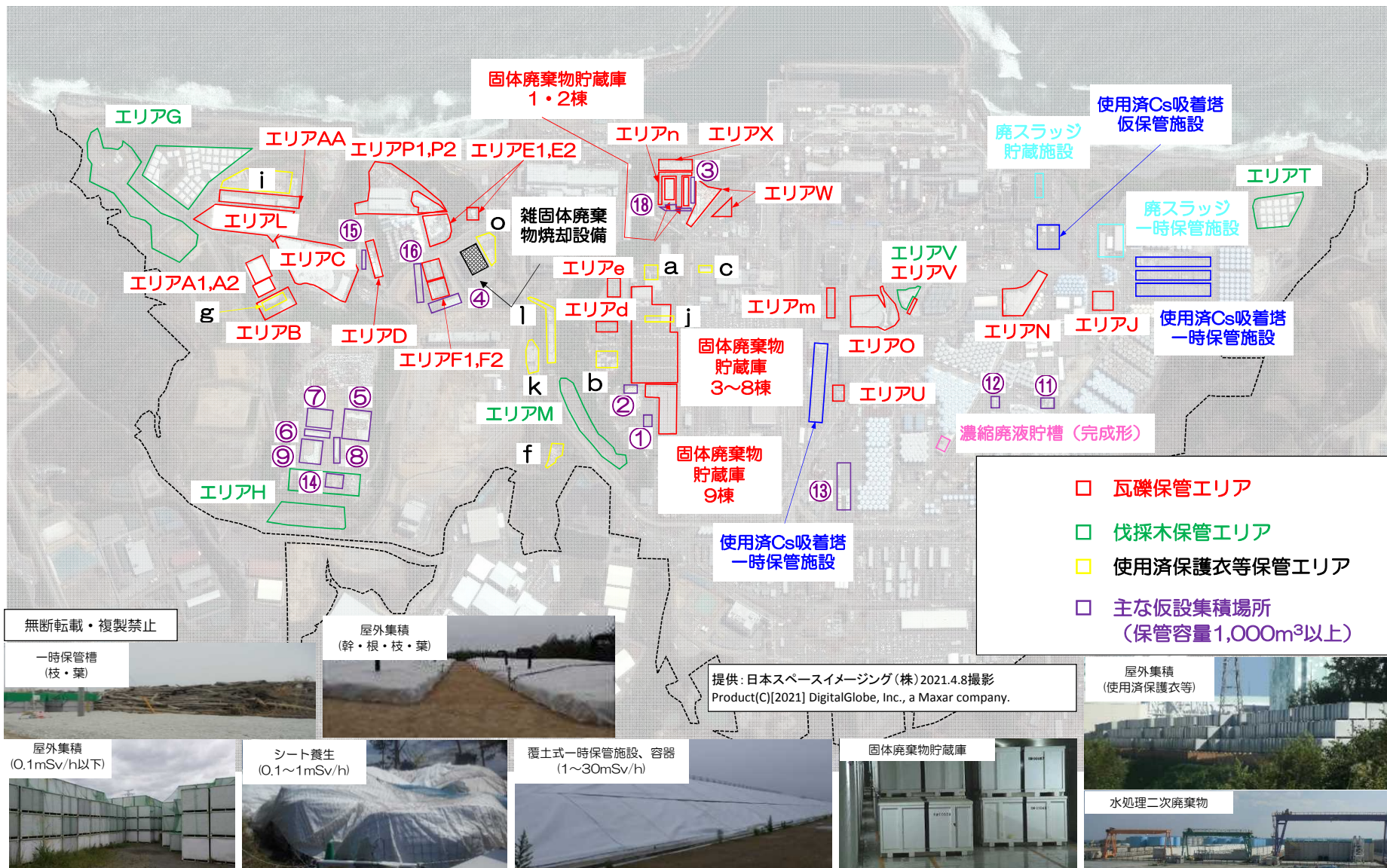
保管形態	受入目安表面線量率 (mSv/h)	エリア 名称	保管容量 <sup>※7</sup>	保管量	前回比	保管容量合計 <sup>※7</sup>	保管量合計	2021年度末 想定保管量 <sup>※4</sup>	
屋外集積 (~0.1mSv/h)	≦0.001	AA	36,400 m <sup>3</sup>	19,300 m <sup>3</sup>	+400 m <sup>3</sup>	278,000 m <sup>3</sup>	226,100 m <sup>3</sup>	262,200 m <sup>3</sup>	
		A2	9,500 m <sup>3</sup>	— m <sup>3</sup> <sup>※5</sup>	— m <sup>3</sup> <sup>※5</sup>				
	≦0.005	J	8,000 m <sup>3</sup>	6,200 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>				
		≦0.01	A1	4,300 m <sup>3</sup>	— m <sup>3</sup> <sup>※5</sup>				— m <sup>3</sup> <sup>※5</sup>
			B	5,300 m <sup>3</sup>	5,300 m <sup>3</sup>				0 m <sup>3</sup>
	≦0.025	C	31,000 m <sup>3</sup>	31,000 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>				
		C	35,000 m <sup>3</sup>	33,900 m <sup>3</sup>	-900 m <sup>3</sup>				
	≦0.028	U	800 m <sup>3</sup>	700 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>				
	≦0.1	C	1,000 m <sup>3</sup>	1,000 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>				
		F2	7,500 m <sup>3</sup>	6,400 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>				
		N	10,000 m <sup>3</sup>	9,600 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>				
		O	51,400 m <sup>3</sup>	44,000 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>				
		P1	64,000 m <sup>3</sup>	62,600 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>				
		V	6,000 m <sup>3</sup>	6,000 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>				
d		1,200 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>					
e	6,700 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>						
シート養生 (~1mSv/h)	≦0.3	D	4,500 m <sup>3</sup>	2,600 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>	77,400 m <sup>3</sup>	41,900 m <sup>3</sup>	73,700 m <sup>3</sup>	
	≦1	E1	16,000 m <sup>3</sup>	14,800 m <sup>3</sup>	+300 m <sup>3</sup>				
		P2	9,000 m <sup>3</sup>	5,900 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>				
		W1	23,000 m <sup>3</sup>	9,500 m <sup>3</sup>	-400 m <sup>3</sup>				
		W2	6,300 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>				
		X	12,200 m <sup>3</sup>	6,200 m <sup>3</sup>	-1,700 m <sup>3</sup>				
		m	3,100 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>				
		n	3,300 m <sup>3</sup>	2,900 m <sup>3</sup>	+2,900 m <sup>3</sup>				
覆土式一時保管施設、容器収納 (1mSv/h~30mSv/h)	≦10	F1	700 m <sup>3</sup>	600 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>	18,500 m <sup>3</sup>	17,400 m <sup>3</sup>	33,000 m <sup>3</sup>	
		E2	1,800 m <sup>3</sup>	700 m <sup>3</sup>	-500 m <sup>3</sup>				
	≦30	L	16,000 m <sup>3</sup>	16,000 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>				

仮設集積の管理状況<sup>※1, 2</sup>

分類	場所	保管容量	保管量	前回比
仮設集積 <sup>※6</sup>	①	3,000 m <sup>3</sup>	2,200 m <sup>3</sup>	+200 m <sup>3</sup>
	②	3,000 m <sup>3</sup>	3,000 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>
	③	2,000 m <sup>3</sup>	1,800 m <sup>3</sup>	-200 m <sup>3</sup>
	④	12,000 m <sup>3</sup>	8,300 m <sup>3</sup>	+1,800 m <sup>3</sup>
	⑤	14,000 m <sup>3</sup>	13,800 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>
	⑥	4,000 m <sup>3</sup>	1,800 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>
	⑦	9,000 m <sup>3</sup>	5,100 m <sup>3</sup>	+1,300 m <sup>3</sup>
	⑧	4,500 m <sup>3</sup>	3,500 m <sup>3</sup>	微増 m <sup>3</sup>
	⑨	1,500 m <sup>3</sup>	1,500 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>
	⑩			
	⑪	2,400 m <sup>3</sup>	1,200 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>
	⑫	1,800 m <sup>3</sup>	1,800 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>
	⑬	2,200 m <sup>3</sup>	1,200 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>
	⑭	2,200 m <sup>3</sup>	2,200 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>
	⑮	2,000 m <sup>3</sup>	2,000 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>
	⑯	5,600 m <sup>3</sup>	2,800 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>
	⑰			
	⑱		1,100 m <sup>4</sup>	900 m <sup>4</sup>

- ※1 瓦礫類、仮設集積物は2021年10月31日現在の保管量及び保管容量である。保管容量は運用上の上限を示している。  
 ※2 一部の値について端数処理で100m<sup>3</sup>未満を四捨五入しているため、合計値が合わないことがある。また、50m<sup>3</sup>未満の増減を微増・微減と示している。  
 ※3 各受入目安線量率において、固体廃棄物貯蔵庫の保管量は除いて記載。  
 ※4 瓦礫類の想定保管量は、実施計画（2021年9月22日認可）の予測値を示している。  
 ※5 エリアA1及びA2は低線量エリアとした（2020年1月6日認可）が、移行期間のため「-」と記載。  
 ※6 保管容量が1,000m<sup>3</sup>以上の仮設集積場所について記載。  
 ※7 瓦礫等の記載については、廃棄物管理の適正化の検討を踏まえて、今後見直す。





無断転載・複製禁止



# サンプルタンク（K4タンク群） 循環実証試験に伴う水移送について

2021年 12月 3日

---

**TEPCO**

東京電力ホールディングス株式会社

# 1. サンプルタンク（K 4 タンク群）循環実証試験に伴う水移送について

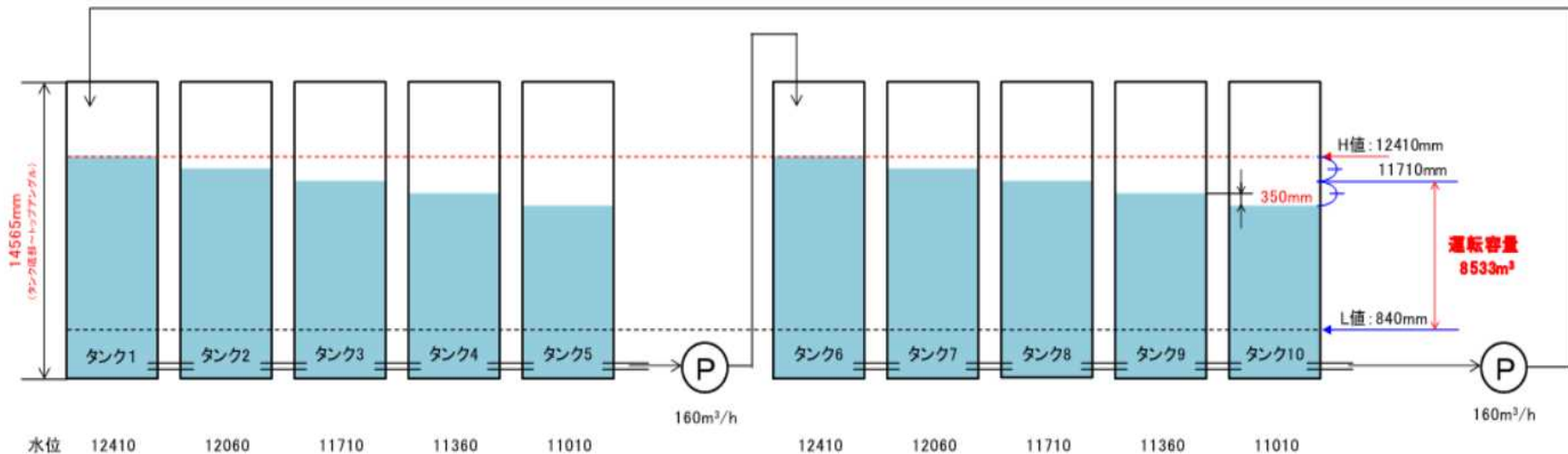
## 【循環実証試験前準備】

- ALPS処理水の厳格な放射能濃度の測定・確認用タンク群（K4タンク群）にて、2022/2頃10基のタンクを連結した循環実証試験を計画している。
- 循環実証試験（仮設備による実証試験）実施にあたり、メーカーによる解析を実施。
- 解析の結果、攪拌装置・循環ポンプによる流動により、試験タンク間に水位差が生じる可能性があり、現状の水位では、タンクH値を超える恐れがある。
- その為、**事前にタンク内包水約510m<sup>3</sup>を移送し、試験タンク水位を低減させる。**

➤現状水位：97.2%（12,345mm）

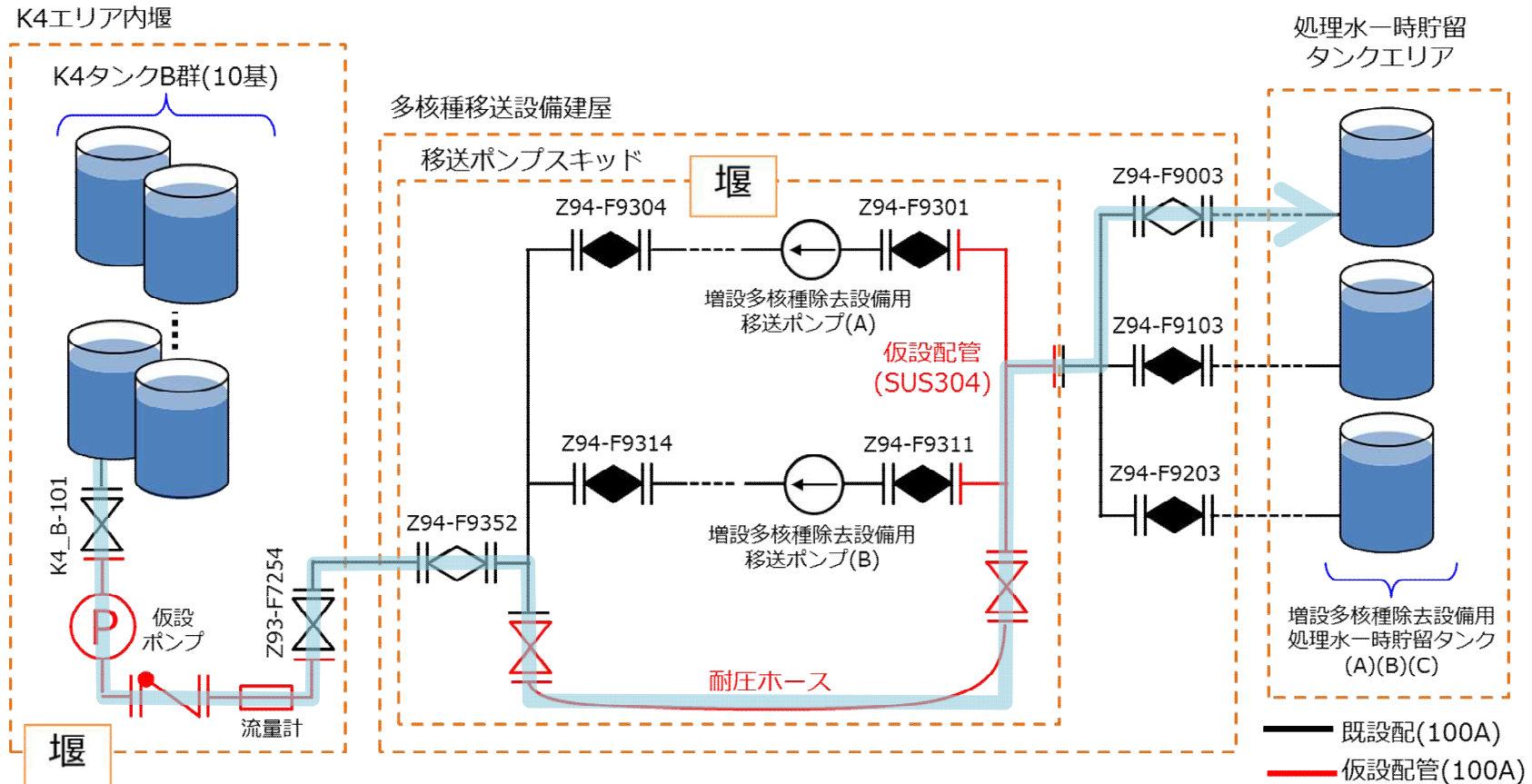
➤目標水位：92.1%（11,698mm）

➤移送容量 = (現在の水位 - 傾斜考慮水位) × 1%あたりの容量 × 連結基数  
**約510m<sup>3</sup>** = (97.2% - 92.1%) × 9.95m<sup>3</sup>/% × 10基



## 2. 移送ライン（多核種移送設備建屋入口弁から処理水一時貯留タンクまで）

- 移送先：増設ALPSサンプルタンク
- 移送方法：既設・仮設移送ラインにて移送
- 移送期間：約5日間（2022年1月 実施予定）
- 仮設設備：仮設設備は、堰内に構築
- 漏洩防止：継ぎ手部には吸水材・ビニール養生(二重)を実施し、さらに受パンを設置



---

以下、  
2021/11/17公表資料

# 福島第一原子力発電所 サンプルタンク（K4タンク群）攪拌実証試験について

< 参 考 資 料 >  
2021年11月17日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー

- 多核種除去設備等処理水（以下、ALPS処理水）の取扱いについて、当社は、政府の基本方針を踏まえ、安全性の確保を大前提に、風評影響を最大限抑制するための対応を徹底するべく、設備の設計や運用等の検討の具体化を進めており、本年8月25日、これらの検討状況について公表しました。
- そのうち測定・確認用設備（K4タンク群）においては、ALPS処理水に含まれるトリチウム、62核種、炭素14を測定し、62核種及び炭素14が、希釈放出前の段階で環境への放出に関する規制基準値を確実に下回るまで浄化されていることを確認することとしています。

<お知らせ済み>

- ALPS処理水の厳格な放射能濃度の測定・確認はK4タンク群（約3万m<sup>3</sup>）で行います。
- 具体的には、K4タンク群を3群（約1万m<sup>3</sup>）に分け、それぞれ受入、測定・確認、放出工程を担いますが、測定に際しては、循環・攪拌により均一化した上で分析する水を採取いたします。
- このたび、来年2月に実施する予定の、10基のタンクを連結した循環実証試験に先立ち、タンク1基ごとに設置する攪拌装置の動作・効果を検証するため、11月18日から準備作業を開始し、11月23日に攪拌実証試験を行う予定です。
- 今後も、地域のみならず、関係するみなさまのご意見等を丁寧に伺い、設備の設計や運用等に適宜反映してまいります。

## 攪拌実証試験の詳細

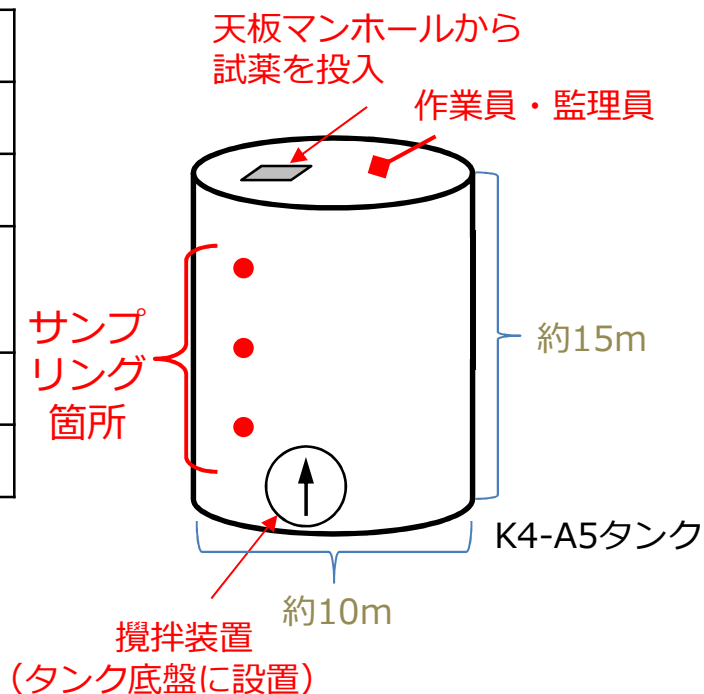
- 今回実施する攪拌実証試験では、タンク底部に攪拌装置を新しく取り付け、攪拌装置の動作確認、およびタンク内に投入する試薬での攪拌効果を確認します
- 来年2月には、8核種※1および同試薬を分析対象とした循環実証試験を、K4-B群で実施する予定です

※1：主要7核種（Cs-134,Cs-137,Sr-90,I-129,Ru-106,Co-60,Sb-125）とトリチウム

実施予定日	2021年11月23日
試験時間	約8時間
サンプリング	約30分毎・試験前を含め9回
採取量	各1ℓ（タンク上(11.6m)・中(7.6m)・下(2.6m)の3箇所採取）
分析対象	試薬※2
対象タンク	K4-A5

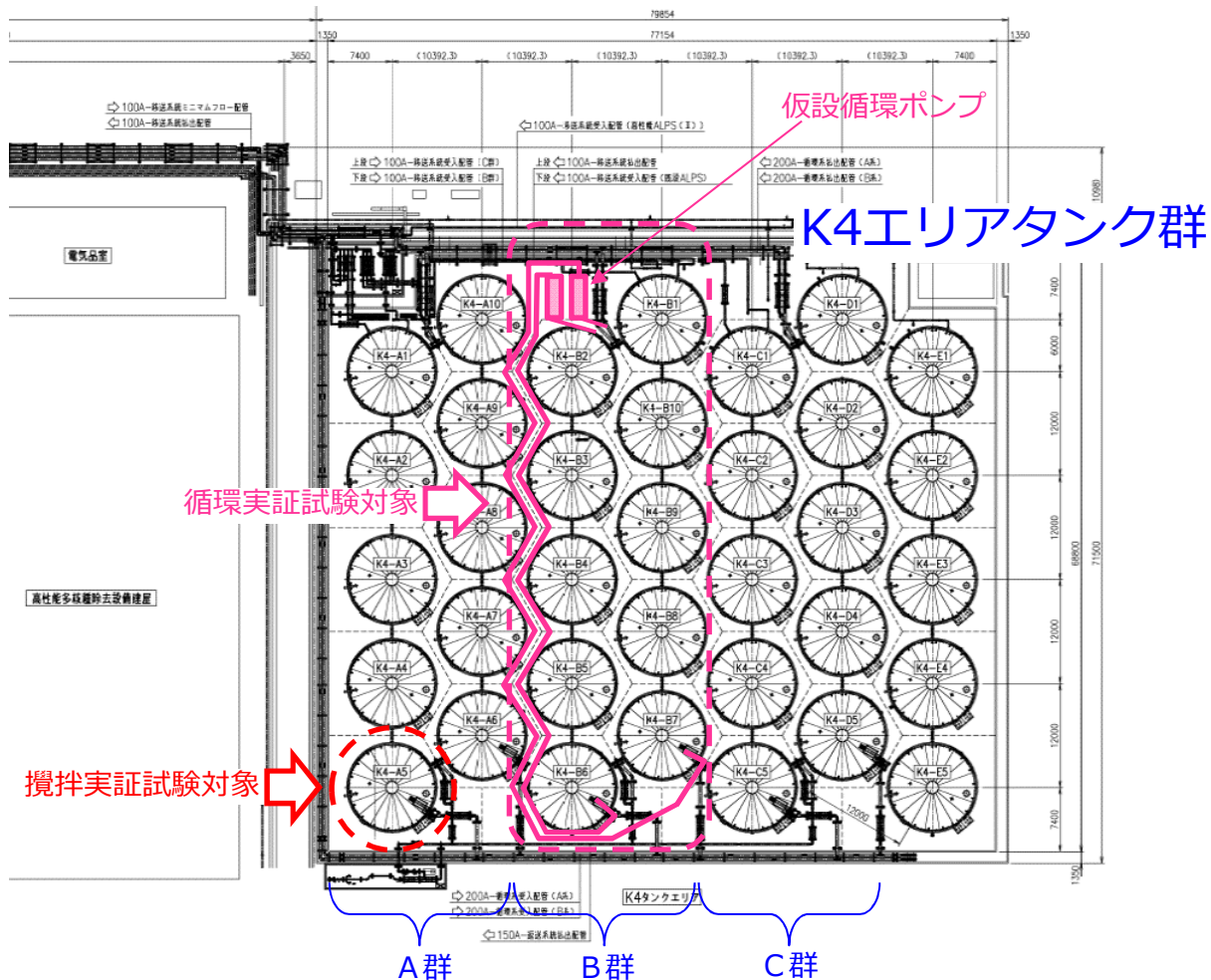
※2：サンプルタンク内のトリチウムは、タンク内で濃淡が無い為、タンク内に存在しない試薬（第三リン酸ナトリウム※3）をタンクに投入し、濃度分布を確認。

※3：第三リン酸ナトリウム投入量は福島県条例に定める排水基準（リン含有量「日間平均8ppm」）の1/100を目安とするため、環境への影響はない。



## (参考) 試験対象タンク配置図

- 攪拌実証試験はK4-A5タンクで実施
- 循環実証試験はK4-B群で実施予定（2月中旬予定）





## (参考) 攪拌装置の仕様

- 型式：攪拌用水中ミキサー（縦型上吐出し型）
- モータ出力：1.5kW
- 定格流量：9.6 m<sup>3</sup>/min
- 質量：69 kg



(攪拌装置上部)



(攪拌装置側面部)

攪拌装置  
(タンク底盤に設置)

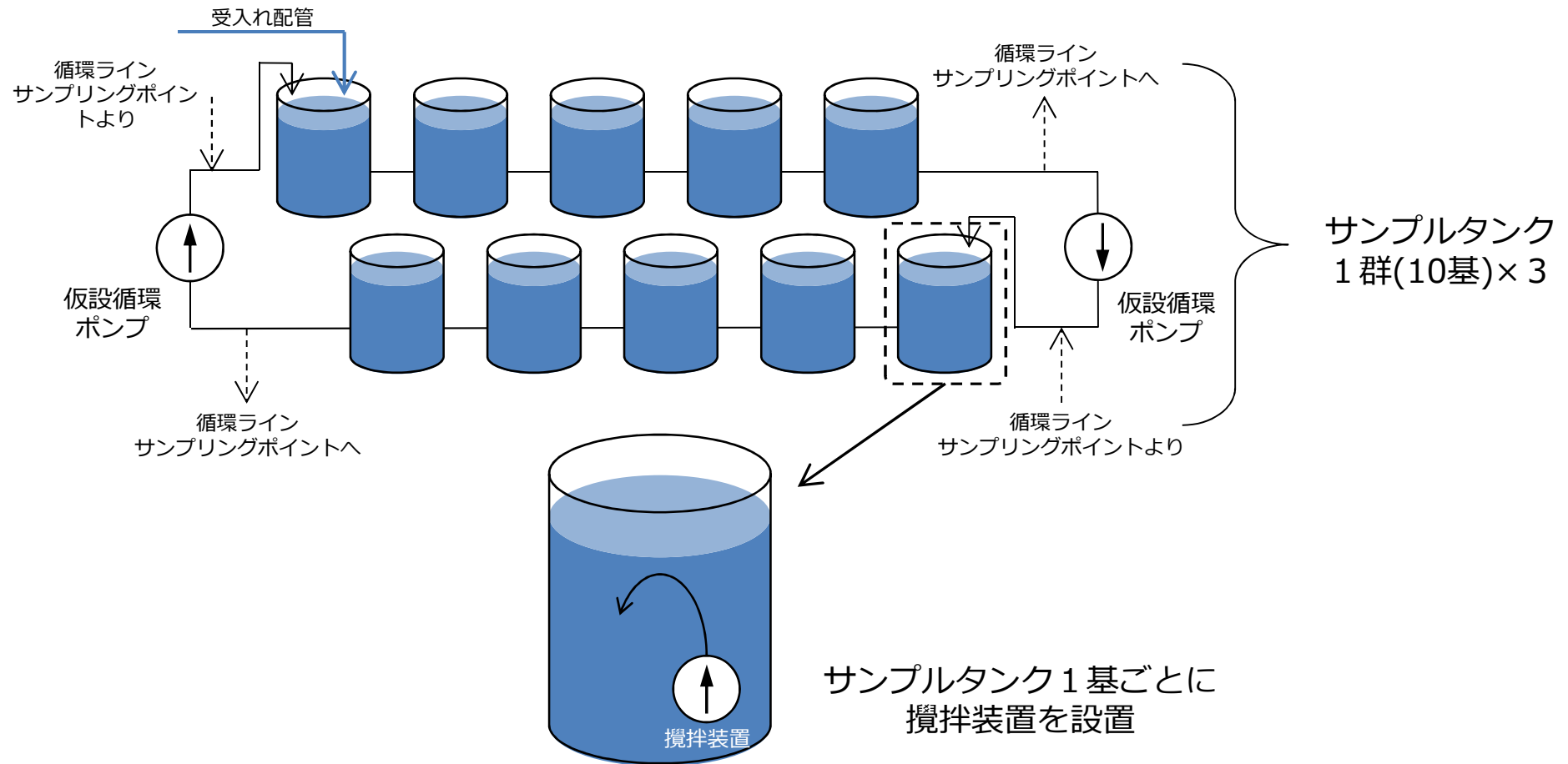
## (参考) スケジュール

- 攪拌実証試験の準備作業を11月18日から実施予定
- 攪拌実証試験は11月23日に実施予定

内容	年	2021					
	月	11					
	日	18	19	20	21	22	23
	曜日	木	金	土	日	月	火
攪拌装置他搬入		—					
攪拌装置結線, ローテーションチェック		—					
攪拌装置設置			—				
攪拌装置テストラン (トレーサなし)				—			
攪拌装置設置調整					.....		
攪拌実証試験							—

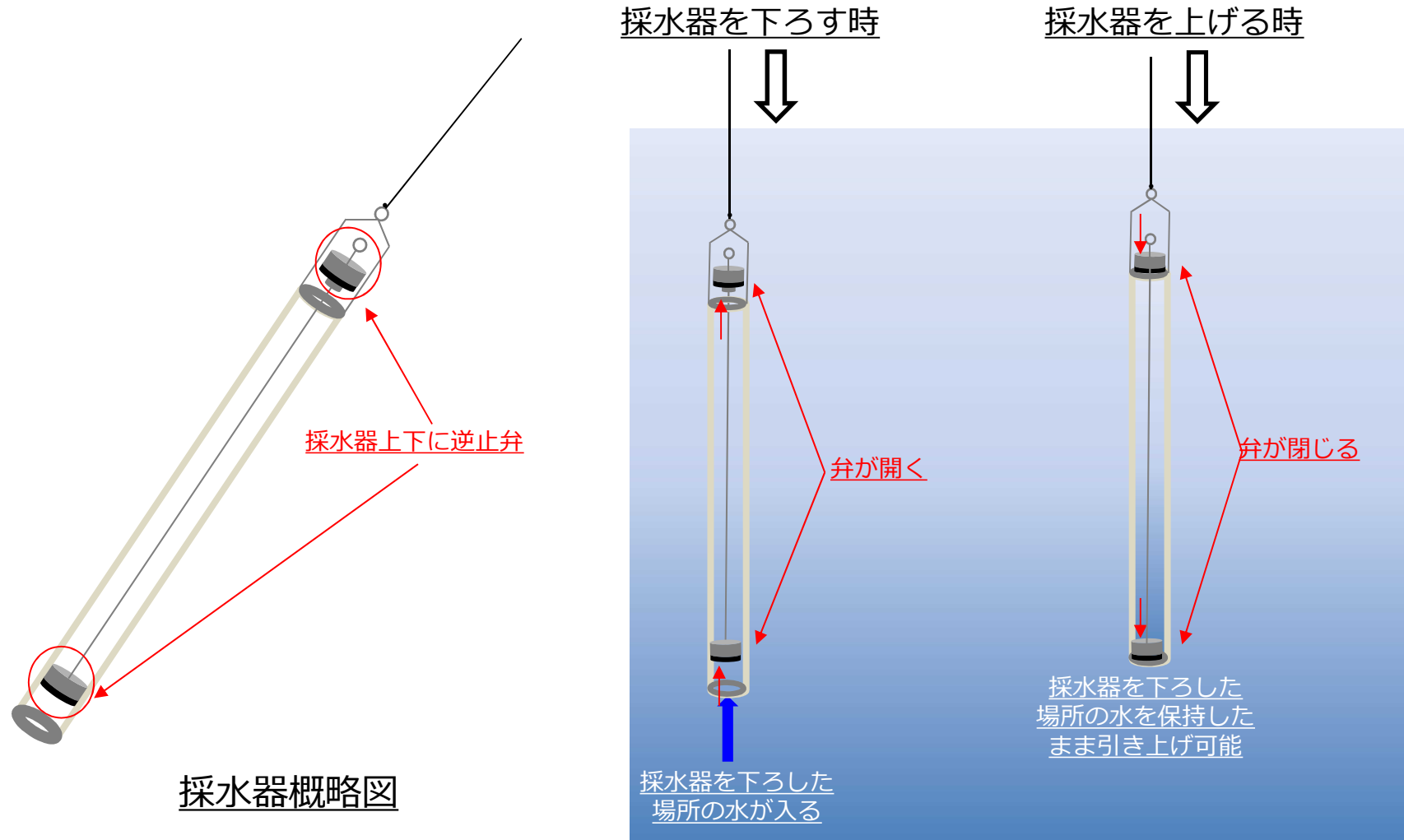
## (参考) サンプルタンク構成

- サンプルタンクは10基連結したものを1群とする
- 攪拌装置はサンプルタンク1基ごとに設置し、タンク内の水の攪拌を行う
- 循環ポンプは2基設置し、タンク群内の10基の水の循環を行う



## (参考) 採水器概要

- 採水器をタンク天板マンホールから下ろし、下ろした高さの水を採取する (各 1 ㍓)



## 陸側遮水壁測温管150-7Sの温度上昇に伴う調査状況

2021年11月25日

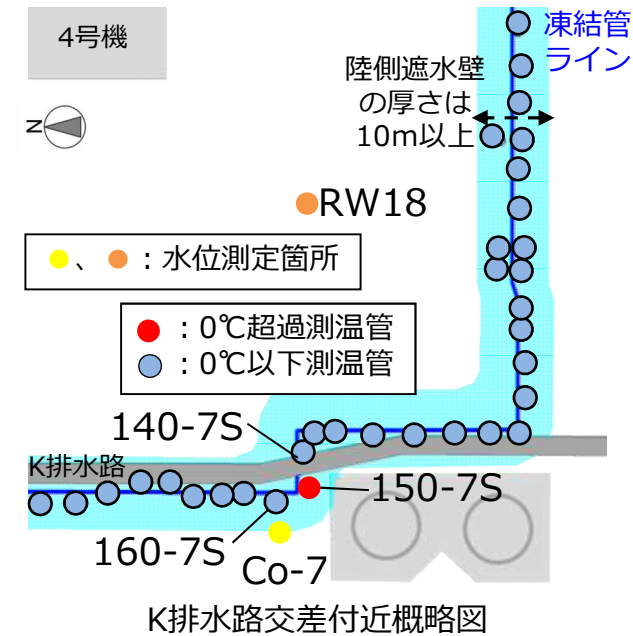


東京電力ホールディングス株式会社

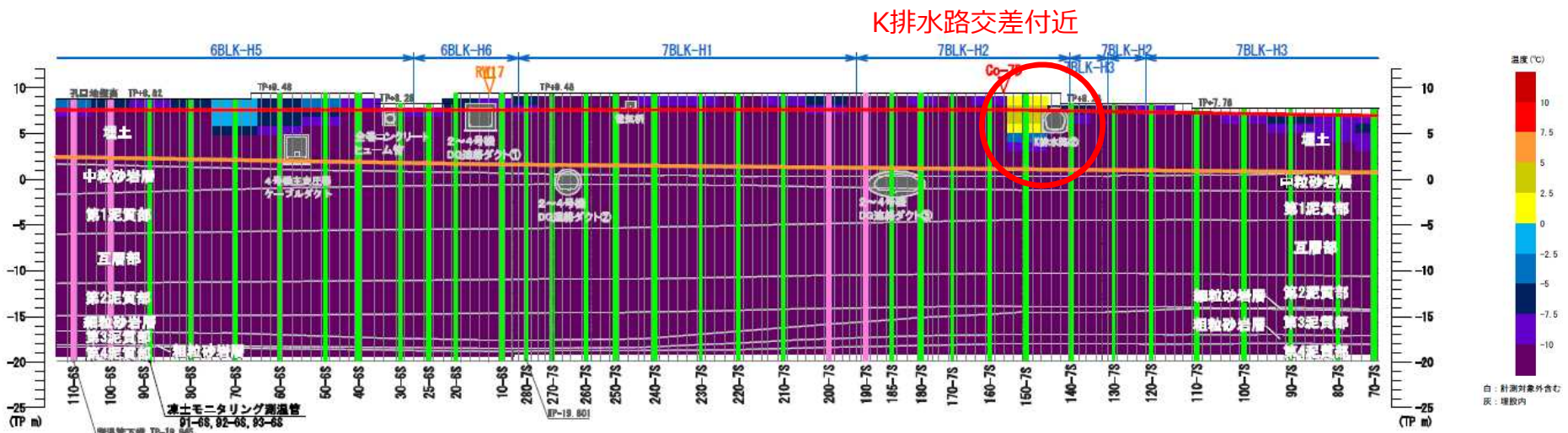
# 1. 概要



- 陸側遮水壁の維持管理については、測温管による地表・地中温度を参考にブラインのオンオフ運転を行っている。
- 10月13日に、K排水路交差付近（下流部）の測温管150-7Sにて、地中に3m（地表下1.0m～4.0m付近）の区間で局所的に0℃を超過している状態が継続されていることを確認した（地表部は約0℃を確認）。
- 地下水位に明瞭な変化は無く、内外水位差は確保されていることから、陸側遮水壁の遮水機能に影響はなし（P10参照）。

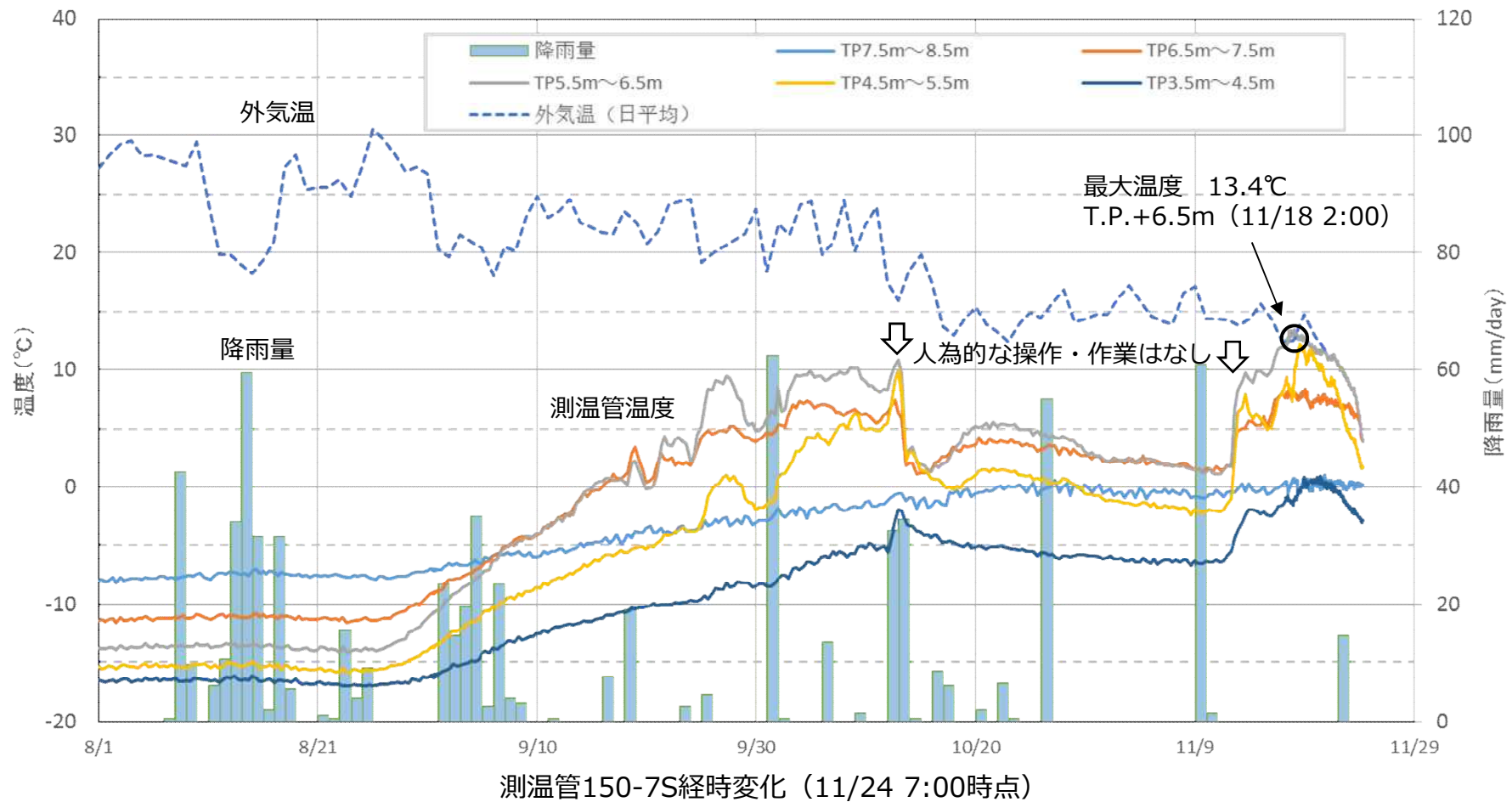


K排水路交差付近概略図



3、4号機山側地中温度分布（11/24 7:00時点）

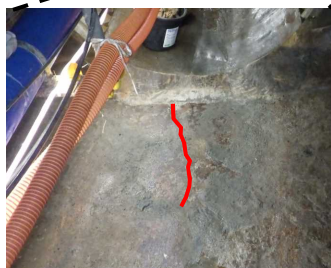
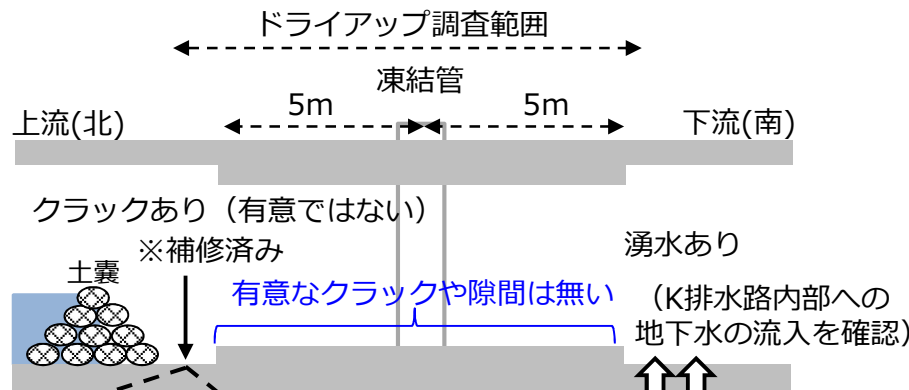
## 2. 測温管150-7Sの温度変化



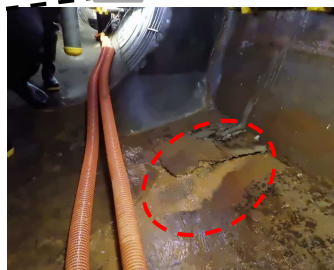
- 地中温度は、11月12日に急上昇後、18日まで上昇傾向が継続したが、19日以降は低下傾向。
- 11月13日に陸側遮水壁内側の掘削箇所、K排水路内部、測温管150-7S周辺の地表部を目視点検を実施したが、異常なし。
- 地中温度の変動が大きい期間において、地下水の流れを変化させる人為的な操作、作業は未実施の為、周辺の水みちが降雨などにより変化したことが地中温度の変動に繋がっていると推定。

### 3. ドライアップ調査結果と温度上昇の原因推定

- 11月1日からK排水路の補強区間をドライアップをした結果、補強部上流側にてクラック1本、補強部下流側にて水路底盤部から湧水を2箇所確認した。(10月の推定よりK排水路内確認)
- 10月の推定時には、K排水路から漏出する流水が測温管150-7Sの温度を上昇させていると考えていたが、K排水路内で湧水が確認されたことから、測温管150-7Sの周辺からK排水路に向かう地下水の流れがある可能性を考えて、測温管150-7S周辺の凍土壁の内側・外側浅部の掘削を実施した。



クラック (長さ約1.0m、幅約5.0mm)

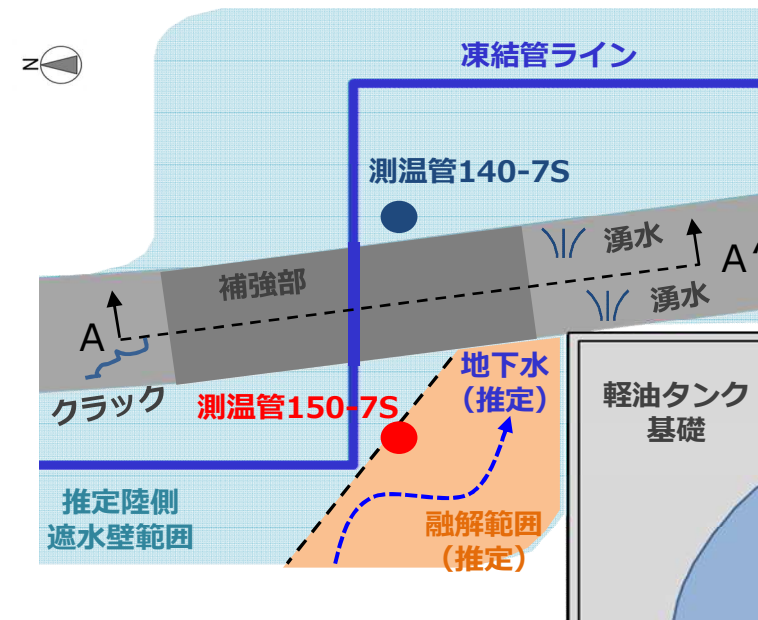


湧水箇所 (底板)



湧水箇所 (導水パイプ)

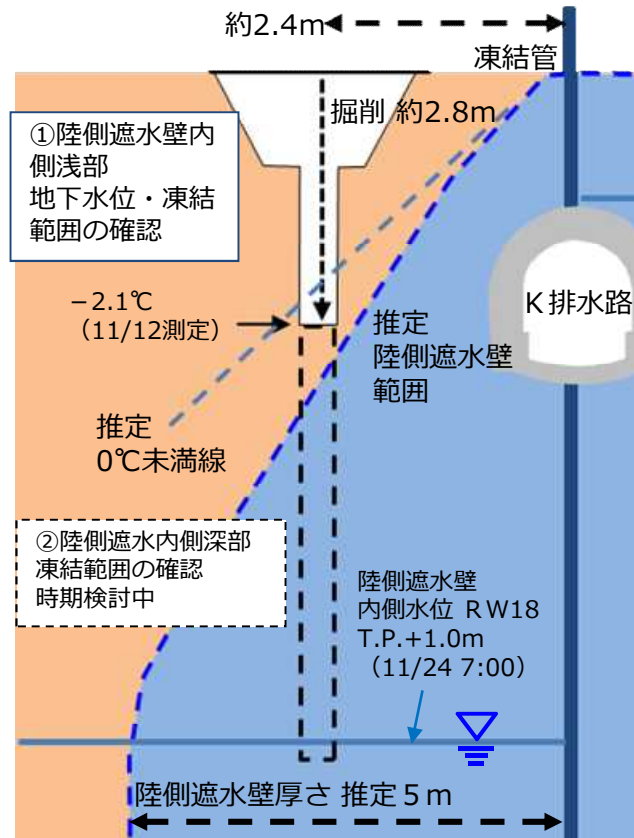
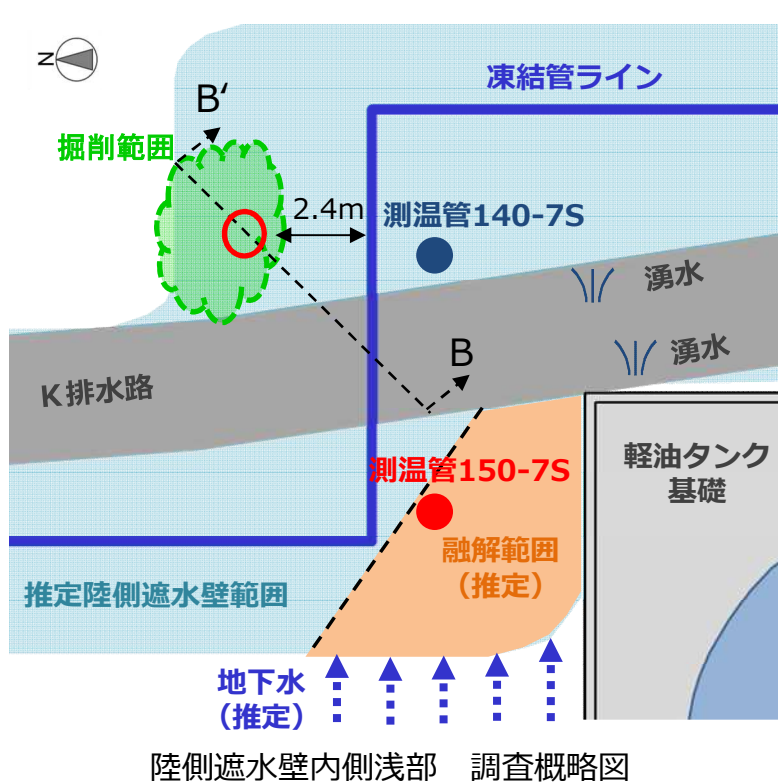
A-A'断面概略図



陸側遮水壁推定融解範囲ならびに周辺概略図



# 4. 陸側遮水壁内側浅部の調査状況



11/10 : 表層部掘削開始  
 11/11 : G.L.-1m~-2mまで掘削  
 11/12 : G.L.-2.8mまで掘削

掘削深さごとの温度計測結果

掘削深さ (m)	T.P. (m)	地中温度 (°C)
G.L.+0.00	T.P.+9.50	18
G.L.-1.50	T.P.+8.00	6.1
G.L.-1.80	T.P.+7.70	5.1
G.L.-2.55	T.P.+6.95	0.3
G.L.-2.70	T.P.+6.80	-0.9
G.L.-2.80	T.P.+6.70	-1.6
G.L.-2.84	T.P.+6.66	-2.1

温度計を掘削箇所にて埋設し、地中温度の定点測定を実施

※11/14~11/16は掘削箇所  
 の整備のため測定未実施。

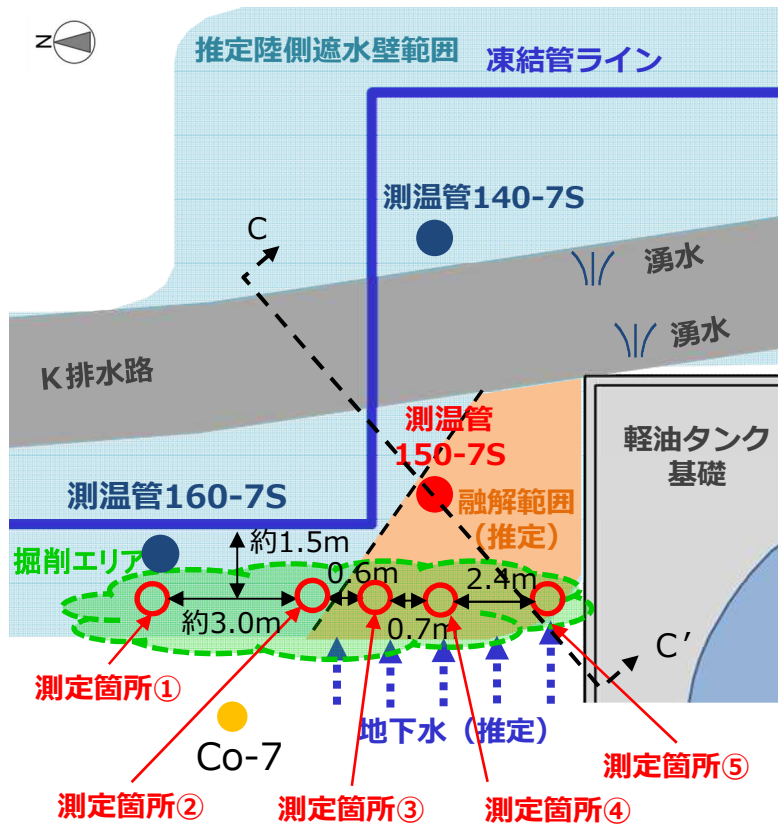
## 【調査結果】

- ・ 陸側遮水壁内側エリアの掘削範囲にて地下水は確認されなかったため、内外水位差が確保されている。
- ・ G.L.-2.70m付近より深部にて地中温度0°C以下が確認され、定点温度測定の結果から0°C以下が維持されていることを確認した。
- ・ 上記より陸側遮水壁は正常に機能していると評価される。

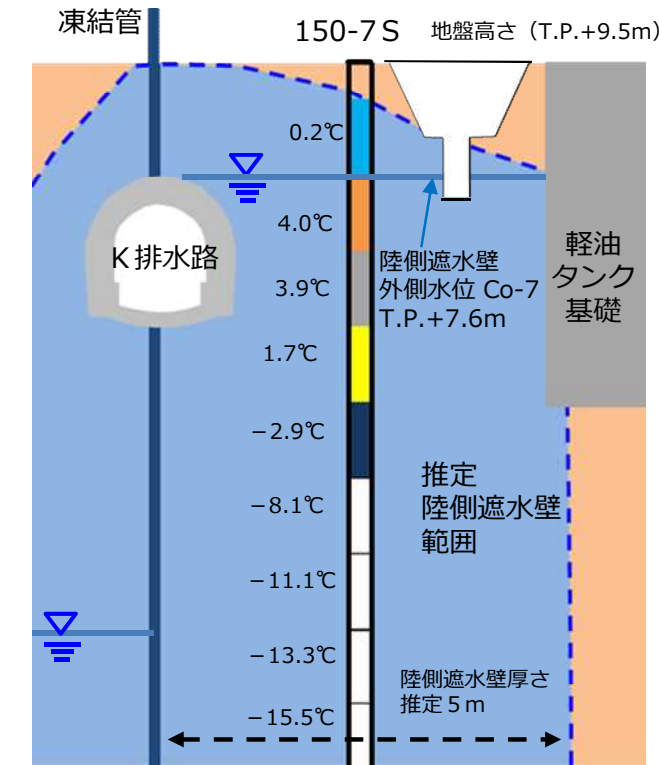
定点温度計測結果

日付	地中温度 (°C)
11月13日	-0.4
11月17日	-0.7
11月18日	-0.2
11月19日	-0.2
11月20日	-0.3
11月21日	-0.3
11月22日	-0.3
11月23日	-0.4
11月24日	-0.4

# 5. 陸側遮水壁外側浅部の調査状況



陸側遮水壁外側浅部 調査概略図



(温度・水位は11月24日 7:00時点)

C-C'断面概略図



掘削した土 (固結状態)  
(測定箇所①G.L.-1.3m付近)

- 11/15 : 掘削開始
- 11/16 : 4.0×1.0の範囲  
深さ1.0mまで実施
- 11/17 : 4.5×1.0の範囲の掘削
- 11/18 : 5.8×1.0の範囲で掘削
- 11/21 : 測定箇所①G.L.-1.30m、  
測定箇所②G.L.-1.50m  
で地中温度0℃以下を確認  
測定箇所③G.L.-2.50m  
で地下水面を確認

掘削深さごとの温度計測結果

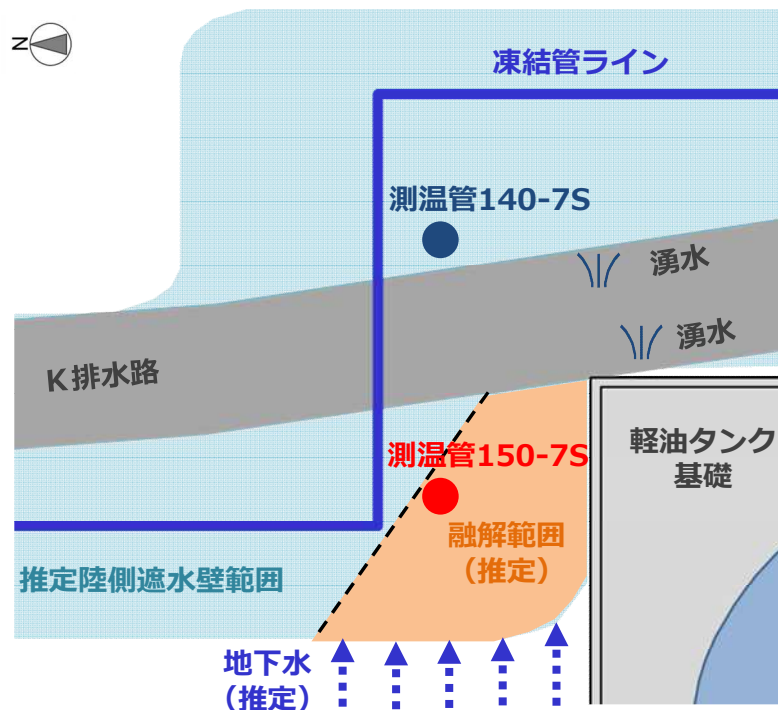
掘削深さ (m)	T. P. (m)	測定箇所①	測定箇所②	測点箇所③	測点箇所④	測点箇所⑤
		地中温度(°C)				
G.L.-0.50	T.P.+9.00	7.2	6.3	6.3	6.3	8.0
G.L.-1.00	T.P.+8.50	0.3	2.9	4.3	5.4	9.3
G.L.-1.30	T.P.+8.20	-1.6	0.2	2.6	6.6	11.4
G.L.-1.50	T.P.+8.00	-1.5	2.8	6.6	12.9	
G.L.-2.00	T.P.+7.50		5.0	9.8	13.9	
G.L.-2.40	T.P.+7.10		5.1	12.8	15.5	
G.L.-2.50	T.P.+7.00				16.0	

■ : 凍結  
■ : 地下水

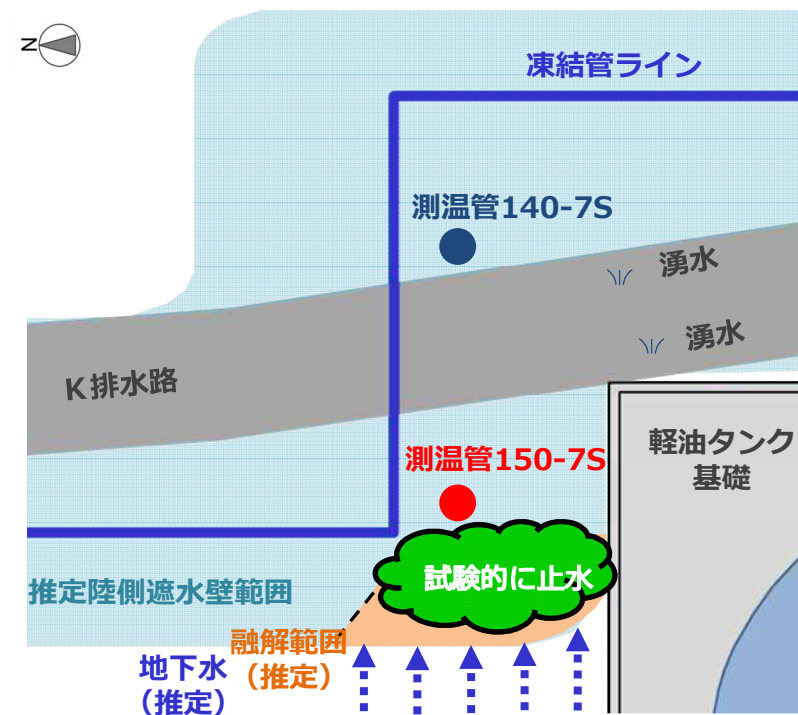
- 【調査結果】
- ・ 測定箇所①G.L.-1.30mで凍結 (固結状態) を確認
  - ・ 測定箇所②G.L.-1.50m付近でも地中温度0℃以下を確認
  - ・ 測定箇所③、④、⑤G.L.-2.50m付近で地下水面を確認
  - ・ 測温管160-7S付近では陸側遮水壁が機能しているが、軽油タンク基礎付近の陸側遮水壁外側浅部で、凍結していない箇所が存在することを確認

## 6. 試験的な止水範囲について

- K排水路内部の目視点検により確認された湧水より、測温管150-7Sの温度上昇原因として、地下水が陸側遮水壁より下流側のK排水路に流入する過程において、凍結範囲の一部が融解し測温管150-7Sの温度が上昇している事象が発生している可能性があるとの推定
- 測温管150-7S外側に試験的に止水壁を設置することで地下水の流入を抑制し、測温管150-7Sの温度変化、K排水路の湧水量の変化を確認する。（現場が狭隘で地下水流向などの調査と同時に実施が困難であるため試験的な止水を優先させることを検討）



陸側遮水壁融解範囲推定図

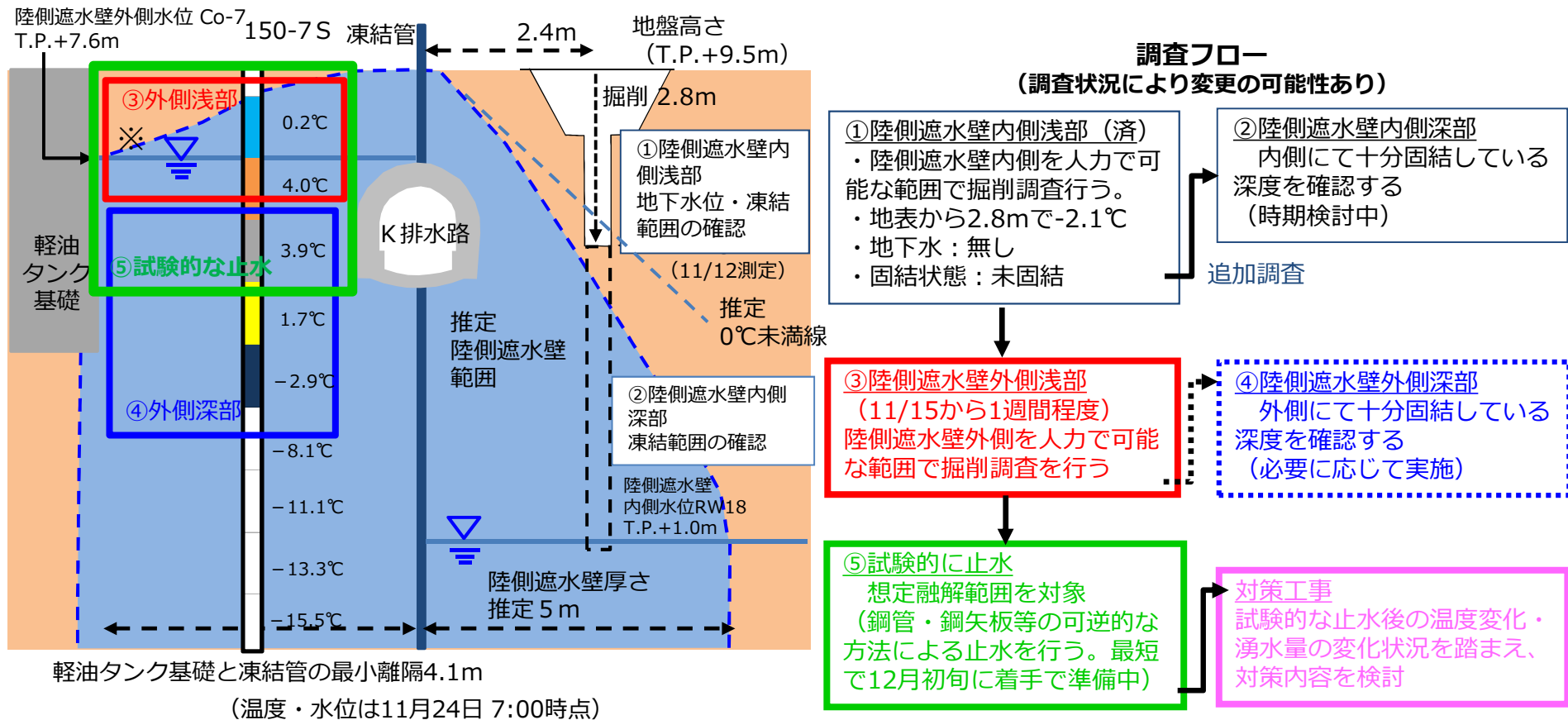


試験的な止水 概略図

# 7. 温度上昇原因調査フロー

## 【調査目的】

- 陸側遮水壁内側の土壌、地下水の状況から壁の健全性を評価する【①（済）②（時期検討中）】
- 測温管150-7Sの温度上昇推定要因の妥当性を確認するために試験的に止水を行う。止水範囲及び止水方法を検討する事と、陸側遮水壁外側の土壌、地下水の状況を確認するために外側の掘削による調査を行う。【③（済）、④（必要に応じて実施）】
- 地下水の流れが卓越していると想定される範囲で試験的な止水を行っていく【⑤（実施予定）】



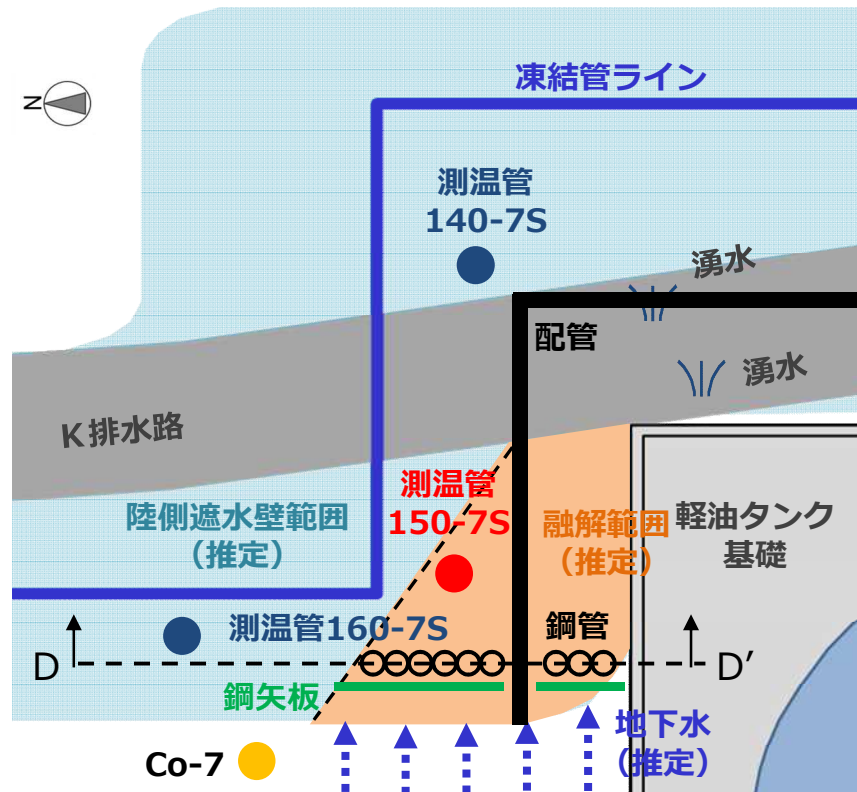
※150-7S付近においては緑枠の範囲で融解している可能性があるが、陸側遮水壁範囲は周囲の測温管では0℃未満であることから推定

## 8. 試験的な止水（鋼管・鋼矢板等）の概要

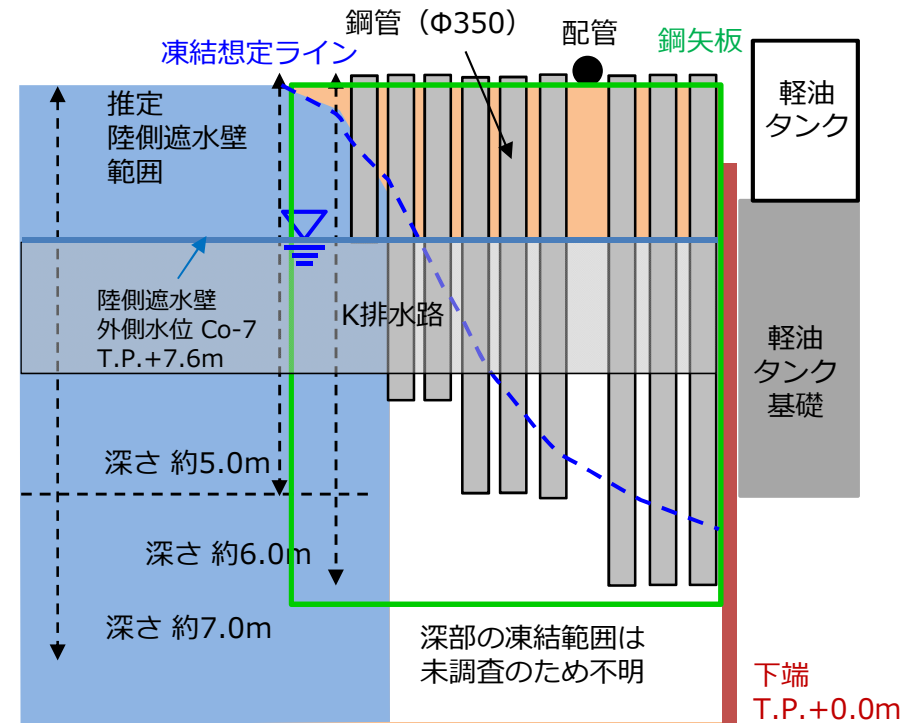
- 試験的な止水の早期着手を目的に、軽油タンク基礎から測温管150-7Sの西側（陸側遮水壁推定融解範囲）にかけて鋼管※の設置を計画。鋼管設置後、測温管温度などの状態を見ながら必要に応じて、追加止水として鋼管西側に鋼矢板を設置。

※構内の資材で流路疎外の目的に速やかに施工可能。ただし、単孔の施工となるので隙間が5～10cm程度できる可能性有。

- 鋼矢板の設置は、流れを阻害された地下水が周辺の測温管へ影響を及ぼす可能性を懸念して、軽油タンク基礎から測温管160-7S西側までを範囲とする。



試験的な止水 概略図



※鋼管設置深さは陸側遮水壁の凍結状況に応じて調整を行う。  
根入れ深さは、凍結ラインから1m程度を基本とする。

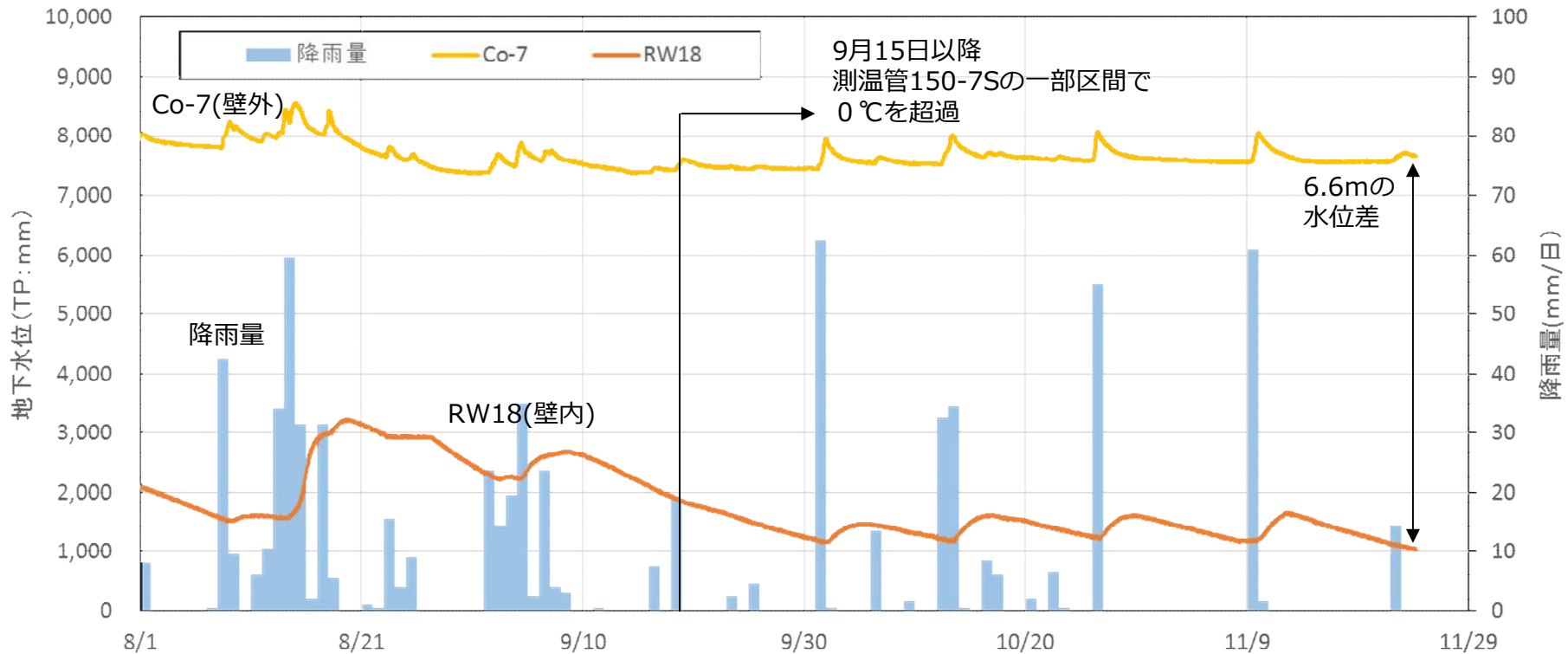
D-D' 断面概略図

## 9. 止水期間中の監視項目

- 止水期間中は下記項目の監視を行いながら、止水効果を確認する。

対象設備	監視項目	監視方法	監視頻度※
測温管 140-7S、150-7S、160-7S	地中温度	計測値	2回/日
観測孔Co-7、RW18	地下水位	計測値	2回/日
No.4、No.5中継タンク	汲上量	計測値	1回/日
K排水路(内部)	外観	現地目視	1回/日
	湧水量 温度 濁り	現地計測	2回/日
調査掘削箇所(内側)	地盤状態	現地目視	1回/日
	地中温度	現地計測	1回/日
軽油タンク基礎・防油堤	外観	現地目視	1回/日
	変位	現地計測	1回/週
共用プール周辺地盤	外観	現地目視	1回/日

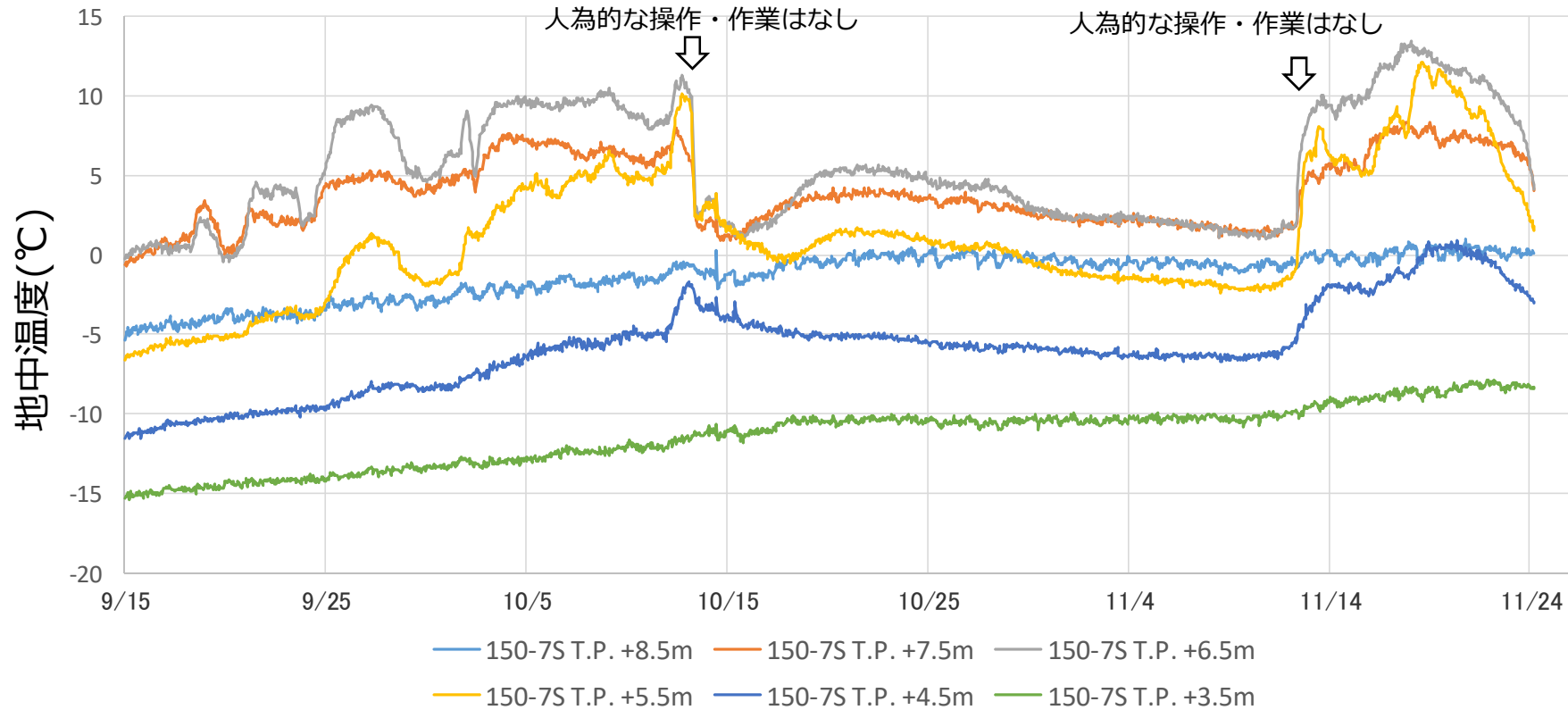
## 参考) 陸側遮水壁内外水位差と降雨量の経時変化



陸側遮水壁内外水位の経時変化 (11/24 7:00時点)

- 陸側遮水壁内側の水位は、地中温度の変動によらず降雨により一時的に上昇し、サブドレンの汲み上げにより水位は低下するという変動をしている。
- 測温管150-7Sの一部区間で0℃以上となった9月15日以降も陸側遮水壁内の水位は低下し、11月24日時点で内外水位差は6.6mを確保していることから、陸側遮水壁の全体的な遮水性は継続していると評価される。

# 参考) 10月23日以降の温度変化状況について

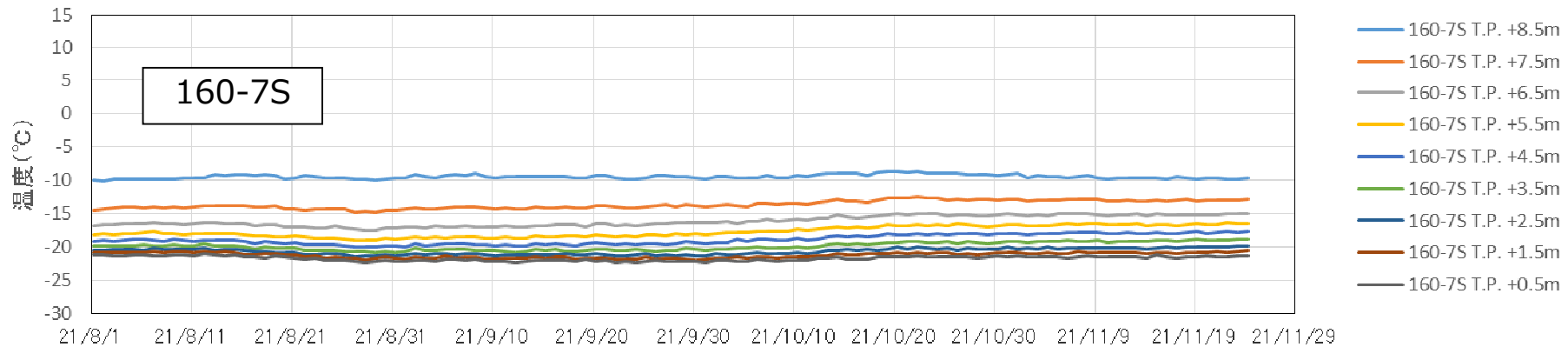
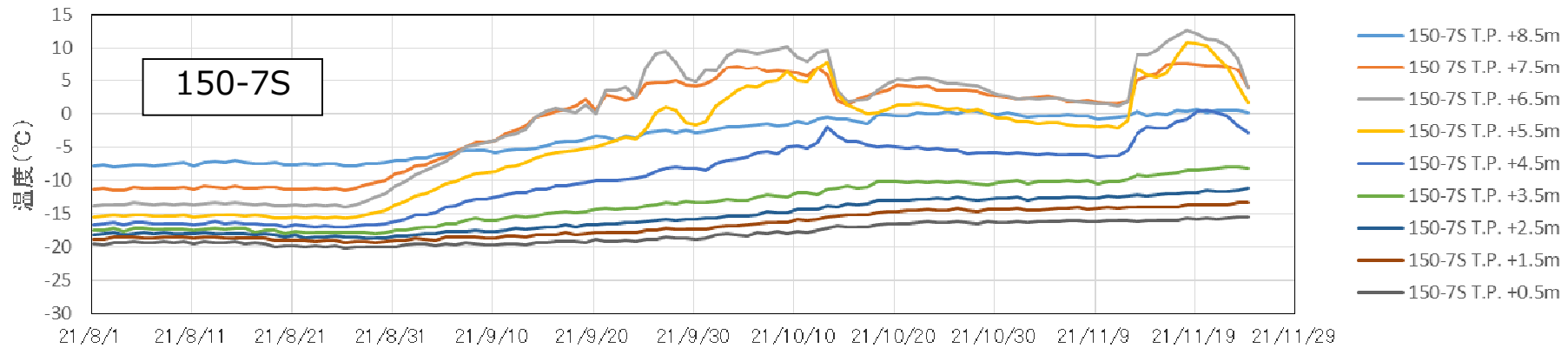
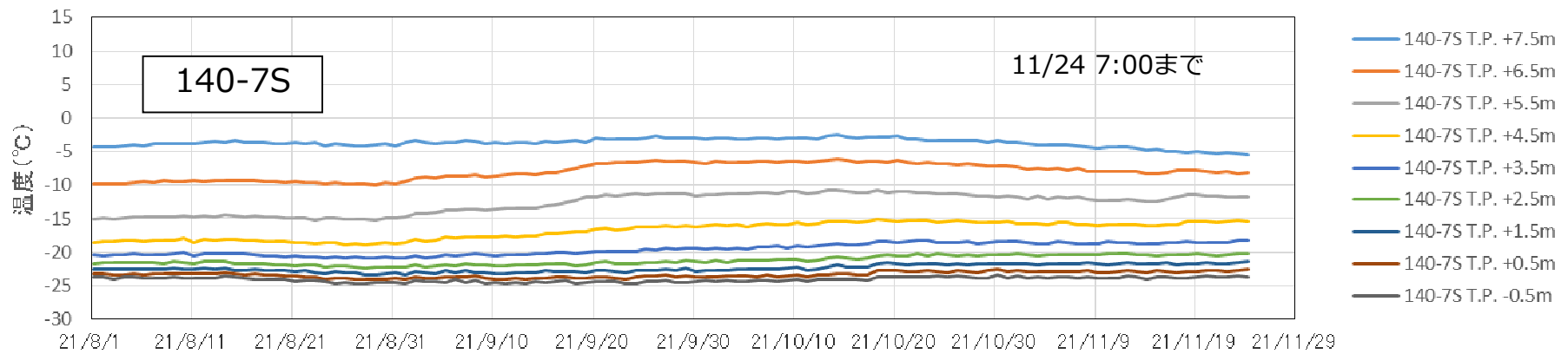


測温管150-7S経時変化 (11/24 7:00時点)

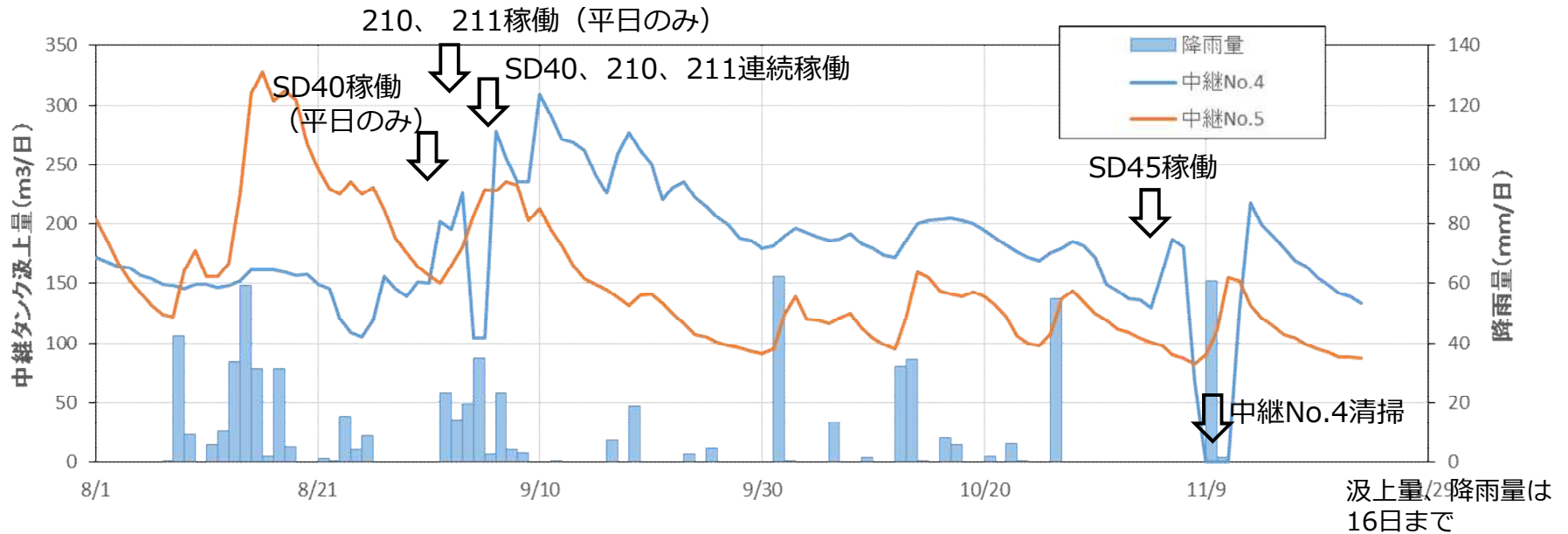
- 地中温度は、11月12日に急上昇後、18日まで上昇傾向が継続したが、現在は停滞または低下傾向。
- 11月13日に陸側遮水壁内側の掘削箇所、K排水路内部、測温管150-7S周辺の地表部を目視点検実施したが、異常なし。
- 地下水の流れを変化させる人為的な操作、作業は未実施の為、周辺の水みちが降雨などにより変化したことが地中温度の変動に繋がっていると推定。



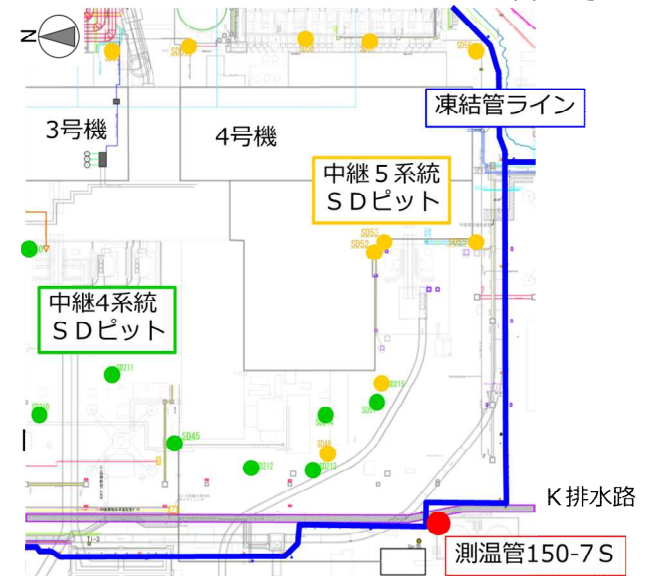
参考) 測温管140-7S、150-7S、160-7Sの温度経時変化 (表層抜粋)



# 参考) サブドレンNo.4、No.5中継タンクの汲上量と降雨量の関係

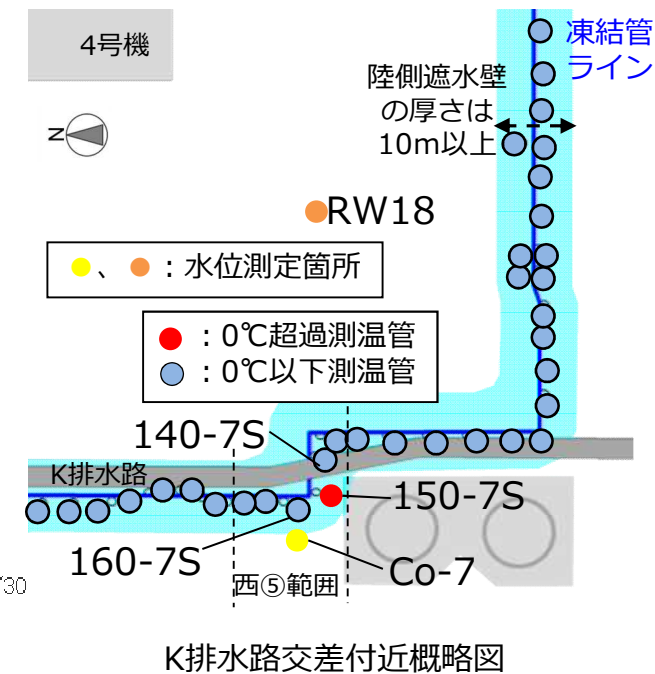
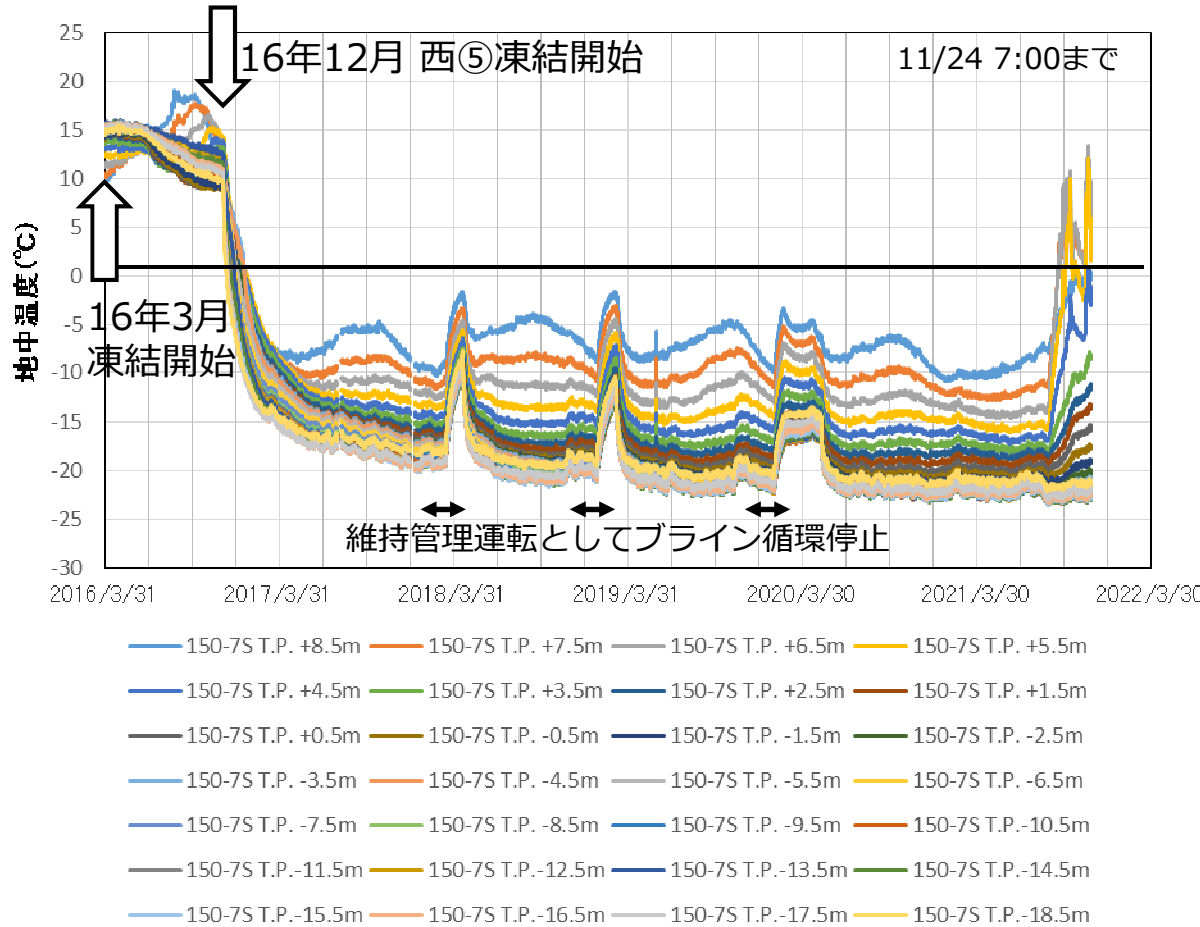


- 温度上昇箇所至近の汲上量は降雨量及びSD40等の稼働に伴い変動しているが、降雨が少なくなってきた事から徐々に減少傾向を示している。
- 現状では測温管150-7Sの温度上昇に伴い汲上量が上昇していることは明瞭では無い為いため、継続監視する。



3、4号機山側平面図

# 参考) 150-7 Sの経時変化



- 2016年3月陸側遮水壁凍結開始。
- 建屋周辺の地下水位の急激な変化がないことを確認するために凍結させない箇所を7箇所もうけ、そのうちのひとつである西⑤範囲を2016年12月に凍結を開始した。



K排水路内部ドライアップ区間 クラック調査結果



クラック拡大写真

導水パイプ 状況

湧水箇所 状況

